

**四万十市国民健康保険  
第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)  
第4期特定健康診査等実施計画**



**令和6年3月作成**

**令和7年9月改正**

**四万十市**

第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)  
第4期特定健康診査等実施計画  
もくじ

**I 計画策定にあたって**

(1) 基本的事項	4
①計画の趣旨	4
②計画期間	5
③実施体制・関係者連携	6
(2) 現状の整理	8
①保険者の特性	8
②前期計画等に係る考察	9

**II 健康医療情報等の分析と課題**

(1) 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出	13
①健康・医療情報の分析	13
・死亡	13
・介護	15
・医療	18
・健診	26
②健康課題の抽出・明確化	38

**III 第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)**

(1) データヘルス計画の目的、目標を達成するための戦略	39
①データヘルス計画の目的の設定	40
②データヘルス計画の目標の設定	40
(2) 健康課題を解決するための個別の保健事業	42
(3) 薬剤の適正使用の推進	43

**IV 個別の保健事業(実施内容と事業評価計画)**

(1) 特定健診受診勧奨事業	44
(2) 早期介入保健指導事業	45
(3) 健診結果説明会	46
(4) 特定保健指導事業	47
(5) 健診異常値放置者受診勧奨事業	48
(6) 糖尿病性腎症重症化予防事業	49
(7) 骨粗しょう症予防事業	50

**VI 第4期特定健康診査等実施計画**

(1) 基本的事項	52
①計画の趣旨	52
②計画の位置づけ	53
③計画期間	53
(2) 特定健康診査の実施状況	54
①特定健康診査に係る主な取り組み	54
②特定健康診査の課題と対策	56
(3) 特定保健指導の実施状況	57
①特定保健指導に係る主な取り組み	57
②特定保健指導の課題と対策	57
(4) 特定健康診査及び特定保健指導の実施計画	58
①目標	58
②対象者数推計	58
③特定健康診査、特定保健指導の実施方法	59

**VII その他**

(1) 計画の評価・見直し	67
①評価の時期	67
②評価方法・体制	67
(2) 計画の公表・周知	68
(3) 個人情報の取扱い	68
(4) 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	68
(5) 用語集	70

別添

概要図

## 第3期保健事業実施計画(データヘルス計画) 第4期特定健康診査等実施計画

### I 計画策定にあたって

#### (1) 基本的事項

##### ① 計画の趣旨

###### 【目的】

四万十市においては、被保険者の幅広い年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質(QOL<sup>※</sup>)の維持及び向上が図られ、結果として、医療費の適正化に資することを目的とする。

###### 【背景】

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト<sup>※</sup>等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」と示された。

これを踏まえて、「保健事業の実施等に関する指針(厚生労働省告示)」の一部が改正され、保険者<sup>※</sup>は健康・医療情報を活用してP D C Aサイクル<sup>※</sup>に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画(データヘルス計画)を策定したうえで、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとされた。(図表1)

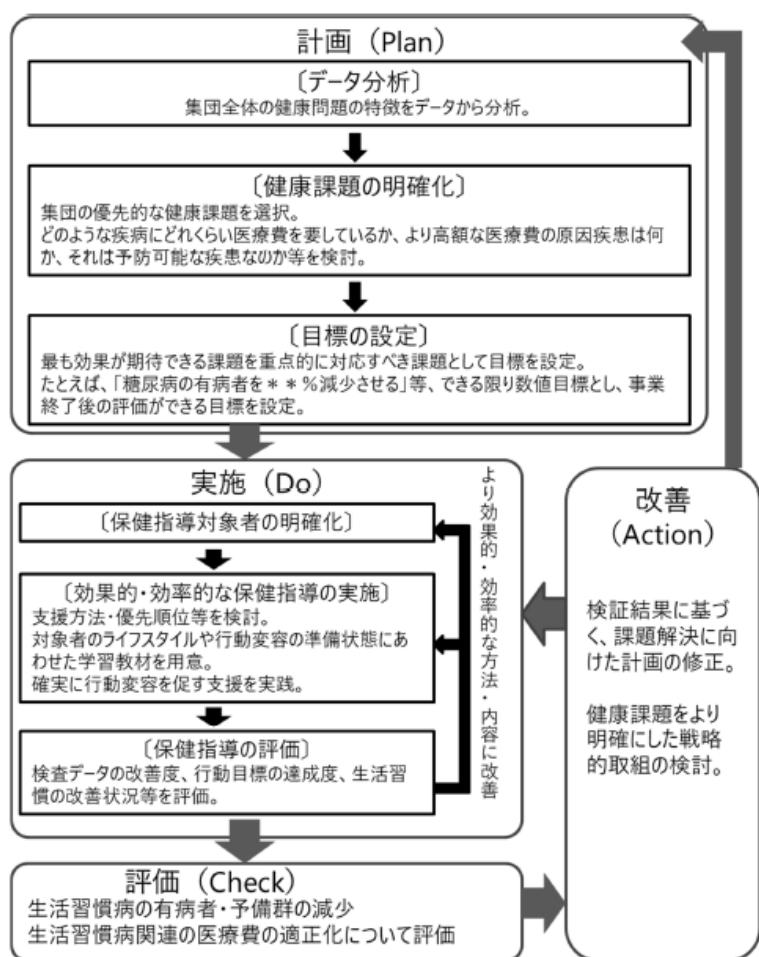
平成30年4月には都道府県が財政運営の責任主体として共同保険者となった。

その後、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)」において、保険者のデータヘルスの計画の標準化等の取組の推進が掲げられ、令和4年12月に経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画改革工程表2022」において、「保険者が策定するデータヘルス計画の手引きの改訂等を行うとともに、当該計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカム<sup>※</sup>ベースでの適切なK P I<sup>※</sup>の設定を推進する。」とされた。

このように、全ての保険者にデータヘルス計画の策定が求められ、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取組の推進や評価指標の設定の推進が進められている。

図表 1

保健事業（健診・保健指導）のPDCAサイクル



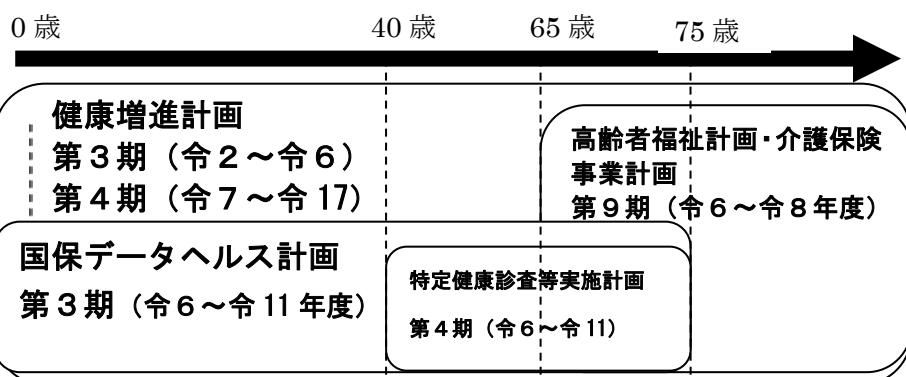
出典：標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）

② 計画期間

計画期間は、令和6年度～令和11年度の6年間とする。

計画は健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえるとともに、高知県健康増進計画や高知県医療費適正化計画、高知県後期高齢者医療広域連合※保健事業実施計画、および当市における健康増進計画や国民健康保険事業計画、介護保険事業計画と調和のとれたものとする。（図表2）

図表 2



### ③ 実施体制・関係者連携

#### ○市町村の役割

- ・ 庁内の関係部局や関係機関と連携しながら保険者の健康課題を分析し、データヘルス計画に基づき保健事業の実施と評価を行う。
- ・ 都道府県の関与は四十万市の保険者機能の強化のため特に重要であるため連携に努める。
- ・ 国民健康保険団体連合会（以下「国保連※」という。）及び支援・評価委員会※等の支援・評価を受けて計画策定等を進める。
- ・ 保険者協議会、保健医療関係者等の連携に努める。
- ・ 被保険者の立場からの意見を計画等に反映させる。

#### ○都道府県の役割

- ・ 人材不足の傾向のある小規模の市町村に保健所と協力して体制整備を支援する。
- ・ （国保部局）都道府県の健康課題や保健事業の実施状況等を把握・分析し、取組の方向性を保険者に提示する。保険者が都道府県や保険者ごとの健康課題に対応した保健事業を実施することができるよう、保険者に対して必要な助言や支援を積極的に行う。計画策定等や保健事業の業務に従事する者の人材育成をする。県内の関係部局、保健所、国保連や保健医療関係者と健康課題や解決に向けた方策等を共有したうえで連携し、保険者を支援する。
- ・ （保健衛生部局）国保部局の求めに応じて、保健師等の専門職が技術的な支援を行う。

#### ○保健所の役割

地域の実情に応じた保険者支援を行う。

#### ○国民健康保険団体連合会等の役割

計画策定等の一連の流れに対し、保険者を支援する。

#### ○後期高齢者医療広域連合の役割

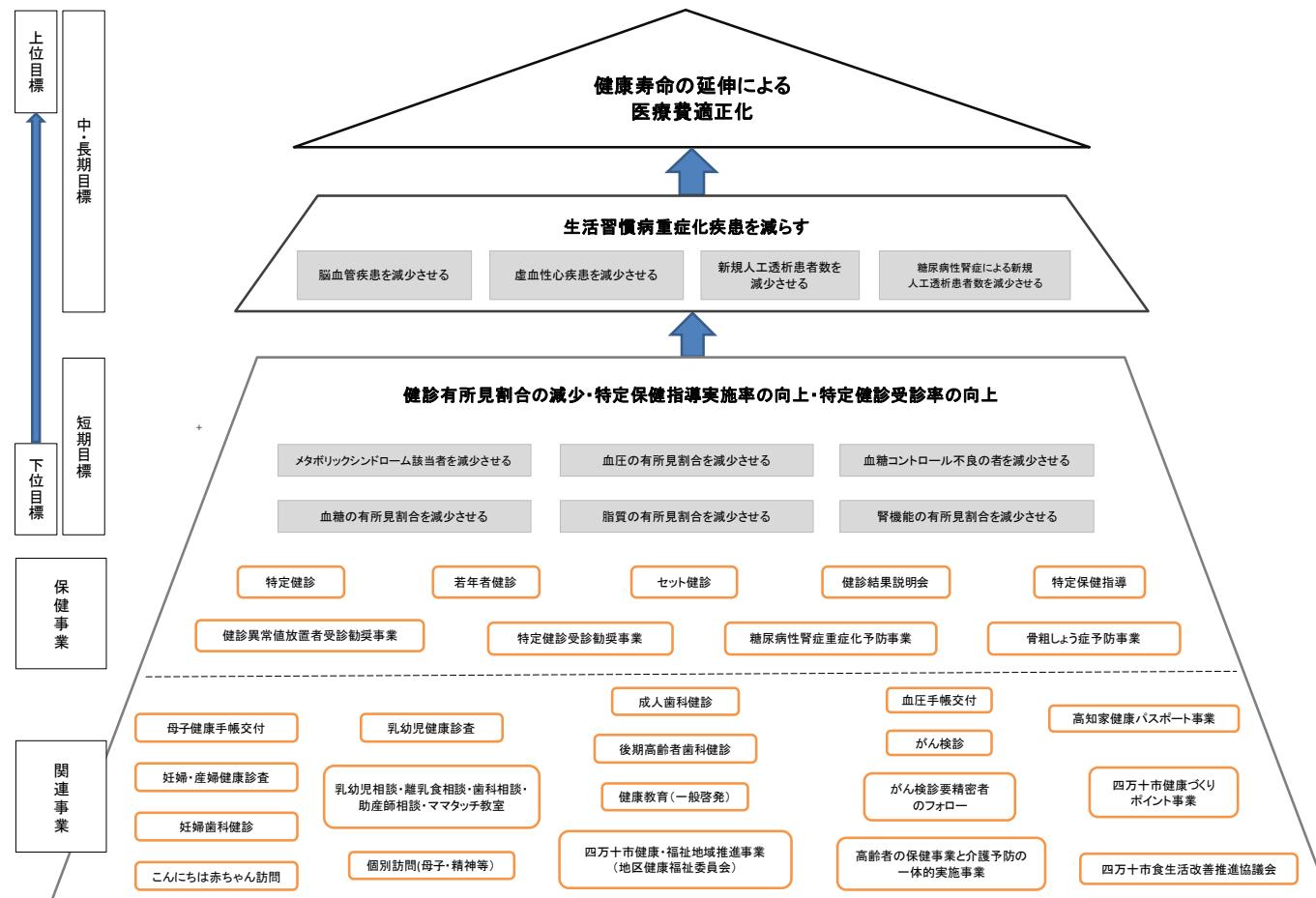
構成市町村の意見を聴き、後期高齢者※データヘルス計画の策定を進める。

#### ○保健医療関係者の役割

保険者等の求めに応じ、保険者への支援等を積極的に行う。

図表3 計画全体の関連図

データヘルス計画から上位目標を達成するために下位目標の確認



## (2) 現状の整理

### ① 保険者の特性

四万十市は高知県内で2番目に面積が広く、その約84%を森林が占めており、国・同規模市町村と比べ農林水産業などの1次産業が多い。また、国・県・同規模市町村と比べ、小売業や医療・福祉業等の3次産業が多いのも特徴である。(図表4)

人口の年齢構成を国と比較すると、四万十市では少子高齢化が進んでおり、さらに30歳～40歳代の働き世代も少ない傾向がある。(図表5)

国民健康保険被保険者数は年々減少傾向にあるが、65歳から74歳の年齢層においては、男性は減少、女性は横ばい傾向である。(図表6)

地域の社会資源として、地区健康福祉委員会※1、四万十市食生活改善推進協議会※、四万十市社会福祉協議会※があり、積極的な活動を展開している。

※1 四万十市では、急速に進行する高齢化社会に対応していくために、高齢となっても健康で安心して暮らすことができる地域を推進していく「四万十市健康・福祉地域推進事業」を実施している。住民組織によって設立する「〇〇地区健康福祉委員会」に、市から事業を委託している。

図表4 産業構成割合(%)

	一次産業	二次産業	三次産業
四万十市	11.6	16.0	72.4
県	11.8	17.2	71.0
同規模	10.7	27.3	62.0
国	4.0	25.0	71.0

R2年市区町村別統計表より集計

図表5

人口及び被保険者の状況

	四万十市				県				国			
	人口	割合	被保険者数	加入率	人口	割合	被保険者数	加入率	人口	割合	被保険者数	加入率
0～9歳	2,219	6.9%	244	11.0%	45,692	6.7%	5,557	12.2%	9,149,680	7.5%	934,448	10.2%
10～19歳	2,618	8.1%	360	13.8%	56,206	8.3%	7,769	13.8%	10,815,158	8.8%	1,275,160	11.8%
20～29歳	2,178	6.7%	311	14.3%	52,398	7.7%	7,518	14.3%	11,847,532	9.7%	1,831,668	15.5%
30～39歳	2,936	9.1%	491	16.7%	60,754	8.9%	10,254	16.9%	13,151,438	10.7%	1,981,228	15.1%
40～49歳	4,199	13.0%	834	19.9%	87,908	12.9%	16,210	18.4%	17,048,638	13.9%	2,703,316	15.9%
50～59歳	4,081	12.6%	952	23.3%	88,571	13.0%	19,132	21.6%	17,365,506	14.2%	3,145,336	18.1%
60～69歳	4,438	13.7%	2,405	54.2%	91,926	13.5%	44,377	48.3%	14,733,446	12.0%	6,583,052	44.7%
70～74歳	3,106	9.6%	2,390	76.9%	60,579	8.9%	45,432	75.0%	9,125,786	7.5%	6,913,996	75.8%
75歳以上	6,541	20.2%			135,735	20.0%			19,185,847	15.7%		
合計	32,316	100.0%	7,987	24.7%	679,769	100.0%	156,249	23.0%	122,423,031	100.0%	25,368,204	20.7%
再掲_65歳以上	11,996	37.1%	3,966	33.1%	243,877	35.9%	74,367	30.5%	35,685,383	29.1%	11,238,125	31.5%

※人口は令和5年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)(日本人住民)

※被保険者数は集計年度内の1月平均を集計

図表6

国民健康保険被保険者数の推移



## ② 前期計画等に係る考察

第2期評価の短期目標達成状況を確認すると、男女ともにLDLコレステロール※やHbA1c※の有所見者、「要医療」判定者の医療機関受診率において悪化がみられた。

健診有所見率が増加した原因として、新型コロナウイルス感染症拡大による影響（外出控えによる運動不足や間食・飲酒量の増加等）が考えられ、保健指導や医療機関への受診勧奨等を継続して行い、重症化予防に注力する必要がある。

また、腎不全の医療費は増加傾向にあり、人工透析※患者の4割以上が糖尿病※有病者である。特定健診結果においても腎機能有所見者の割合は増加している。糖尿病性腎症※重症化予防事業で、対象者には電話・手紙・個別訪問等で保健指導プログラムの利用を促したが、病識が薄く必要性を感じていない者も多いため、医療機関との連携を強化していく必要がある。

## 四万十市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)第2期 評価→目的・目標・指標の確認、達成状況と判定

### 目的:被保険者の健康寿命の延伸

A(目標値に達した)
B(目標値に達していないが、改善傾向にある)
C(変わらない)
D(悪化している)
E(判定不能)

### 中・長期目標

目標	対象者	評価経年モニタリング										判定
		指標	目標値	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年 (直近の値)		
データヘルス計画 本文より	脳血管疾患発症者数の増加の抑制 (40歳～74歳)	脳血管疾患患者の割合 (発症者数/40歳～74歳の被保険者数)	0.39%未満	0.39% (29人/7,411人) 【脳梗塞:21人、 脳内出血:8人】	0.40% (29人/7,261人) 【脳梗塞:25人、 脳内出血:4人】	0.28% (20人/7,134人) 【脳梗塞:13人、 脳内出血:7人】	0.36% (25人/6,972人) 【脳梗塞:20人、 脳内出血:5人】	0.36% (25人/6,885人) 【脳梗塞:18人、 脳内出血:7人】	0.34% (23人/6,696人) 【脳梗塞:14人、 脳内出血:9人】	0.43% (27人/6,347人) 【脳梗塞:22人、 脳内出血:5人】	B	
	虚血性心疾患発症者数の増加の抑制 (40歳～74歳)	虚血性心疾患患者の割合 (発症者数/40歳～74歳の被保険者数)	0.35%未満	0.35% (26人/7,411人)	0.22% (16人/7,261人)	0.27% (19人/7,134人)	0.16% (11人/6,972人)	0.26% (18人/6,885人)	0.24% (16人/6,696人)	0.32% (20人/6,347人)	A	
	新規人工透析患者数の減少	新規透析患者数	5人未満	9人	7人	6人	4人	3人	4人	6人	B	

短期目標(毎年評価する)

目標	対象者	評価経年モニタリング										判定
		指標	目標値	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年 (直近の値)		
データヘルス計画 本文より	高血圧の改善	特定健康診査受診者	収縮期血圧の平均値	男:127mmHg 女:125mmHg	男性:132mmHg 女性:129mmHg	男性:131mmHg 女性:129mmHg	男性:132mmHg 女性:130mmHg	男性:133mmHg 女性:130mmHg	男性:133mmHg 女性:130mmHg	男性:133mmHg 女性:130mmHg	男性:132mmHg 女性:130mmHg	C
	脂質異常症の減少	特定健康診査受診者	LDLコレステロールにおける有所見者割合	男:39.7% 女:54.7%	男性:39.7% 女性:54.7%	男性:40.7% 女性:56.5%	男性:42.7% 女性:55.9%	男性:42.9% 女性:53.9%	男性:41.1% 女性:56.0%	男性:42.4% 女性:56.4%	男性:41.0% 女性:52.9%	D
	糖尿病有病者の増加の抑制	特定健康診査受診者	HbA1cにおける有所見者割合の減少	男:65.6% 女:66.6%	男性:65.6% 女性:66.6%	男性:65.6% 女性:68.3%	男性:65.3% 女性:67.9%	男性:66.0% 女性:68.6%	男性:71.8% 女性:72.2%	男性:68.6% 女性:70.4%	男性:67.1% 女性:71.3%	D
	「要医療」判定者の医療機関受診率の向上	特定健康診査における「要医療」判定者	「要医療」判定者の医療機関受診率	67.0%	44.50%	30.86%	42.86%	53.80%	55.60%	52.10%	33.80%	D
	特定健診受診率の向上	40歳～74歳の被保険者	特定健診受診率	57%	43.0%	44.0%	44.4%	44.4%	41.5%	41.3%	42.2%	C
	特定保健指導実施率の向上	特定健康診査受診者	特定保健指導実施率(積極的支援)	52.1%	16.8%	25.9%	17.3%	21.2%	15.9%	14.9%	12.2%	B
			特定保健指導実施率(動機付け支援)	54.8%	22.6%	22.9%	20.2%	27.4%	21.7%	24.1%	30.1%	B

個別保健事業実施計画

事業名	目的	目標	対象者	評価経年モニタリング									判定
				指標	目標値	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年 (直近の値)	
特定健診受診勧奨事業	生活習慣病の早期発見および重症化予防	特定健診受診率の向上	40歳～74歳の被保険者	特定健診受診率	57%	43.0%	44.0%	44.4%	44.4%	41.5%	41.3%	42.2%	C
				特定健診受診者数	3,167人	2,970人	2,971人	2,922人	2,868人	2,638人	2,545人	2,461人	C
早期介入保健指導事業	生活習慣病の早期発見および重症化予防	特定健診受診率の向上	30歳～39歳の被保険者	健診受診者のうち「継続受診の必要があると思う」と回答した者の割合	90%	—	94.30%	95.40%	91.00%	95.60%	96.90%	96.80%	A
				30歳代健診受診者の継続受診率(前年度健診受診者のうち当該年度も受診した者の割合)	50%	—	61.54%	46.22%	72.22%	59.29%	68.04%	55.91%	A
健診結果説明会	生活習慣病の早期発見および重症化予防	特定健診受診率の向上	特定健診受診者	説明会参加者の次年度の健診受診率	90%	—	91.14%	78.99%	69.00%	69.00%	77.70%	63.20%	D
特定保健指導事業	生活習慣病重症化予防	保健指導対象者数の減少	特定保健指導対象者	指導終了者の生活習慣改善率	70%	—	58.10%	71.74%	71.29%	77.50%	82.42%	53.76%	B
健診異常値放置者受診勧奨事業	生活習慣病重症化予防	適切な受診行動への変容と重症化の予防	特定健診(集団健診)受診者のうち異常値があるにもかかわらず医療機関を受診していない者	受診勧奨後における医療機関受診率(当該年度健診受診者)	67%	44.57%	30.86%	42.86%	53.85%	55.60%	52.10%	33.80%	B
				受診勧奨後における医療機関受診率(前年度健診受診者)	34%	11.70%	17.60%	15.69%	9.02%	24.40%	16.90%	18.00%	B
			特定健診受診者	特定健診「要医療」判定者の割合	4.2%未満	4.61%	4.37%	5.74%	6.05%	3.80%	4.76%	5.00%	C
生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	生活習慣病重症化予防	生活習慣病の治療中断者の減少	40歳以上の被保険者のうちかつて生活習慣病で定期受診をしていたが、その後受診を中断した者	受診勧奨後における医療機関受診率	50%	33.33%	40.00%	54.29%	32.00%	61.70%	64.50%	43.20%	B
			生活習慣病治療中断者数	計画策定時より40%減少	—	32人	37人	26人	47人	31人	37人	C	
糖尿病性腎症重症化予防事業	生活習慣病重症化予防	新規人工透析患者数の減少	糖尿病性腎症の重症化のリスクが高い者	指導実施完了者の生活習慣改善率	70%	—	100%	60%	—	85.70%	100%	66.70%	E
				指導実施完了者の検査値改善率	70%	—	60%	60%	—	14.20%	100%	100%	E
			指導完了者の糖尿病性腎症における病気進行(人工透析導入)者数	0人	—	0人	0人	—	1人	0人	0人	0人	A
			新規人工透析患者数	5人未満	9人	7人	6人	4人	3人	4人	6人	6人	B

個別保健事業まとめ

事業名	現状 (達成・未達要因)	見直し改善案 次期計画の方向性	第3期DH計画事業内容
特定健診 受診勧奨事業	・新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、受診率が低下したと考えられる。 ・電話での受診勧奨が頭打ちとなった。 ・若年層の受診率が伸びない。	・受診率向上につながる通知方法の検討 ・若年層の受診につながる勧奨方法の検討	特定健診の受診状況等から未受診者を特定し、個別通知書の送付により受診勧奨を行う。 市で実施する集団健診と医療機関による個別健診を併用して実施する。
早期介入 保健指導事業	・健診継続受診についての個別説明が効果的だった。 ・「仕事で忙しい」「まだ若いので大丈夫」などの理由により、受診率が低い。	・周知方法の拡大（SNSの活用を検討） ・受診行動の分析	30～39歳の国保被保険者を対象に若年者健康診査（集団健診）を実施。受診者のうち、特定保健指導予備軍、「要精密・要医療」判定者に対し、健診結果説明会、訪問、電話、郵送等で保健指導や医療機関への受診勧奨を行う。
健診結果説明会	・徐々に実施個所数やターゲットを絞って参加勧奨を行ったため、結果説明会への参加率が減少した。 ・予約制にすることで待ち時間を減らし、対象者に合わせた指導準備ができた。	・視覚的な資料を用いて説明（継続受診の必要性）	特定健診の受診者に対し、各地区集会所等で結果説明会を行い、健診結果の見方、継続受診の必要性を説明する。
特定保健指導事業	・個別健診受診者に対する実施率が低い。 ・働き世代にアポを取りにくい。 ・過去に指導歴がある方へのアプローチが困難。	・保健指導の質の向上（業者委託の検討）	特定健診の結果から対象者を選定し、専門職が面接や電話等で指導を行う。 厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿って実施。
健診異常値放置者 受診勧奨事業	・対面での受診勧奨は比較的効果あり。 ・血圧や脂質での要医療者は明確な未受診の理由がある場合が多く、受診率が低い。 ・業者委託による通知効果は7%前後であり、費用対効果が低い。	・個別健診受診者も対象とする ・未受診の理由に応じた保健指導の実施 ・当該年度健診受診者における対象者に力を入れる	当該年度に特定健診を受診し「要精密・要医療」判定となった者に対し、医療機関への受診勧奨通知を行い、訪問・電話・手紙・結果説明会等で再度受診勧奨を行う。
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	・業者委託による通知効果は0～10%前後であり、費用対効果が低い。	・中止 ・より効果的な事業への転換	対象者の抽出や効果的なアプローチが困難であるため、当事業を中止し、新たな事業を展開する。
糖尿病性腎症 重症化予防事業	・プログラム参加者数が少ないため、評価困難	・プログラムの周知 ・医療機関との連携強化	県版「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」*に沿って実施。

## II 健康医療情報等の分析と課題

### (1) 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

#### ①健康・医療情報の分析

##### ・死亡

主要死因別標準化死亡比\*(SMR)の2012年から2021年の推移において、2015年全国基準を100とした場合、脳血管疾患、虚血性心疾患で男女とも減少傾向にある。しかし腎不全\*においては男女とも全国基準より高く、特に女性において増加傾向にある。(図表7)

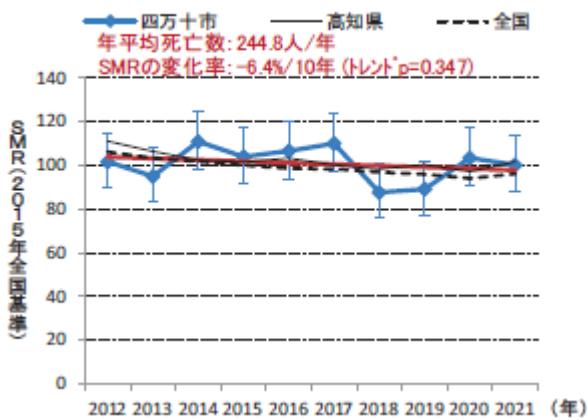
図表7 主要死因別標準化死亡比(SMR)の推移 2012~2021年

2015年全国基準 (=100)

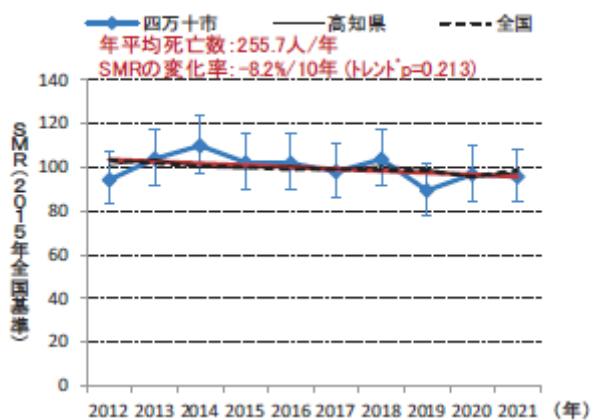
【男性】

【女性】

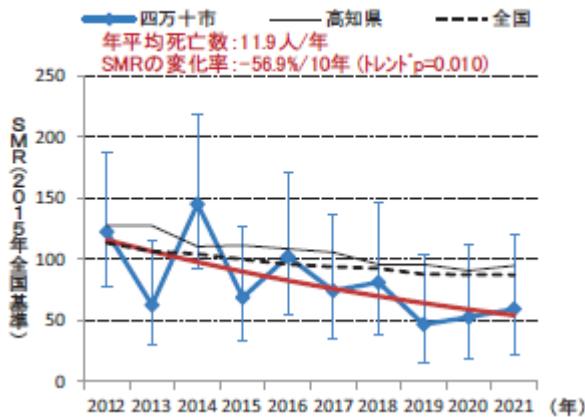
#### 【全死因】



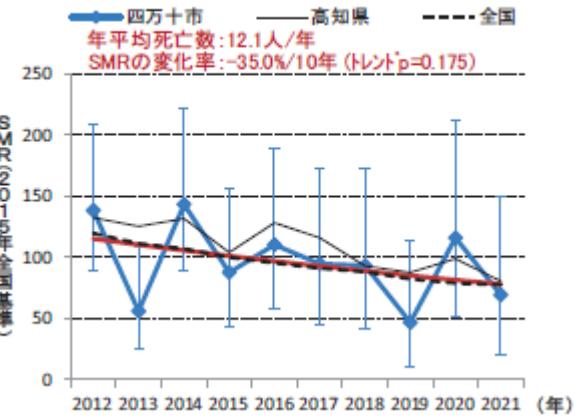
#### 【全死因】



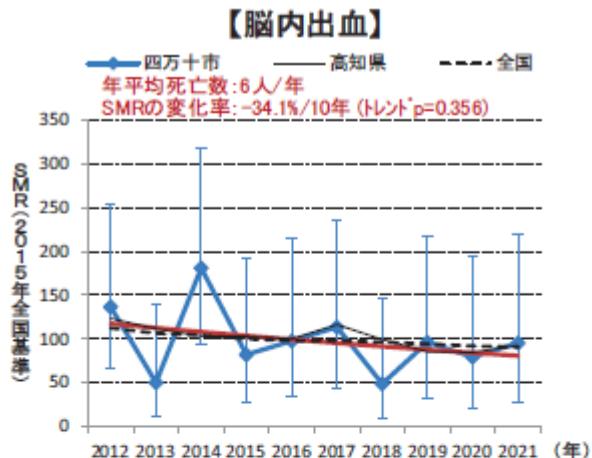
#### 【虚血性心疾患】



#### 【虚血性心疾患】



【男性】



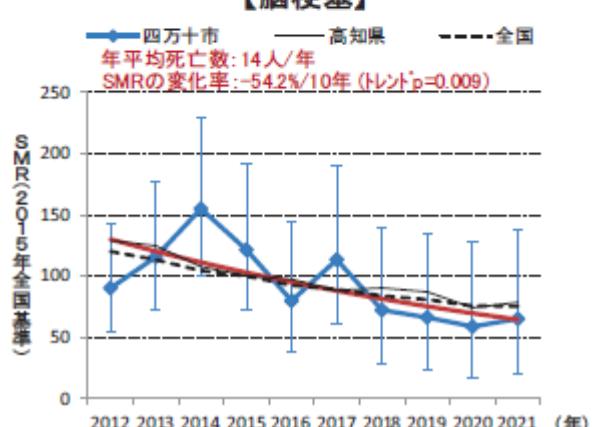
【女性】



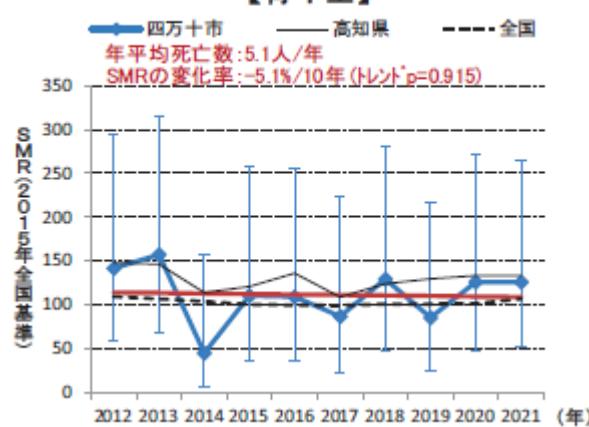
【脳梗塞】



【脳梗塞】



【腎不全】



【腎不全】



## ・介護

介護認定状況では、四万十市の介護保険被保険者全体 22,365 人のうち認定を受けているのは 2,109 人で 9.4% が認定を受けている。年齢構成では認定者の約 9 割が 75 歳以上である。(図表 8)

本市全体で脳血管疾患での死亡が減少していると前述したが、介護認定者の有病状況をみると、第 1 号、2 号被保険者※とともに循環器疾患では脳血管疾患を有する人の割合が高く、基礎疾患では高血圧、脂質異常症※、糖尿病※を有する人が多い。(図表 9)

要介護度別の介護給付※について、1 件当たり給付費を全年齢・男女計でみると、要支援 2 から国・県より高く、特に要介護 3 から国と 4 万円以上の差が生じている。(図表 10)

65 歳以上では女性の要介護 1～5 が、男性の 1 件当たり給付費よりも高い傾向がある。(図表 11)

介護保険サービス※の需給状況について、居宅・施設サービスの件数・金額で割合をみると、本市は施設サービス利用の件数および金額の割合が国・県よりも高い割合を示している。本市は介護保険施設※数が多いことにより居宅サービスに従事する介護職員が不足していることが伺われ、国・県と比べ早い時期から施設入所する方が多いことが考えられる。これにより施設サービスの給付費が高くなっていることが考えられる。(図表 12)

図表 8

要介護認定者の状況

令和 5 年 3 月時点

受給者区分	2 号		1 号			合計	
	年齢	40～64 歳	65～74 歳	75 歳以上	計		
被保険者数 ※1	10,369 人		5,455 人		6,541 人	11,996 人	
認定率	0.3%		3.3%		29.0%	17.3%	
認定者数	36 人		179 人		1,894 人	2,073 人	
新規認定者数 ※2	12 人		44 人		300 人	344 人	
介護度別 人数・割合	介護度	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	要支援 1	4	11.1%	16	8.9%	213	11.2%
	要支援 2	8	22.2%	24	13.4%	202	10.7%
	要介護 1	6	16.7%	32	17.9%	361	19.1%
	要介護 2	6	16.7%	36	20.1%	327	17.3%
	要介護 3	5	13.9%	19	10.6%	240	12.7%
	要介護 4	3	8.3%	27	15.1%	303	16.0%
	要介護 5	4	11.1%	25	14.0%	248	13.1%

※1 被保険者数は令和 5 年 1 月 1 日住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)(日本人住民)より集計

※2 新規認定者数は年度内に新規認定を受けた者の合計

令和5年3月時点

図表9

国保・後期被保険者における介護認定者の有病状況

受給者区分			2号		1号				合計			
年齢			40~64歳		65~74歳		75歳以上		計			
認定者数			19		131		1,751		1,882		1,901	
疾患			人數	割合	人數	割合	人數	割合	人數	割合	人數	割合
（レセプトの診療名より重複して計上）	循環器疾患	脳血管疾患	9	47.4%	53	40.5%	828	47.3%	881	46.8%	890	46.8%
		脳出血	7	36.8%	19	14.5%	96	5.5%	115	6.1%	122	6.4%
		脳梗塞	6	31.6%	40	30.5%	777	44.4%	817	43.4%	823	43.3%
		虚血性心疾患	2	10.5%	25	19.1%	593	33.9%	618	32.8%	620	32.6%
		腎不全	4	21.1%	18	13.7%	308	17.6%	326	17.3%	330	17.4%
	血管疾患	人工透析	2	10.5%	7	5.3%	24	1.4%	31	1.6%	33	1.7%
		糖尿病	10	52.6%	61	46.6%	768	43.9%	829	44.0%	839	44.1%
		腎症	2	10.5%	8	6.1%	78	4.5%	86	4.6%	88	4.6%
		網膜症	3	15.8%	13	9.9%	66	3.8%	79	4.2%	82	4.3%
		神経障害	3	15.8%	3	2.3%	22	1.3%	25	1.3%	28	1.5%
	高血圧		14	73.7%	86	65.6%	1,509	86.2%	1,595	84.8%	1,609	84.6%
	脂質異常症		12	63.2%	80	61.1%	1,149	65.6%	1,229	65.3%	1,241	65.3%
	高尿酸血症		3	15.8%	37	28.2%	333	19.0%	370	19.7%	373	19.6%
	血管疾患合計		16	84.2%	114	87.0%	1,669	95.3%	1,783	94.7%	1,799	94.6%
	認知症		4	21.1%	45	34.4%	861	49.2%	906	48.1%	910	47.9%
	筋・骨格疾患		15	78.9%	113	86.3%	1,693	96.7%	1,806	96.0%	1,821	95.8%
	歯肉炎歯周病		7	36.8%	81	61.8%	881	50.3%	962	51.1%	969	51.0%

※医療保険が四万十市の国保又は後期である介護認定者のみ集計

令和4年度（累計）

要介護度別介護給付費の比較

全 体	男女計	四万十市		1件当たり給付費					
		総給付費	総件数	四万十市		県		同規模	国
				四万十市	県	同規模	国		
要支援1	18,845,800	2,015	9,353	8,941	9,733	9,568			
要支援2	44,944,440	3,279	13,707	12,052	13,649	12,723			
要介護1	418,836,241	8,152	51,378	40,654	42,595	37,331			
要介護2	627,497,154	9,240	67,911	52,114	53,391	45,837			
要介護3	655,622,888	5,368	122,135	86,080	93,678	78,504			
要介護4	961,108,449	5,403	177,884	136,255	130,313	103,025			
要介護5	933,003,334	4,315	216,223	177,322	152,364	113,314			
合計	3,659,858,306	37,772	96,893	70,981	70,503	59,662			
40歳以上	男女計	四万十市		1件当たり給付費					
		総給付費	総件数	四万十市		県		同規模	国
				四万十市	県	同規模	国		
要支援1	115,120	38	3,029	9,616	10,358	10,747			
要支援2	634,232	90	7,047	13,878	14,378	14,789			
要介護1	1,470,495	76	19,349	29,838	33,059	29,874			
要介護2	4,214,562	160	26,341	33,004	36,463	33,513			
要介護3	9,828,568	176	55,844	51,061	62,311	52,960			
要介護4	10,522,291	92	114,373	76,185	81,091	67,217			
要介護5	11,650,746	106	109,913	100,246	91,931	73,492			
合計	38,436,014	738	52,081	43,254	49,258	45,004			
65歳以上	男女計	四万十市		1件当たり給付費					
		総給付費	総件数	四万十市		県		同規模	国
				四万十市	県	同規模	国		
要支援1	1,163,768	129	9,021	8,892	10,070	9,759			
要支援2	3,770,690	282	13,371	12,811	13,853	13,182			
要介護1	30,715,396	598	51,364	33,259	36,903	33,276			
要介護2	62,657,840	1,175	53,326	41,744	41,666	37,544			
要介護3	32,415,952	490	66,155	64,769	70,693	61,575			
要介護4	60,395,268	402	150,237	93,764	93,295	78,050			
要介護5	70,205,171	344	204,085	127,507	110,185	87,089			
合計	261,324,085	3,420	76,411	53,170	54,470	48,649			
75歳以上	男女計	四万十市		1件当たり給付費					
		総給付費	総件数	四万十市		県		同規模	国
				四万十市	県	同規模	国		
要支援1	17,566,912	1,848	9,506	8,934	9,682	9,521			
要支援2	40,539,518	2,907	13,945	11,870	13,601	12,587			
要介護1	386,650,350	7,478	51,705	41,585	43,249	37,898			
要介護2	560,624,752	7,905	70,920	53,808	55,069	47,302			
要介護3	613,378,368	4,702	130,451	89,002	96,710	81,356			
要介護4	890,190,890	4,909	181,339	141,740	135,311	107,166			
要介護5	851,147,417	3,865	220,219	185,770	159,828	119,363			
合計	3,360,098,207	33,614	99,961	73,582	72,675	61,457			

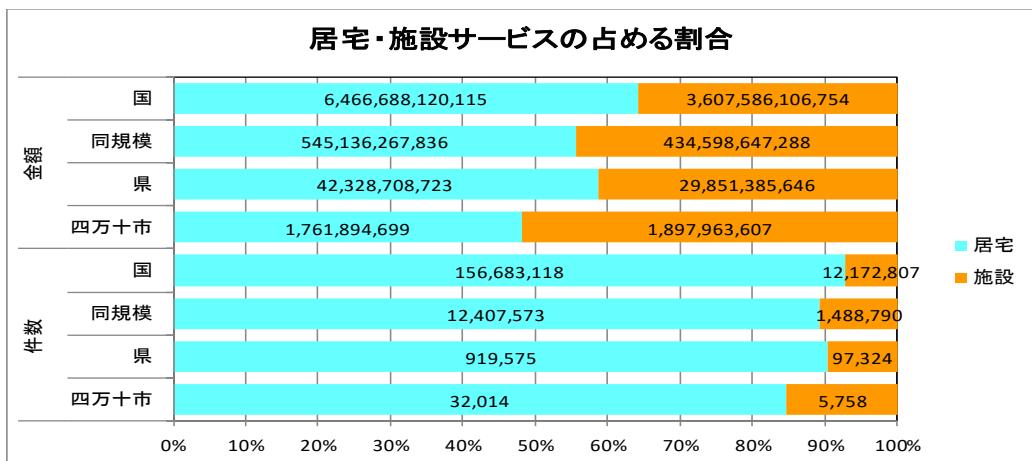
図表 11

令和4年度（累計）

要介護度別介護給付費の比較（男女別）														
	男性	四十万市		1件当たり給付費			女性	四十万市		1件当たり給付費				
		総給付費	総件数	四十万市	県	同規模		総給付費	総件数	四十万市	県	同規模		
全 体	要支援1	4,234,205	407	10,403	10,255	10,652	10,442	要支援1	14,611,595	1,608	9,087	8,510	9,377	9,229
	要支援2	9,996,189	770	12,982	13,627	14,522	13,706	要支援2	34,948,251	2,509	13,929	11,481	13,346	12,356
	要介護1	103,784,891	2,410	43,064	35,653	37,819	33,609	要介護1	315,051,350	5,742	54,868	42,754	44,631	39,077
	要介護2	157,989,776	2,870	55,049	44,121	45,119	39,766	要介護2	469,507,378	6,370	73,706	56,235	57,480	49,079
	要介護3	186,870,375	2,041	91,558	72,484	77,090	65,693	要介護3	468,752,513	3,327	140,893	92,858	101,853	85,317
	要介護4	254,222,742	2,027	125,418	107,768	102,847	84,066	要介護4	706,885,707	3,376	209,386	148,074	142,059	111,758
	要介護5	182,254,285	1,065	171,131	142,509	116,503	89,675	要介護5	750,749,049	3,250	231,000	189,819	166,646	123,512
	合計	899,352,463	11,590	77,597	58,849	58,521	50,762	合計	2,760,505,843	26,182	105,435	76,277	75,772	63,898
	四十万市		1件当たり給付費			女性	四十万市		1件当たり給付費					
	要支援1	115,120	38	3,029	10,941	10,986	11,181	要支援1	0	0	#DIV/0!	8,132	9,559	10,219
4 0 5 6 4 歳	要支援2	196,628	54	3,641	13,103	14,985	15,361	要支援2	437,604	36	12,156	14,587	13,731	14,088
	要介護1	1,347,635	63	21,391	29,459	34,097	30,929	要介護1	122,860	13	9,451	30,327	31,434	28,299
	要介護2	1,688,007	77	21,922	33,302	37,371	34,672	要介護2	2,526,555	83	30,440	32,645	35,190	31,785
	要介護3	9,150,166	141	64,895	54,027	64,696	54,261	要介護3	678,402	35	19,383	46,888	59,019	50,944
	要介護4	3,743,427	44	85,078	78,835	81,231	68,262	要介護4	6,778,864	48	141,226	72,898	80,918	65,793
	要介護5	4,160,722	16	260,045	88,626	93,528	72,294	要介護5	7,490,024	90	83,222	114,806	90,446	74,939
	合計	20,401,705	433	47,117	43,486	49,609	45,574	合計	18,034,309	305	59,129	42,973	48,807	44,205
	四十万市		1件当たり給付費			女性	四十万市		1件当たり給付費					
	要支援1	284,177	24	11,841	9,757	10,840	10,706	要支援1	879,591	105	8,377	8,235	9,457	9,087
6 5 5 7 4 歳 4 歳	要支援2	1,547,183	114	13,572	14,002	14,636	14,170	要支援2	2,223,507	168	13,235	11,832	13,250	12,454
	要介護1	17,484,268	421	41,530	32,798	36,877	33,454	要介護1	13,231,128	177	74,752	33,842	36,932	33,081
	要介護2	28,767,768	514	55,968	41,940	41,197	37,606	要介護2	33,890,072	661	51,271	41,493	42,295	37,466
	要介護3	22,646,440	362	62,559	61,703	68,671	60,338	要介護3	9,769,512	128	76,324	68,925	73,471	63,226
	要介護4	24,888,332	288	86,418	86,775	88,700	75,243	要介護4	35,506,936	114	311,464	101,824	99,046	81,437
	要介護5	31,351,579	195	160,777	120,313	99,520	81,124	要介護5	38,853,592	149	260,762	135,028	122,554	93,592
	合計	126,969,747	1,918	66,199	51,756	53,919	48,665	合計	134,354,338	1,502	89,450	54,813	55,107	48,631
	四十万市		1件当たり給付費			女性	四十万市		1件当たり給付費					
	要支援1	3,834,908	345	11,116	10,334	10,600	10,359	要支援1	13,732,004	1,503	9,136	8,538	9,368	9,230
7 5 歳 以上	要支援2	8,252,378	602	13,708	13,564	14,463	13,460	要支援2	32,287,140	2,305	14,007	11,361	13,348	12,309
	要介護1	84,952,988	1,926	44,109	36,487	38,110	33,749	要介護1	301,697,362	5,552	54,340	43,421	45,187	39,615
	要介護2	127,534,001	2,279	55,961	45,027	46,302	40,583	要介護2	433,090,751	5,626	76,980	57,730	58,800	50,368
	要介護3	155,073,769	1,538	100,828	75,337	79,278	67,590	要介護3	458,304,599	3,164	144,850	94,923	104,159	87,596
	要介護4	225,590,983	1,695	133,092	113,286	106,953	87,181	要介護4	664,599,907	3,214	206,783	151,919	145,637	114,907
	要介護5	146,741,984	854	171,829	152,546	122,803	94,258	要介護5	704,405,433	3,011	233,944	195,397	171,885	127,963
	合計	751,981,011	9,239	81,392	61,088	59,879	51,553	合計	2,608,117,196	24,375	107,000	78,259	77,537	65,490

図表 12

令和4年度（累計）



・医療

【医療の状況】

医療費の3要素で入院の状況について国と比較すると、1人当たり件数、1件当たり日数は多いが、1人当たり点数は少なくなっている。このことから、軽い状態で長期入院をしている人が多い傾向が伺われる。

また、外来の状況について国と比較すると、1人当たり件数と1人当たり点数は少ないが、1日当たり点数が多くなっている。このことから、通院間隔が長くなっていることが考えられる。(図表13)

医療施設等の状況をみると、本市の病院数、病床数は国のそれらと比較して多くあり、入院日数が多くなっている一因として考えられる。(図表15)

生活習慣病※医療費は全体の17%を占めており、内訳をみると糖尿病※、高血圧症※、慢性腎臓病（透有）の順で高い割合となっている。(図表16)

脳出血※、脳梗塞※の医療費は県と比較すると低いが、国と比較すると高い割合となっている。心筋梗塞※、慢性腎臓病（透無）、高血圧、糖尿病、高尿酸血症※の医療費は、国・県より高い割合となっている。(図表17)

図表13

医療費の3要素

令和4年度（累計）				
入院	四万十市	県	同規模	国
A 1人当たり件数	0.25353	0.31681	0.29165	0.23225
B 1件当たり日数	17.81	18.00	17.07	15.98
C 1日当たり点数	3,148	3,257	3,431	3,873
ABC 1人当たり点数	14,213	18,571	17,079	14,378

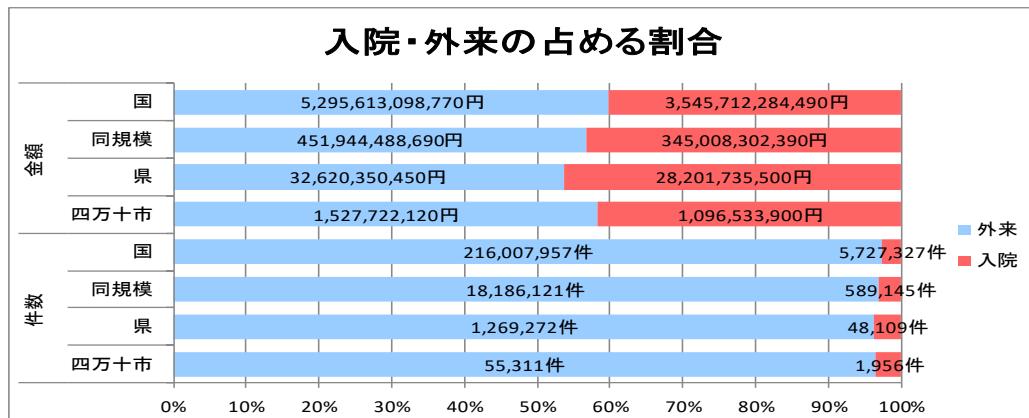
※医療費には調剤費用を含む  
※一人当たりは年度内平均1ヶ月による値

外来	四万十市	県	同規模	国
A 1人当たり件数	7,16928	8,35839	9,00279	8,75927
B 1件当たり日数	1.49	1.48	1.46	1.49
C 1日当たり点数	1,859	1,731	1,699	1,650
ABC 1人当たり点数	19,802	21,481	22,373	21,474

※医療費には調剤費用を含む  
※一人当たりは年度内平均1ヶ月による値

図表14

令和4年度（累計）



図表 15

医療施設等の状況

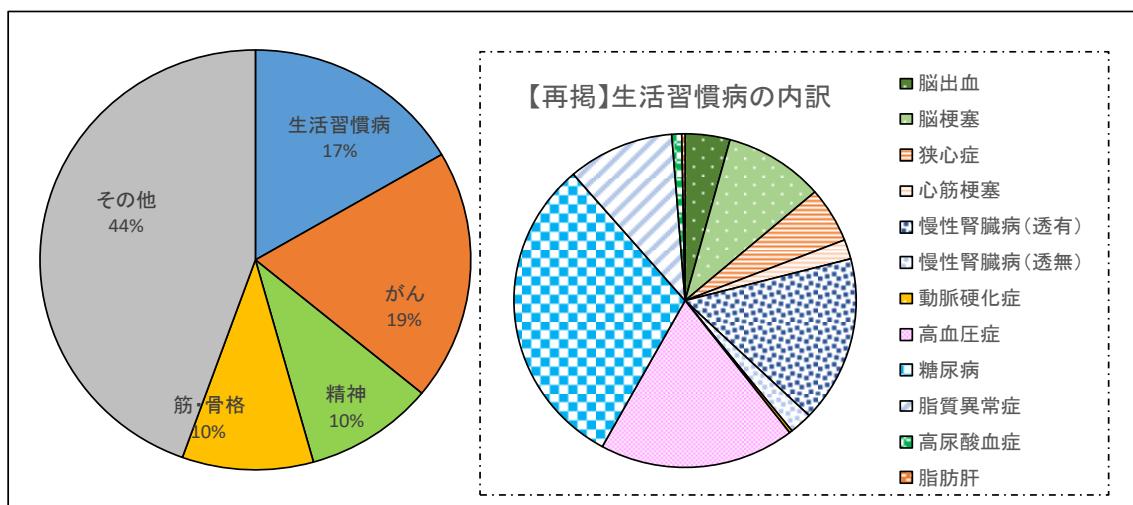
令和2年実績

	被保険者千人あたり			
	病院数	診療所数	病床数	医師数
四万十市	1.0	3.4	88.5	7.5
県	0.8	3.5	106.0	15.2
同規模	0.4	3.5	67.7	9.7
国	0.3	4.2	61.1	13.8

図表 16

生活習慣病医療費の占める割合

令和4年度（累計）



図表 17

令和4年度（累計）

【再掲】生活習慣病の内訳

（円）

	四万十市	割合	県	割合	同規模	割合	国	割合
脳出血	18,497,740	4.2%	574,860,520	5.2%	5,121,609,960	3.3%	59,430,793,930	3.5%
脳梗塞	41,323,990	9.5%	1,192,221,730	10.8%	11,603,309,470	7.5%	123,436,281,990	7.3%
狭心症	23,428,280	5.4%	490,176,710	4.4%	8,262,457,000	5.4%	98,879,590,420	5.9%
心筋梗塞	8,256,490	1.9%	184,442,380	1.7%	2,799,638,110	1.8%	30,465,528,380	1.8%
慢性腎臓病(透有)	70,395,500	16.1%	2,310,788,540	21.0%	32,290,503,200	20.9%	386,839,920,080	23.0%
慢性腎臓病(透無)	9,424,470	2.2%	172,258,390	1.6%	2,417,291,150	1.6%	25,873,023,820	1.5%
動脈硬化症	1,226,920	0.3%	67,490,580	0.6%	812,970,180	0.5%	9,347,142,790	0.6%
高血圧症	80,725,860	18.5%	1,997,596,350	18.1%	27,056,073,100	17.5%	270,811,770,500	16.1%
糖尿病	133,697,540	30.6%	2,976,419,860	27.0%	46,468,392,120	30.1%	481,727,988,440	28.6%
脂質異常症	43,969,880	10.1%	973,536,360	8.8%	16,260,662,020	10.5%	186,450,843,580	11.1%
高尿酸血症	4,089,840	0.9%	40,280,330	0.4%	389,435,030	0.3%	4,136,958,810	0.2%
脂肪肝	1,354,040	0.3%	38,858,940	0.4%	732,175,770	0.5%	8,029,281,770	0.5%
がん	507,022,840	-	9,459,787,140	-	134,767,560,120	-	1,482,311,853,950	-
精神	254,647,950	-	5,695,581,620	-	69,628,839,660	-	696,878,645,780	-
筋・骨格	258,549,990	-	6,238,929,890	-	71,749,413,930	-	770,412,844,790	-
その他	1,167,644,690	-	28,408,856,610	-	366,592,460,260	-	4,206,292,914,230	-

【重症化した生活習慣病\*（高額・6カ月以上入院・人工透析\*など）】

医療費の多くかかっている疾患について、KDB\*の細小（82）分類によれば、入院と外来上位10位までの傷病名に、糖尿病\*、高血圧症\*などの生活習慣病と、それらの疾患が重症化した慢性腎臓病\*（透析あり）がみられた。また、関節疾患や骨折等、整形外科疾患もみられた。（図表18）

人工透析患者の約4割が糖尿病を起因とする腎症患者である。（図表19）

図表18

医療費が多くかかっている疾患  
総計

順位	入院+外来				入院				外来			
	主傷病名	件数	点数	割合	主傷病名	件数	点数	割合	主傷病名	件数	点数	割合
1位	統合失調症	1,471	13,528,640	5.2%	統合失調症	246	9,936,991	9.1%	統合失調症	1,225	3,591,649	2.4%
2位	糖尿病	3,826	13,188,688	5.1%	糖尿病	32	1,241,637	1.1%	糖尿病	3,794	11,947,051	7.9%
3位	関節疾患	2,837	12,634,074	4.8%	関節疾患	53	3,986,078	3.6%	関節疾患	2,784	8,647,996	5.7%
4位	肺がん	217	9,850,103	3.8%	肺がん	31	2,394,087	2.2%	肺がん	186	7,456,016	4.9%
5位	高血圧症	5,446	8,072,586	3.1%	高血圧症	13	639,618	0.6%	高血圧症	5,433	7,432,968	4.9%
6位	慢性腎臓病(透析あり)	180	7,039,550	2.7%	慢性腎臓病(透析あり)	6	288,947	0.3%	慢性腎臓病(透析あり)	174	6,750,603	4.5%
7位	うつ病	1,832	6,122,447	2.3%	うつ病	77	3,030,051	2.8%	うつ病	1,755	3,092,396	2.0%
8位	不整脈	837	5,607,832	2.1%	不整脈	22	2,491,636	2.3%	不整脈	815	3,116,196	2.1%
9位	骨折	474	4,714,620	1.8%	骨折	62	4,022,341	3.7%	骨折	412	692,279	0.5%
10位	乳がん	301	4,545,956	1.7%	乳がん	9	732,460	0.7%	乳がん	292	3,813,496	2.5%

図表19

人工透析を算定しているレセプト集計

令和4年度（累計）

件数	人工透析患者数	2型糖尿病 有病者数	合計金額	新規透析患者数	
				導入期加算の 算定がある者	2型糖尿病 有病者数
331	33人	13人	127,987,040円	4人	3人

図表 20

1件当たり医療費30万円以上のレセプト集計 令和4年度（累計）

順位	主傷病名	レセプト件数	人数	医療費合計
1位	腎不全	318 件	36 人	130,873,100 円
2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	230 件	36 人	96,523,750 円
3位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	194 件	58 人	163,671,530 円
4位	その他の神経系の疾患	130 件	29 人	69,260,180 円
5位	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	102 件	19 人	92,967,560 円

※レセプト件数順

※最大医療資源傷病名による

図表 21

長期(6ヶ月以上)入院者のレセプト集計

令和4年度（累計）

順位	主傷病名	人数	レセプト件数	医療費合計 (直近レセプト)	【参考】総費用額合計 (直近レセプト費用×入院月数)
1位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	22 人	204 件	7,751,940 円	760,506,550 円
2位	その他の神経系の疾患	9 人	84 件	3,853,030 円	165,861,640 円
3位	てんかん	7 人	83 件	3,585,990 円	822,563,690 円
4位	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	6 人	49 件	1,657,220 円	365,613,770 円
5位	(判定不可傷病名)	3 人	33 件	1,833,650 円	231,391,750 円

※該当人数順

※最大医療資源傷病名による

図表 22

令和4年度（累計）

6ヶ月以上入院しているレセプトの血管病有病状況

血管病名	有病者数	割合
虚血性心疾患	4 人	6.0%
脳血管疾患	8 人	11.9%
動脈閉塞性疾患	1 人	1.5%

## 【生活習慣病※】

生活習慣病について、標準化医療費※の国との差を見ると、男性の外来ではがん、筋・骨格、精神、精神、高尿酸血症※で、入院では精神、脳梗塞※、脳出血※、高血圧症※で高い数値となっている。

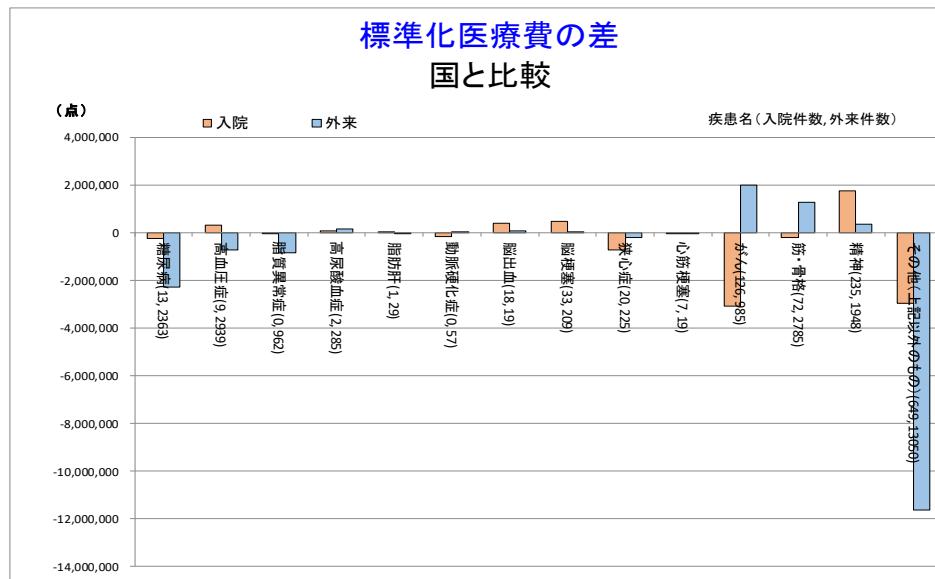
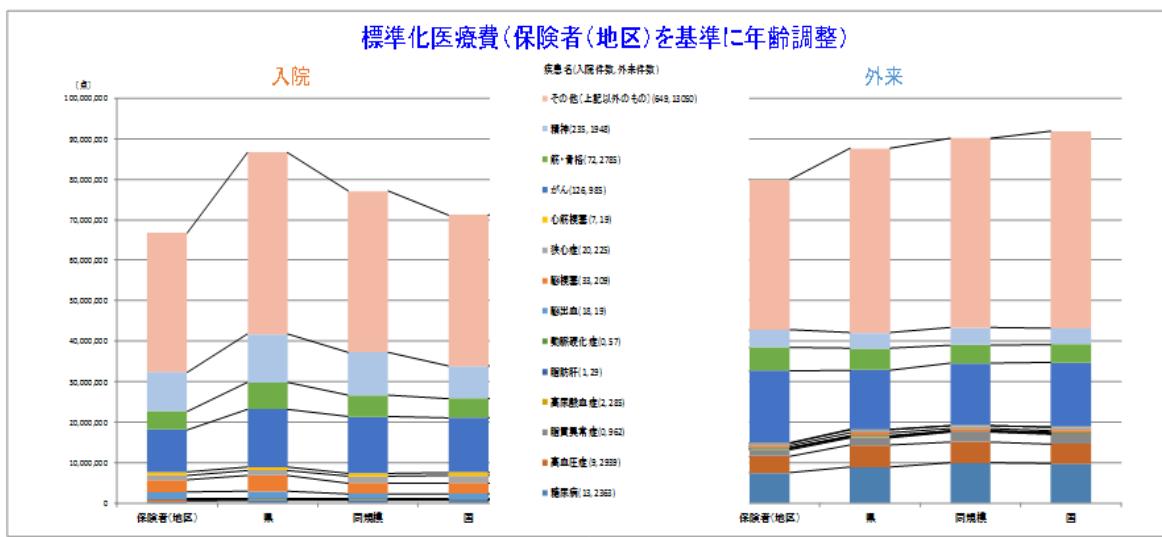
女性の外来では精神、がん、入院では糖尿病※、高血圧症、脂質異常症※が高い傾向にあった。

医療費全体を国・県・同規模と比較してみると、男女とも入院、外来医療費は低い傾向にあった。(図表 23)

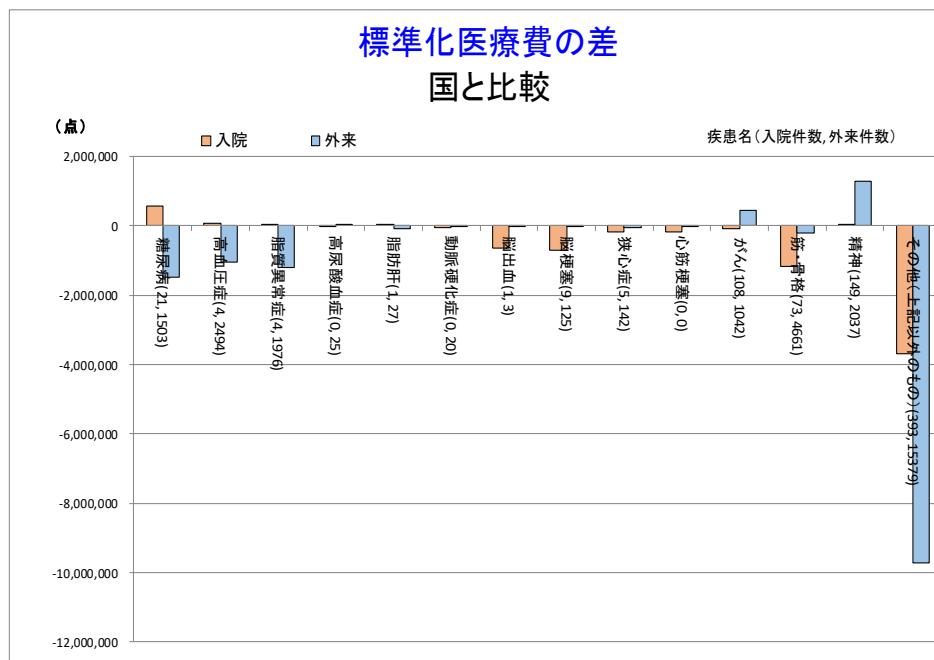
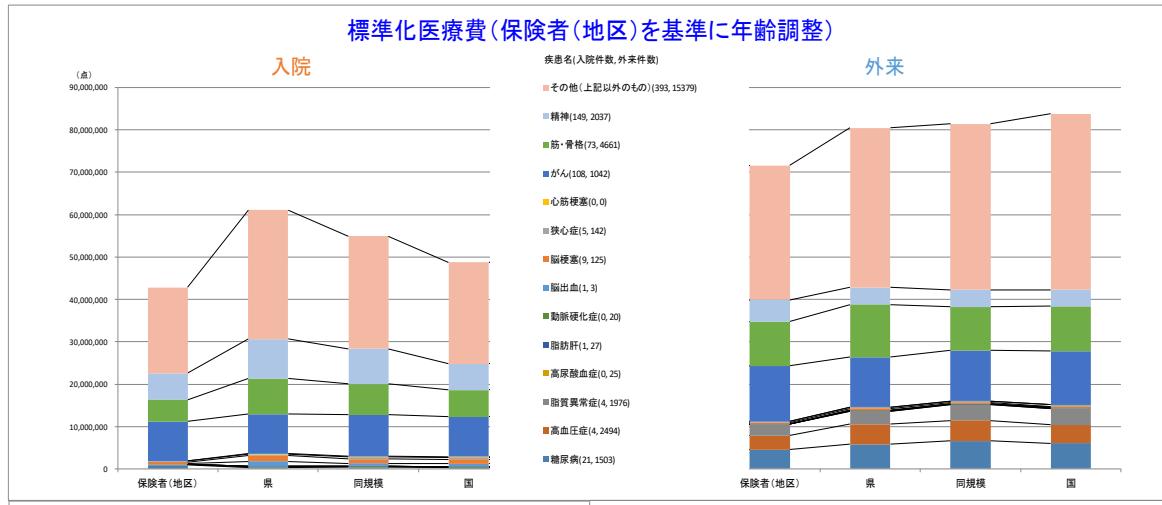
図表 23

疾病別医療費分析（生活習慣病）高知県令和4年度（累計）

男性 0～74歳



女性 0~74 歳



図表 24 慢性腎不全\*の医療費分析

疾病別医療費分析(細小(82)分類)[数値表]  
四万十市 R04年度(累計) 0~74歳

入院・外来	性別	疾患名	保険者(地区)			標準化医療費(期待総点数)			標準化医療費(期待総件数)		
			被保険者数	レセプト件数	総点数(A)	vs.県(B)	vs.同規模(C)	vs.国(D)	vs.県	vs.同規模	vs.国
入院	男性	慢性腎臓病(透析なし)	3,853	5	274,874	216,796	145,257	142,529	5	4	4
入院	男性	慢性腎臓病(透析あり)	3,853	6	288,947	2,339,716	1,957,245	2,100,283	31	26	26
外来	男性	慢性腎臓病(透析なし)	3,853	78	236,924	378,140	467,224	467,477	96	87	85
外来	男性	慢性腎臓病(透析あり)	3,853	140	5,462,531	6,324,412	6,905,578	7,474,277	162	177	190
入院・外来	性別	疾患名	保険者(地区)			標準化医療費(期待総点数)			標準化医療費(期待総件数)		
			被保険者数	レセプト件数	総点数(A)	vs.県(B)	vs.同規模(C)	vs.国(D)	vs.県	vs.同規模	vs.国
入院	女性	慢性腎臓病(透析なし)	3,862	1	353,184	110,269	69,594	61,505	3	2	2
入院	女性	慢性腎臓病(透析あり)	3,862	0	0	1,151,834	836,597	823,326	15	11	10
外来	女性	慢性腎臓病(透析なし)	3,862	25	77,465	208,593	244,691	224,353	51	46	43
外来	女性	慢性腎臓病(透析あり)	3,862	34	1,288,072	2,456,461	2,943,602	3,003,818	63	76	76

入院・外来	性別	疾患名	標準化医療費の差			標準化医療費の比(地域差指数)			標準化比(レセプト件数)		
			vs.県(A-B)	vs.同規模(A-C)	vs.国(A-D)	vs.県(A/B)	vs.同規模(A/C)	vs.国(A/D)	vs.県	vs.同規模	vs.国
入院	男性	慢性腎臓病(透析なし)	58,078	129,617	132,345	1.27	1.89	1.93	0.92	1.21	1.25
入院	男性	慢性腎臓病(透析あり)	-2,050,769	-1,668,298	-1,811,336	0.12	0.15	0.14	0.19	0.23	0.23
外来	男性	慢性腎臓病(透析なし)	-141,216	-230,300	-230,553	0.63	0.51	0.51	0.81	0.89	0.92
外来	男性	慢性腎臓病(透析あり)	-861,881	-1,443,047	-2,011,746	0.86	0.79	0.73	0.87	0.79	0.74
入院・外来	性別	疾患名	標準化医療費の差			標準化医療費の比(地域差指数)			標準化比(レセプト件数)		
			vs.県(A-B)	vs.同規模(A-C)	vs.国(A-D)	vs.県(A/B)	vs.同規模(A/C)	vs.国(A/D)	vs.県	vs.同規模	vs.国
入院	女性	慢性腎臓病(透析なし)	242,915	283,590	291,679	3.20	5.07	5.74	0.40	0.54	0.60
入院	女性	慢性腎臓病(透析あり)	-1,151,834	-836,597	-823,326	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
外来	女性	慢性腎臓病(透析なし)	-131,128	-167,226	-146,888	0.37	0.32	0.35	0.49	0.54	0.58
外来	女性	慢性腎臓病(透析あり)	-1,168,389	-1,655,530	-1,715,746	0.52	0.44	0.43	0.54	0.45	0.45

国保データベース(KDB)のCSVファイル(疾病別医療費分析(細小(82)分類))より計算。

Ver. 1.1 (2016.9.21) 厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) 健診・医療・介護等データベースの活用による地区診断と保健事業の立案を含む生活習慣病対策事業を担う地域保健人材の育成に関する研究(H25-循環器等(生習)-一般-014) (研究代表:横山徹爾)

図表 25 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) \*等の医療費分析

疾病別医療費分析(細小(82)分類)[数値表]

四万十市 R04年度(累計) 0~74歳

入院・外来	性別	疾患名	保険者(地区)			標準化医療費(期待総点数)			標準化医療費(期待総件数)		
			被保険者数	レセプト件数	総点数(A)	vs.県(B)	vs.同規模(C)	vs.国(D)	vs.県	vs.同規模	vs.国
入院	男性	肺がん	3,853	14	996,973	1,977,383	2,268,327	2,122,637	21	27	25
入院	男性	気管支喘息	3,853	1	16,584	160,185	99,644	97,437	3	2	2
入院	男性	肺気腫	3,853	3	128,156	79,844	92,439	89,290	2	2	2
入院	男性	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	3,853	6	305,950	123,470	176,031	153,748	2	4	3
入院	男性	間質性肺炎	3,853	5	304,947	187,418	329,639	345,738	4	5	5
外来	男性	肺がん	3,853	112	5,546,834	2,513,662	3,121,692	3,207,846	95	110	113
外来	男性	気管支喘息	3,853	257	756,894	825,033	926,989	1,065,626	366	378	437
外来	男性	肺気腫	3,853	80	352,659	224,416	191,332	171,217	69	65	59
外来	男性	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	3,853	52	216,744	292,632	316,286	292,805	96	99	94
外来	男性	間質性肺炎	3,853	33	870,449	404,559	586,624	586,610	27	35	35

入院・外来	性別	疾患名	保険者(地区)			標準化医療費(期待総点数)			標準化医療費(期待総件数)		
			被保険者数	レセプト件数	総点数(A)	vs.県(B)	vs.同規模(C)	vs.国(D)	vs.県	vs.同規模	vs.国
入院	女性	肺がん	3,862	17	1,397,114	925,966	987,328	948,562	11	11	10
入院	女性	気管支喘息	3,862	1	20,024	75,416	99,882	94,755	2	3	2
入院	女性	肺気腫	3,862	0	0	21,688	9,895	13,096	0	0	0
入院	女性	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	3,862	0	0	62,835	36,985	29,914	1	1	1
入院	女性	間質性肺炎	3,862	1	64,418	144,336	153,293	136,624	2	3	2
外来	女性	肺がん	3,862	74	1,909,182	1,830,300	1,867,549	1,934,059	58	68	70
外来	女性	気管支喘息	3,862	363	792,302	1,397,484	1,366,817	1,622,476	580	583	686
外来	女性	肺気腫	3,862	1	245	38,864	26,756	32,271	12	10	12
外来	女性	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	3,862	19	70,053	72,054	68,487	75,711	26	22	25
外来	女性	間質性肺炎	3,862	10	20,310	176,853	244,964	220,913	16	20	19

入院・外来	性別	疾患名	標準化医療費の差			標準化医療費の比(地域差指数)			標準化比(レセプト件数)		
			vs.県(A-B)	vs.同規模(A-C)	vs.国(A-D)	vs.県(A/B)	vs.同規模(A/C)	vs.国(A/D)	vs.県	vs.同規模	vs.国
入院	男性	肺がん	-980,410	-1,271,354	-1,125,664	0.50	0.44	0.47	0.67	0.53	0.56
入院	男性	気管支喘息	-143,601	-83,060	-80,853	0.10	0.17	0.17	0.29	0.41	0.45
入院	男性	肺気腫	48,312	35,717	38,866	1.61	1.39	1.44	1.60	1.56	1.77
入院	男性	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	182,480	129,919	152,202	2.48	1.74	1.99	2.70	1.69	2.11
入院	男性	間質性肺炎	117,529	-24,692	-40,791	1.63	0.93	0.88	1.40	0.94	0.94
外来	男性	肺がん	3,033,172	2,425,142	2,338,988	2.21	1.78	1.73	1.18	1.02	0.99
外来	男性	気管支喘息	-68,139	-170,095	-308,732	0.92	0.82	0.71	0.70	0.68	0.59
外来	男性	肺気腫	128,243	161,327	181,442	1.57	1.84	2.06	1.17	1.24	1.35
外来	男性	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	-75,888	-99,542	-76,061	0.74	0.69	0.74	0.54	0.53	0.55
外来	男性	間質性肺炎	465,890	283,825	283,839	2.15	1.48	1.48	1.22	0.94	0.94

入院・外来	性別	疾患名	標準化医療費の差			標準化医療費の比(地域差指数)			標準化比(レセプト件数)		
			vs.県(A-B)	vs.同規模(A-C)	vs.国(A-D)	vs.県(A/B)	vs.同規模(A/C)	vs.国(A/D)	vs.県	vs.同規模	vs.国
入院	女性	肺がん	471,148	409,786	448,552	1.51	1.42	1.47	1.53	1.56	1.64
入院	女性	気管支喘息	-55,392	-79,858	-74,731	0.27	0.20	0.21	0.50	0.40	0.44
入院	女性	肺気腫	-21,688	-9,895	-13,096	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
入院	女性	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	-62,835	-36,985	-29,914	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
入院	女性	間質性肺炎	-79,918	-88,875	-72,206	0.45	0.42	0.47	0.41	0.40	0.45
外来	女性	肺がん	78,882	41,633	-24,877	1.04	1.02	0.99	1.27	1.09	1.06
外来	女性	気管支喘息	-605,182	-574,515	-830,174	0.57	0.58	0.49	0.63	0.62	0.53
外来	女性	肺気腫	-38,619	-26,511	-32,026	0.01	0.01	0.01	0.09	0.10	0.08
外来	女性	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	-2,001	1,566	-5,658	0.97	1.02	0.93	0.73	0.86	0.75
外来	女性	間質性肺炎	-156,543	-224,654	-200,603	0.11	0.08	0.09	0.63	0.51	0.53

・健診

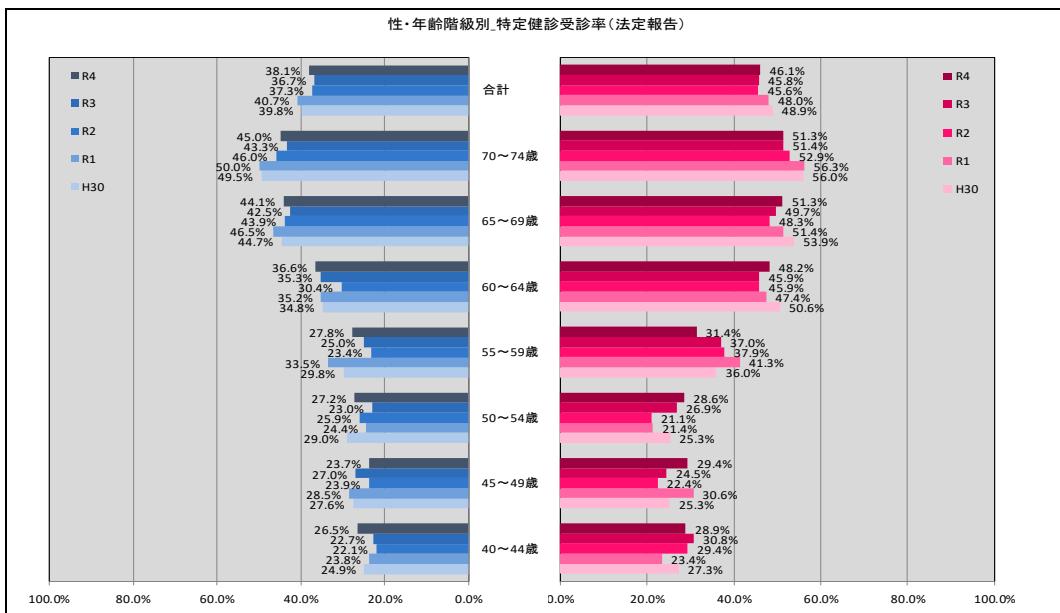
【特定健診・特定保健指導】

健診受診率は男性より女性が高く、年代別では男女とも 40 歳～50 歳代は低いが 60 歳代から伸びる傾向にある。特定保健指導では、利用率も低く、また終了率も低い状態にある。(図表 26、図表 27、図表 28、図表 29)

図表 26 性・年齢階級別\_特定健診受診率（法定報告※）

男	H30			R1			R2			R3			R4		
	対象者	受診者	受診率												
40～44歳	233	58	24.9%	223	53	23.8%	208	46	22.1%	198	45	22.7%	181	48	26.5%
45～49歳	246	68	27.6%	246	70	28.5%	243	58	23.9%	248	67	27.0%	228	54	23.7%
50～54歳	224	65	29.0%	213	52	24.4%	212	55	25.9%	230	53	23.0%	228	62	27.2%
55～59歳	258	77	29.8%	233	78	33.5%	244	57	23.4%	228	57	25.0%	245	68	27.8%
60～64歳	422	147	34.8%	409	144	35.2%	352	107	30.4%	326	115	35.3%	320	117	36.6%
65～69歳	916	409	44.7%	840	391	46.5%	767	337	43.9%	699	297	42.5%	632	279	44.1%
70～74歳	925	458	49.5%	1,012	506	50.0%	1,107	509	46.0%	1,112	482	43.3%	1,052	473	45.0%
合計	3,224	1,282	39.8%	3,176	1,294	40.7%	3,133	1,169	37.3%	3,041	1,116	36.7%	2,886	1,101	38.1%
女	H30			R1			R2			R3			R4		
	対象者	受診者	受診率												
40～44歳	132	36	27.3%	154	36	23.4%	136	40	29.4%	130	40	30.8%	128	37	28.9%
45～49歳	186	47	25.3%	173	53	30.6%	165	37	22.4%	159	39	24.5%	153	45	29.4%
50～54歳	154	39	25.3%	159	34	21.4%	166	35	21.1%	186	50	26.9%	196	56	28.6%
55～59歳	228	82	36.0%	208	86	41.3%	182	69	37.9%	173	64	37.0%	172	54	31.4%
60～64歳	512	259	50.6%	483	229	47.4%	442	203	45.9%	403	185	45.9%	359	173	48.2%
65～69歳	1,013	546	53.9%	940	483	51.4%	860	415	48.3%	825	410	49.7%	751	385	51.3%
70～74歳	1,127	631	56.0%	1,160	653	56.3%	1,267	670	52.9%	1,247	641	51.4%	1,188	610	51.3%
合計	3,352	1,640	48.9%	3,277	1,574	48.0%	3,218	1,469	45.6%	3,123	1,429	45.8%	2,947	1,360	46.1%
男女合計	H30			R1			R2			R3			R4		
	対象者	受診者	受診率												
40～74歳	6,576	2,922	44.4%	6,453	2,868	44.4%	6,351	2,638	41.5%	6,164	2,545	41.3%	5,833	2,461	42.2%
40～64歳	2,595	878	33.8%	2,501	835	33.4%	2,350	707	30.1%	2,281	715	31.3%	2,210	714	32.3%
65～74歳	3,981	2,044	51.3%	3,952	2,033	51.4%	4,001	1,931	48.3%	3,883	1,830	47.1%	3,623	1,747	48.2%

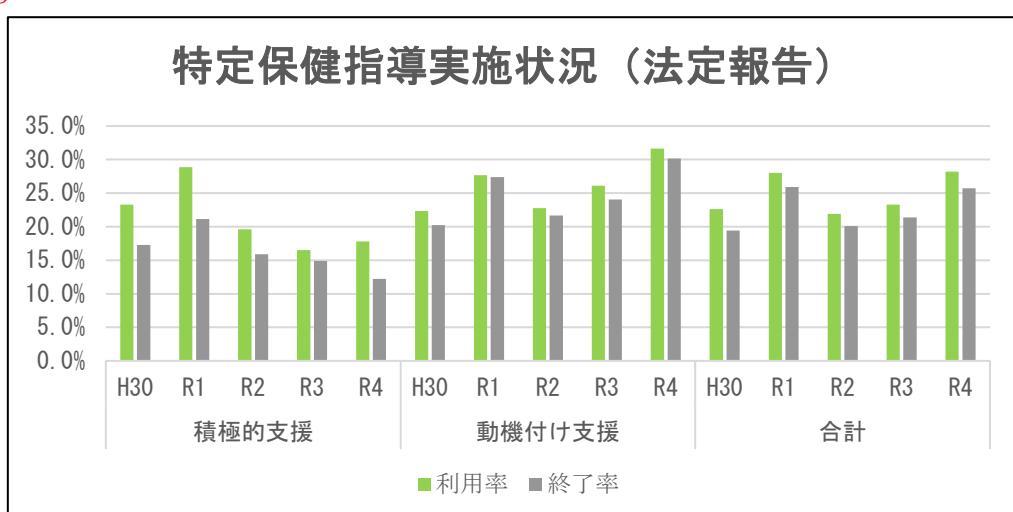
図表 27



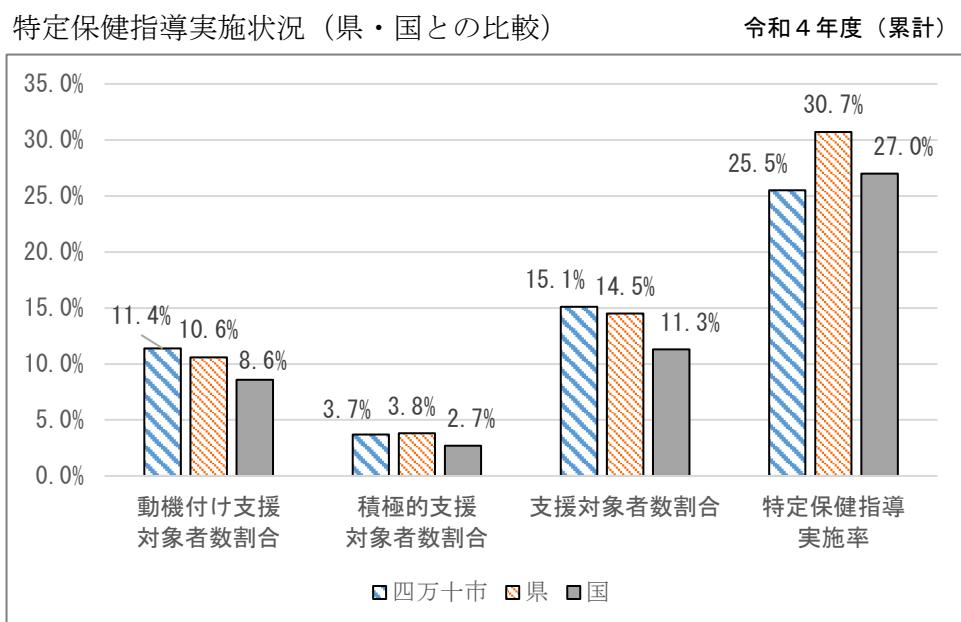
図表 28 特定保健指導実施状況（法定報告※）

		対象者	利用者	終了者	利用率	終了率
積極的支援	H30	133	31	23	23.3%	17.3%
	R1	104	30	22	28.8%	21.2%
	R2	107	21	17	19.6%	15.9%
	R3	121	20	18	16.5%	14.9%
	R4	90	16	11	17.8%	12.2%
動機付け支援	H30	331	74	67	22.4%	20.2%
	R1	325	90	89	27.7%	27.4%
	R2	277	63	60	22.7%	21.7%
	R3	295	77	71	26.1%	24.1%
	R4	272	86	82	31.6%	30.1%
合計	H30	464	105	90	22.6%	19.4%
	R1	429	120	111	28.0%	25.9%
	R2	384	84	77	21.9%	20.1%
	R3	416	97	89	23.3%	21.4%
	R4	362	102	93	28.2%	25.7%

図表 29



図表 30



動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査<sup>※</sup>を受診した人に対する割合。

特定保健指導実施率…特定保健指導対象者（合計）に対する特定保健指導実施者（合計）の割合。

出典:国保データベース(KDB)システム<sup>※</sup>「地域の全体像の把握」

図表 31

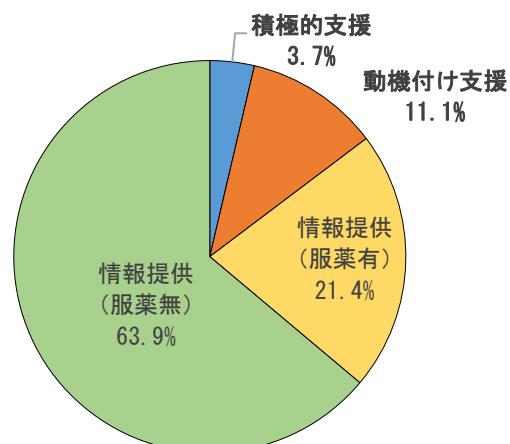
保健指導レベル該当状況

令和4年度（累計）

健診受診者数	該当者数(人)	該当レベル					
		特定保健指導対象者数(人)		情報提供		判定不能	
		積極的支援	動機付け支援	服薬有	服薬無		
2,461	362	90	272	527	1,572	0	
割合(%)		14.7%	3.7%	11.1%	21.4%	63.9%	0.0%

割合(%)…健診受診者数に対する割合。

出典: 令和4年度 法定報告<sup>※</sup>



### 【生活習慣病\*予備群：メタボ・有所見項目】

健診受診者のうちメタボに該当するのは男性が多い。また年齢が高くなるにつれて該当率も高くなる。(図表 32)

特定健診の状況をみると、血圧と脂質において、服薬無の者のうち受診勧奨判定値以上が約2割と多くなっている。また、血糖において、服薬無の者のうち約6割が保健指導判定値以上となっている。(図表 34)

健診有所見者状況の標準化比（全国）について、男性では65歳～74歳の中性脂肪\*、40歳～74歳のHbA1c\*と尿酸\*が優位に高くなっている。女性では40歳～74歳の中性脂肪とHbA1cが優位に高くなっている。(図表 35)

図表 32

メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況																令和4年度				
男性			40～74歳			40歳代			50歳代			60歳代			70～74歳			(再)65～74歳		
			人数	割合(%)	割合(%)	人数	割合(%)	割合(%)	人数	割合(%)	割合(%)	人数	割合(%)	割合(%)	人数	割合(%)	割合(%)	人数	割合(%)	割合(%)
健診対象者数	2,891					412			475			951			1,053			1,684		
健診受診者数	1,101	38.1		102	24.8	130	27.4		396	41.6		473	44.9		752	44.7				
腹団(85cm以上)	589	53.5		52	51.0	68	52.3		211	53.3		258	54.5		401	53.3				
腹団のみ該当者			56	5.1	9.5	10	9.8	19.2	14	10.8	20.6	21	5.3	10.0	11	2.3	4.3	27	3.6	6.7
（第1腹団該当者の有所見状況） 予備群	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧
	19	1.7	3.2	4	3.9	7.7	4	3.1	5.9	5	1.3	2.4	6	1.3	2.3	9	1.2	2.2		
	131	11.9	22.2	11	10.8	21.2	11	8.5	16.2	44	11.1	20.9	65	13.7	26.2	87	12.9	24.2		
	33	3.0	5.6	7	6.9	13.5	3	2.3	4.4	11	2.8	5.2	12	2.5	4.7	19	2.5	4.7		
	計	183	16.6	31.1	22	21.6	42.3	18	13.8	26.5	60	15.2	28.4	83	17.5	32.2	125	16.6	31.2	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
計			350	31.8	59.4	20	19.6	38.5	36	27.7	52.9	130	32.8	61.6	164	34.7	63.6	249	33.1	62.1
（第2腹団該当者の有所見状況） 予備群	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧	脂質異常	高血糖	高血圧
	12	0.9	5.2	1	1.2	6.3	1	0.9	4.5	7	1.3	8.0	3	0.5	2.9	7	0.7	4.3		
	39	2.9	17.0	2	2.4	12.5	4	3.6	18.2	17	3.0	19.3	16	2.6	15.4	28	2.8	17.3		
	15	1.1	6.5	3	3.7	18.8	1	0.9	4.5	5	0.9	5.7	6	1.0	5.8	9	0.9	5.6		
	計	66	4.9	28.7	6	7.3	37.5	6	5.5	27.3	29	5.2	33.0	25	4.1	24.0	44	4.4	27.2	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
計			141	10.4	61.3	3	3.7	18.8	13	11.8	59.1	54	9.7	61.4	71	11.7	68.3	106	10.7	65.4

\*1 分母は健診受診者数で割合を表示(ただし、健診受診者数欄は分母を被保険者数で受診率を表示)

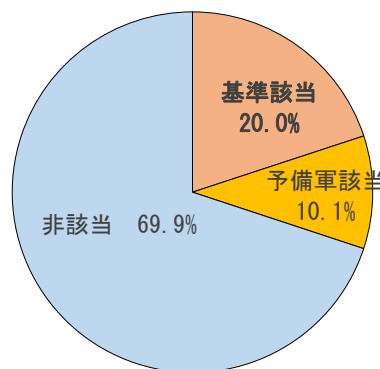
\*2 分母は腹団基準値以上者数で割合を表示

図表 33

メタボリックシンドローム\*該当状況 令和4年度

	特定健康診査 受診者数	該当レベル			
		基準該当	予備軍該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	2,461	491	249	1,721	0
割合(%)		20.0%	10.1%	69.9%	0.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

追加リスクの基準値は以下の通りである。

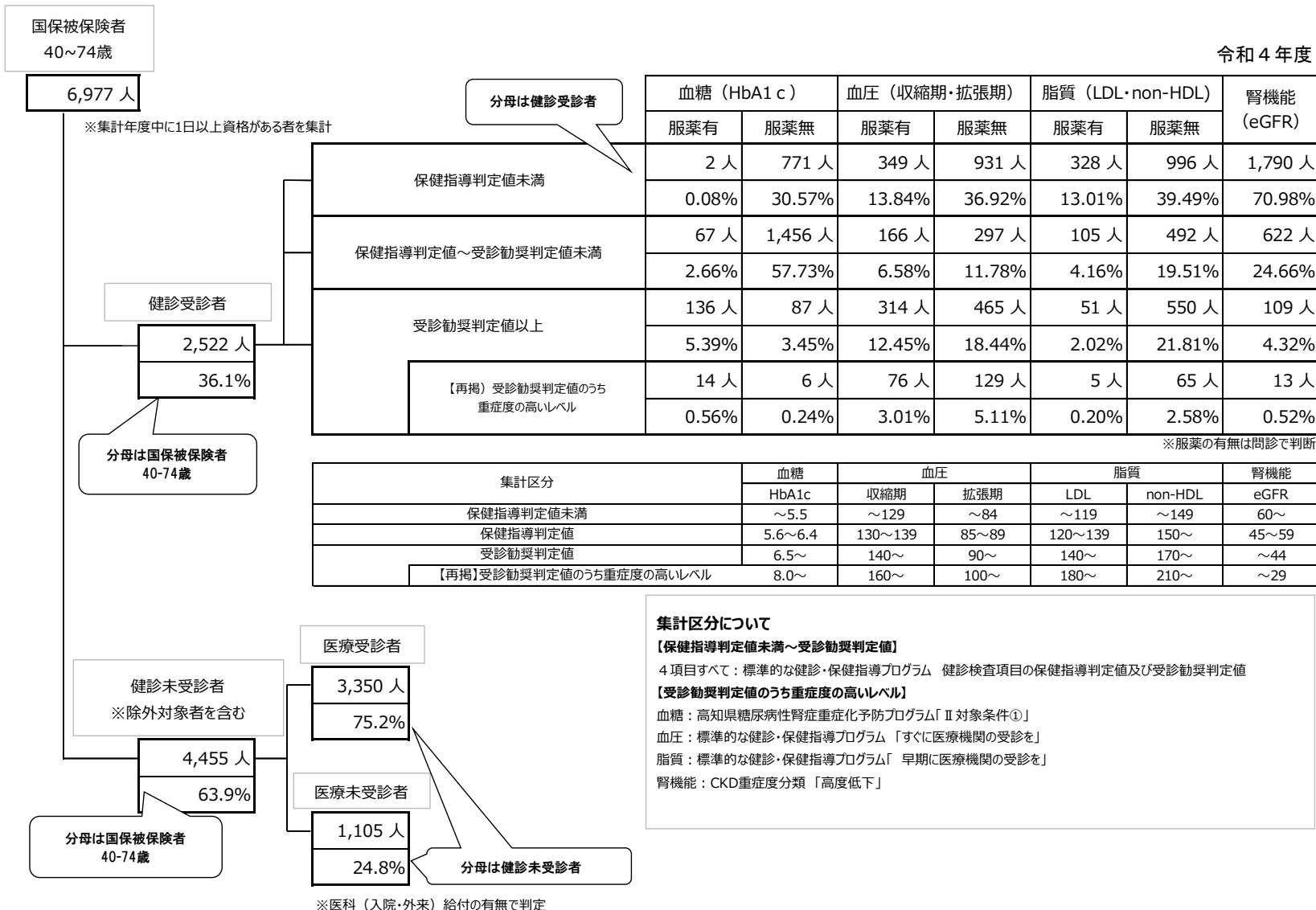
①血糖:空腹時血糖 110mg/dl 以上、または HbA1c\*6.0%以上

②脂質:中性脂肪\*150mg/dl 以上、または HDL コレステロール\*40mg/dl 未満

③血圧:収縮期血圧\*130mmHg 以上、または拡張期血圧\*85mmHg 以上

(糖尿病\*、高血圧症\*または脂質異常症\*の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。)

図表 34 特定健診の状況



図表 35

		厚生労働省様式(様式5-2)【補足】 健診有所見者状況(男女別・年齢調整)																									
保険者番号: 390104 保険者名: 四万十市																				作成年月: R04年度							
男性		受診者	摂取エネルギーの過剰																								
			BMI				腹痛				中性脂肪				ALT(GPT)				HDLコレステロール								
25以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	85以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	150以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	31以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	40未満	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)			
40 ~ 64 歳	全国	810,960	315,715	38.9%	38.9%	100(基準)	~	442,358	54.5%	54.5%	100(基準)	~	257,345	31.7%	31.7%	100(基準)	~	237,166	29.2%	29.2%	100(基準)	~	63,085	7.8%	7.8%	100(基準)	~
	県	5,781	2,327	40.3%	40.4%	103.6	100(基準)	3,295	57.0%	57.1%	*104.6	100(基準)	2,106	36.4%	36.5%	*115.0	100(基準)	1,643	28.4%	28.5%	97.3	100(基準)	466	8.1%	8.1%	103.7	100(基準)
	地域(地区)	349	122	35.0%	34.7%	90.1	86.9	188	53.9%	53.7%	98.8	94.5	130	37.2%	37.0%	117.6	102.2	102	29.2%	29.2%	100.3	102.9	14	4.0%	4.0%	*51.7	*49.8
65 ~ 74 歳	全国	1,890,707	600,334	31.8%	31.8%	100(基準)	~	1,063,897	56.3%	56.3%	100(基準)	~	500,307	26.5%	26.5%	100(基準)	~	321,494	17.0%	17.0%	100(基準)	~	132,626	7.0%	7.0%	100(基準)	~
	県	12,257	4,101	33.5%	33.4%	*105.2	100(基準)	7,206	58.8%	58.7%	*104.4	100(基準)	3,803	31.0%	31.0%	*117.0	100(基準)	2,142	17.5%	17.4%	102.3	100(基準)	950	7.8%	7.8%	*110.6	100(基準)
	地域(地区)	752	221	29.4%	29.4%	92.3	87.8	401	53.3%	53.4%	94.7	90.7	242	32.2%	32.1%	*121.3	103.7	134	17.8%	17.7%	104.2	101.9	61	8.1%	8.1%	115.7	104.7
総 数	全国	2,701,667	916,049	33.9%	33.9%	100(基準)	~	1,506,255	55.8%	55.8%	100(基準)	~	757,652	28.0%	28.0%	100(基準)	~	558,660	20.7%	20.7%	100(基準)	~	195,711	7.2%	7.2%	100(基準)	~
	県	18,038	6,428	35.6%	35.5%	*104.6	100(基準)	10,501	58.2%	58.2%	*104.5	100(基準)	5,909	32.8%	32.6%	*116.3	100(基準)	3,785	21.0%	20.7%	100.1	100(基準)	1,416	7.9%	7.9%	*108.2	100(基準)
	地域(地区)	1,101	343	31.2%	31.0%	91.5	*87.5	589	53.5%	53.5%	96.0	*91.9	372	33.8%	33.6%	*120.0	103.2	236	21.4%	21.2%	102.5	102.3	75	6.8%	6.9%	94.0	86.8
男性		受診者	血管を傷つける																								
			血糖				HbA1c				尿糖				収縮期血圧				拡張期血圧								
100以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	5.6以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	130以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	85以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)			
40 ~ 64 歳	全国	810,960	202,843	25.0%	25.0%	100(基準)	~	381,315	47.0%	47.0%	100(基準)	~	130,541	16.1%	16.1%	100(基準)	~	321,804	39.7%	39.7%	100(基準)	~	243,606	30.0%	30.0%	100(基準)	~
	県	5,781	21	0.4%	0.4%	*1.5	100(基準)	3,275	56.7%	56.7%	*120.5	100(基準)	1,176	20.3%	20.3%	*126.5	100(基準)	2,479	42.9%	42.8%	*108.0	100(基準)	1,766	30.5%	30.7%	102.0	100(基準)
	地域(地区)	349	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	202	57.9%	57.5%	*122.9	102.0	78	22.3%	22.2%	*139.1	109.9	146	41.8%	41.5%	105.2	97.4	96	27.5%	27.3%	91.8	90.0
65 ~ 74 歳	全国	1,890,707	646,790	34.2%	34.2%	100(基準)	~	1,214,402	64.2%	64.2%	100(基準)	~	220,276	11.7%	11.7%	100(基準)	~	1,050,916	55.6%	55.6%	100(基準)	~	451,895	23.9%	23.9%	100(基準)	~
	県	12,257	33	0.3%	0.3%	*0.8	100(基準)	8,512	69.4%	69.5%	*108.2	100(基準)	2,034	16.6%	16.5%	*142.1	100(基準)	6,933	56.6%	56.6%	101.9	100(基準)	2,807	22.9%	22.8%	*95.4	100(基準)
	地域(地区)	752	1	0.1%	0.1%	*0.4	49.3	537	71.4%	71.4%	*111.3	102.8	112	14.9%	14.9%	*127.5	89.7	418	55.6%	55.7%	100.1	98.3	189	25.1%	25.1%	104.6	109.7
総 数	全国	2,701,667	849,633	31.4%	31.4%	100(基準)	~	1,595,717	59.1%	59.1%	100(基準)	~	350,817	13.0%	13.0%	100(基準)	~	1,372,720	50.8%	50.8%	100(基準)	~	695,501	25.7%	25.7%	100(基準)	~
	県	18,038	54	0.3%	0.3%	*1.0	100(基準)	11,787	65.3%	65.6%	*111.4	100(基準)	3,210	17.8%	17.7%	*135.9	100(基準)	9,412	52.2%	52.5%	*103.4	100(基準)	4,573	25.4%	25.1%	97.9	100(基準)
	地域(地区)	1,101	1	0.1%	0.1%	*0.3	30.3	739	67.1%	67.3%	*114.3	102.6	190	17.3%	17.1%	*132.0	97.0	564	51.2%	51.4%	101.4	98.0	285	25.9%	25.8%	99.9	102.1
男性		受診者	内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因																								
			LDLコレステロール				クレアチニン				心電図※				眼底検査※												
120以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	1.3以上	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	検査あり	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)	検査あり	割合(%)	年齢 調整(%)	標準化 比(全国)	標準化 比(県)								
40 ~ 64 歳	全国	810,960	415,475	51.2%	51.2%	100(基準)	~	10,251	1.3%	1.3%	100(基準)	~	150,273	18.5%	18.5%	100(基準)	~	164,650	20.3%	20.3%	100(基準)	~					
	県	5,781	2,692	46.6%	46.6%	*91.0	100(基準)	73	1.3%	1.3%	99.4	100(基準)	47	0.8%	0.8%	*4.4	100(基準)	12	0.2%	0.2%	*1.0	100(基準)					
	地域(地区)	349	175	50.1%	50.3%	98.1	107.8	5	1.4%	1.4%	112.2	112.6	1	0.3%	0.3%	*1.5	35.3	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0					
65 ~ 74 歳	全国	1,890,707	796,754	42.1%	42.1%	100(基準)	~	62,489	3.3%	3.3%	100(基準)	~	509,332	26.9%	26.9%	100(基準)	~	374,401	19.8%	19.8%	100(基準)	~					
	県	12,257	4,579	37.4%	37.3%	*88.5	100(基準)	499	4.1%	4.1%	*123.9	100(基準)	85	0.7%	0.7%	*2.6	100(基準)	23	0.2%	0.2%	*0.9	100(基準)					
	地域(地区)	752	276	36.7%	36.6%	*86.9	98.2	43	5.7%	5.8%	*174.2	*140.6	2	0.3%	0.3%	*1.0	38.4	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0					
総 数	全国	2,701,667	1,212,229	44.9%	44.9%	100(基準)	~	72,740	2.7%	2.7%	100(基準)	~	659,605	24.4%	24.4%	100(基準)	~	539,051	20.0%	20.0%	100(基準)	~					
	県	18,038	7,271	40.3%	40.1%	*89.4	100(基準)	572	3.2%	3.2%	*120.1	100(基準)	132	0.7%	0.7%	*3.0	100(基準)	35	0.2%	0.2%	*1.0	100(基準)					
	地域(地区)	1,101	451	41.0%	40.7%	*90.9	101.7	48	4.4%	4.5%	*164.7	*137.0	3	0.3%	0.3%	*1.1	37.3	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0					

厚生労働省様式(様式5-2)【補足】

健診有所見者状況(男女別・年齢調整)

保険者番号: 390104  
保険者名: 四万十市

作成年月: R04年度

女性		受診者	摂取エネルギーの過剰																											
			BMI					腹囲					中性脂肪					ALT(GPT)					HDLコレステロール							
			25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	90以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)			
40 ~ 64 歳	全国 県 地域(地区)	1,019,607	215,458	21.1%	21.1%	100(基準)	~	171,794	16.8%	16.8%	100(基準)	~	141,315	13.9%	13.9%	100(基準)	~	103,757	10.2%	10.2%	100(基準)	~	11,954	1.2%	1.2%	100(基準)	~			
		6,126	1,496	24.4%	24.4%	*115.7	100(基準)	1,252	20.4%	20.3%	*120.7	100(基準)	1,207	19.7%	19.6%	*141.1	100(基準)	642	10.5%	10.5%	102.8	100(基準)	86	1.4%	1.4%	121.0	100(基準)			
		366	90	24.6%	25.1%	116.6	100.9	68	18.6%	18.9%	110.0	91.5	77	21.0%	21.7%	*150.9	107.6	34	9.3%	9.5%	91.8	89.6	3	0.8%	0.8%	70.6	58.4			
65 ~ 74 歳	全国 県 地域(地区)	2,557,443	554,616	21.7%	21.7%	100(基準)	~	511,956	20.0%	20.0%	100(基準)	~	427,239	16.7%	16.7%	100(基準)	~	216,898	8.5%	8.5%	100(基準)	~	33,085	1.3%	1.3%	100(基準)	~			
		16,010	3,745	23.4%	23.4%	*107.9	100(基準)	3,410	21.3%	21.3%	*106.5	100(基準)	3,682	23.0%	23.0%	*137.7	100(基準)	1,221	7.6%	7.6%	*89.8	100(基準)	283	1.8%	1.8%	*137.0	100(基準)			
		994	197	19.8%	19.8%	91.4	*84.7	162	16.3%	16.3%	*81.5	*76.5	204	20.5%	20.6%	*122.9	89.3	65	6.5%	6.5%	*76.9	85.6	15	1.5%	1.5%	117.1	85.5			
総数	全国 県 地域(地区)	3,577,050	770,074	21.5%	21.5%	100(基準)	~	683,750	19.1%	19.1%	100(基準)	~	568,554	15.9%	15.9%	100(基準)	~	320,655	9.0%	9.0%	100(基準)	~	45,039	1.3%	1.3%	100(基準)	~			
		22,136	5,241	23.7%	23.7%	*110.0	100(基準)	4,662	21.1%	21.0%	*110.0	100(基準)	4,889	22.1%	22.0%	*138.6	100(基準)	1,863	8.4%	8.4%	*93.9	100(基準)	369	1.7%	1.7%	*132.9	100(基準)			
		1,360	287	21.1%	21.3%	98.1	89.2	230	16.9%	17.1%	88.2	*80.4	281	20.7%	20.9%	*129.5	93.6	99	7.3%	7.4%	*81.4	87.0	18	1.3%	1.3%	105.6	79.4			
女性		受診者	血管を傷つける																				拡張期血圧							
			血糖					HbA1c					尿酸					収縮期血圧					拡張期血圧							
			100以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)			
40 ~ 64 歳	全国 県 地域(地区)	1,019,607	141,907	13.9%	13.9%	100(基準)	~	450,111	44.1%	44.1%	100(基準)	~	18,093	1.8%	1.8%	100(基準)	~	304,007	29.8%	29.8%	100(基準)	~	167,168	16.4%	16.4%	100(基準)	~			
		6,126	9	0.1%	0.1%	*1.0	100(基準)	3,413	55.7%	55.0%	*124.2	100(基準)	160	2.6%	2.6%	*146.6	100(基準)	1,839	30.0%	29.5%	98.7	100(基準)	907	14.8%	14.8%	*89.5	100(基準)			
		366	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	222	60.7%	59.8%	*135.0	108.9	10	2.7%	2.7%	155.1	103.8	105	28.7%	27.7%	93.8	95.2	46	12.6%	12.5%	76.1	85.5			
65 ~ 74 歳	全国 県 地域(地区)	2,557,443	567,645	22.2%	22.2%	100(基準)	~	1,609,052	62.9%	62.9%	100(基準)	~	47,747	1.9%	1.9%	100(基準)	~	1,353,160	52.9%	52.9%	100(基準)	~	439,329	17.2%	17.2%	100(基準)	~			
		16,010	20	0.1%	0.1%	*0.6	100(基準)	11,421	71.3%	71.4%	*113.5	100(基準)	401	2.5%	2.5%	*134.3	100(基準)	8,129	50.8%	50.9%	*96.1	100(基準)	2,396	15.0%	14.9%	*87.0	100(基準)			
		994	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	748	75.3%	75.3%	*119.7	105.5	22	2.2%	2.2%	118.7	88.4	514	51.7%	51.8%	98.0	102.0	165	16.6%	16.6%	96.4	110.8			
総数	全国 県 地域(地区)	3,577,050	709,552	19.8%	19.8%	100(基準)	~	2,059,163	57.6%	57.6%	100(基準)	~	65,840	1.8%	1.8%	100(基準)	~	1,657,167	46.3%	46.3%	100(基準)	~	606,497	17.0%	17.0%	100(基準)	~			
		22,136	29	0.1%	0.1%	*0.7	100(基準)	14,834	67.0%	66.7%	*115.8	100(基準)	561	2.5%	2.5%	*137.6	100(基準)	9,968	45.0%	44.8%	*96.6	100(基準)	3,303	14.9%	14.9%	*87.7	100(基準)			
		1,360	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0	970	71.3%	70.9%	*122.9	106.3	32	2.4%	2.4%	128.1	92.7	619	45.5%	44.9%	97.3	100.7	211	15.5%	15.4%	91.1	104.1			
女性		受診者	内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因																				眼底検査※							
			LDLコレステロール					クレアチニン					心電図※					眼底検査※					眼底検査※							
			120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	1.3以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	検査あり	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)			
40 ~ 64 歳	全国 県 地域(地区)	1,019,607	555,698	54.5%	54.5%	100(基準)	~	1,719	0.2%	0.2%	100(基準)	~	158,253	15.5%	15.5%	100(基準)	~	180,445	17.7%	17.7%	100(基準)	~								
		6,126	3,174	51.8%	51.4%	*94.4	100(基準)	15	0.2%	0.2%	143.1	100(基準)	47	0.8%	0.8%	*4.9	100(基準)	6	0.1%	0.1%	*0.6	100(基準)								
		366	185	50.5%	50.1%	92.4	97.9	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0	3	0.8%	0.8%	*5.2	105.1	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0								
65 ~ 74 歳	全国 県 地域(地区)	2,557,443	1,380,627	54.0%	54.0%	100(基準)	~	8,105	0.3%	0.3%	100(基準)	~	527,579	20.6%	20.6%	100(基準)	~	434,225	17.0%	17.0%	100(基準)	~								
		16,010	8,282	51.7%	51.7%	*95.7	100(基準)	67	0.4%	0.4%	*132.7	100(基準)	121	0.8%	0.8%	*3.7	100(基準)	17	0.1%	0.1%	*0.6	100(基準)								
		994	535	53.8%	53.8%	99.5	104.0	8	0.8%	0.8%	*256.0	193.0	2	0.2%	0.2%	*1.0	26.6	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0								
総数	全国 県 地域(地区)	3,577,050	1,936,325	54.1%	54.1%	100(基準)	~	9,824	0.3%	0.3%	100(基準)	~	685,832	19.2%	19.2%	100(基準)	~	614,670	17.2%	17.2%	100(基準)	~								
		22,136	11,456	51.8%	51.6%	*95.4	100(基準)	82	0.4%	0.4%	*134.5	100(基準)	168	0.8%	0.8%	*3.9	100(基準)	23	0.1%	0.1%	*0.6	100(基準)								
		1,360	720	52.9%	52.7%	97.6	102.3	8	0.6%	0.6%	213.3	159.1	5	0.4%	0.4%	*1.9	48.2	0	0.0%	0.0%	*0.0	0.0								

## 【不適切な生活習慣：問診】

質問票調査の状況から全国と比べた標準化で有意に高いものについて、男性（40～74歳）では食べる速度が速い、毎日飲酒、1日飲酒量（2～3合）、1日飲酒量（3合以上）、改善意欲あり、咀嚼\_かみにくい、咀嚼\_ほとんどかめないが優位に高くなっている。女性（40～74歳）では、食べる速度が速い、毎日飲酒、1日飲酒量（3合以上）、改善意欲あり、咀嚼\_かみにくい、3食以外間食\_ほとんど摂取しないが優位に高くなっている。（図表36）

前述の中性脂肪※、HbA1c※、尿酸※値が高い傾向について、質問票調査から分析すると、男女ともに①食べる速度が速い②飲酒の頻度と量が多い③咀嚼に問題があること等の不適切な生活習慣が要因であると考えられる。

図表36

質問票調査の状況【補足】ver.3.6 (男女別・年齢調整)												作成年月：R04年度(累計)														
性別	生活習慣等		40～64歳				65～74歳				年齢調整割合				年齢調整割合				標準化比 vs.				標準化比 vs.			
	単位：%	総人數	該当者割合		年齢調整割合	標準化比 vs.	総人數	該当者割合		年齢調整割合	標準化比 vs.	総人數	該当者割合		年齢調整割合	標準化比 vs.	総人數	該当者割合		年齢調整割合	標準化比 vs.	総人數	該当者割合		年齢調整割合	標準化比 vs.
			地域	地域	同規模	県	全国	地域	地域	同規模	県	全国	地域	地域	同規模	県	全国	地域	地域	同規模	県	全国	地域	地域	同規模	県
男	服薬_高血圧症	349	21.5%	26.5%	25.2%	25.0%	21.2%	25.8%	25.1%	25.0%	82.6	84.8	85.1	752	44.4%	51.8%	50.8%	51.0%	44.7%	51.9%	50.9%	51.0%	*85.8	*87.5	*87.3	
性	服薬_糖尿病	349	6.9%	8.2%	8.5%	7.6%	6.6%	8.1%	8.5%	7.6%	84.8	80.3	90.0	752	13.6%	15.4%	14.9%	14.6%	13.6%	15.4%	14.9%	14.6%	88.1	91.1	93.2	
	服薬_脂質異常症	349	9.5%	16.2%	11.9%	16.4%	9.2%	15.9%	11.8%	16.4%	*59.2	79.3	*57.3	752	13.8%	27.5%	19.3%	29.0%	13.9%	27.5%	19.3%	29.0%	*50.3	*71.7	*47.8	
	既往歴_脳卒中	348	1.4%	2.5%	1.9%	2.7%	1.5%	2.5%	1.9%	2.7%	57.0	75.7	52.7	743	4.4%	5.3%	4.3%	5.4%	4.5%	5.3%	4.4%	5.4%	84.4	102.6	92.2	
	既往歴_心臓病	348	2.9%	4.2%	3.2%	4.1%	2.8%	4.1%	3.2%	4.1%	69.2	89.3	68.6	743	8.9%	10.0%	8.4%	10.2%	8.9%	10.0%	8.4%	10.2%	89.1	106.3	87.9	
	既往歴_慢性腎臓病・腎不全	348	0.9%	0.8%	0.7%	0.7%	0.9%	0.8%	0.7%	0.7%	110.5	119.8	117.3	743	1.2%	1.3%	1.2%	1.3%	1.2%	1.3%	1.2%	1.3%	95.4	103.1	93.8	
	既往歴_貧血	348	0.0%	3.2%	0.4%	3.7%	0.0%	3.2%	0.4%	3.7%	*0.0	0.0	*0.0	743	0.5%	4.6%	0.6%	5.2%	0.6%	4.6%	0.6%	5.2%	*11.7	87.8	*10.4	
	喫煙	349	30.9%	81.1%	30.3%	29.7%	30.8%	81.3%	30.3%	29.7%	99.1	102.4	104.5	752	18.2%	19.8%	18.7%	18.6%	18.1%	19.7%	18.6%	18.6%	92.0	97.4	97.2	
	20歳時体重から10kg以上増加	348	43.4%	48.5%	51.0%	48.7%	43.3%	48.6%	51.0%	48.7%	89.4	85.1	89.2	743	41.3%	41.4%	44.6%	42.9%	41.1%	41.3%	44.5%	42.9%	99.8	92.7	96.1	
	1回30分以上運動習慣なし	348	58.9%	67.5%	62.1%	65.3%	58.9%	67.6%	62.1%	65.3%	87.3	94.8	90.3	743	49.0%	57.0%	52.5%	52.9%	49.0%	57.0%	52.4%	52.9%	*89.8	93.3	92.4	
	1日1時間以上運動なし	348	31.0%	47.7%	43.8%	49.7%	31.1%	47.5%	43.8%	49.7%	*65.3	*70.9	*62.5	743	32.6%	47.5%	44.6%	47.6%	32.5%	47.4%	44.5%	47.6%	*68.5	*73.0	*68.4	
	歩行速度遅い	348	49.4%	54.0%	51.2%	50.7%	49.4%	54.0%	51.1%	50.7%	91.5	96.4	97.4	743	48.0%	52.7%	51.1%	49.5%	48.0%	52.7%	51.1%	49.5%	91.2	94.0	97.0	
	1年間で体重増加3kg以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0		
	食べる速度が速い	348	37.1%	37.1%	38.7%	37.0%	37.1%	37.3%	38.7%	37.0%	99.5	95.9	100.3	743	33.1%	27.3%	30.5%	27.3%	33.1%	27.2%	30.5%	27.3%	*121.3	108.5	*121.0	
	食べる速度が普通	348	56.6%	56.7%	54.8%	56.4%	56.7%	56.5%	54.8%	56.4%	100.2	103.2	100.3	743	57.9%	63.7%	61.1%	64.3%	57.8%	63.7%	61.1%	64.3%	*90.8	94.6	*90.1	
	食べる速度が遅い	348	6.3%	6.2%	6.5%	6.6%	6.2%	6.2%	6.4%	6.6%	101.3	97.1	96.0	743	9.0%	8.4%	8.4%	9.0%	9.0%	8.4%	8.4%	9.0%	100.2	108.0	107.7	
	週3回以上就寝前夕食	348	27.3%	26.6%	28.8%	28.7%	27.3%	26.8%	28.9%	28.7%	102.2	94.8	95.5	743	21.0%	18.1%	20.5%	16.7%	21.0%	18.1%	20.5%	16.7%	116.1	102.2	*125.4	
	週3回以上食後間食	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0		
	週3回以上朝食を抜く	348	18.7%	20.0%	21.4%	23.5%	18.9%	20.4%	21.5%	23.5%	92.1	87.5	79.8	743	7.1%	6.6%	7.6%	7.5%	7.1%	6.6%	7.5%	7.5%	108.0	93.8	94.7	
	毎日飲酒	348	41.7%	38.7%	44.1%	35.7%	41.4%	38.3%	44.0%	35.7%	108.4	94.5	116.5	743	57.6%	47.0%	52.8%	44.3%	57.5%	47.0%	52.7%	44.3%	*122.5	109.2	*130.0	
	時々飲酒	348	22.7%	24.3%	21.1%	25.3%	22.9%	24.4%	21.1%	25.3%	93.2	107.6	89.6	743	16.3%	20.6%	16.5%	22.1%	16.3%	20.6%	16.5%	22.1%	*79.1	98.9	*73.6	
	飲まない	348	35.6%	37.1%	34.8%	39.0%	35.7%	37.3%	34.9%	39.0%	95.8	102.4	91.6	743	26.1%	32.4%	30.8%	33.6%	26.2%	32.5%	30.8%	33.6%	*80.6	*84.9	*77.8	
	1日飲酒量(1合未満)	348	46.3%	41.9%	43.2%	46.2%	46.4%	42.1%	43.3%	46.2%	109.9	107.0	100.3	743	42.0%	44.7%	43.0%	47.7%	42.1%	44.8%	43.1%	47.7%	94.0	97.6	*88.1	
	1日飲酒量(1～2合)	348	18.1%	82.1%	20.0%	28.7%	18.2%	31.9%	20.0%	28.7%	*56.7	90.5	*63.0	743	24.9%	37.9%	25.2%	35.5%	24.9%	37.9%	25.3%	35.5%	*65.7	98.7	*70.2	
	1日飲酒量(2～3合)	348	20.1%	18.6%	20.1%	20.0%	18.5%	20.0%	17.3%	20.0%	108.6	100.1	116.2	743	20.9%	14.5%	20.9%	14.0%	20.8%	14.5%	20.9%	14.0%	*143.4	99.5	*148.1	
	1日飲酒量(3合以上)	348	15.5%	7.4%	16.7%	7.8%	15.4%	7.5%	16.7%	7.8%	*208.4	93.1	*198.7	743	12.2%	2.9%	10.8%	2.8%	12.2%	2.9%	10.7%	2.8%	*423.1	113.5	*437.1	
	睡眠不足	348	24.4%	25.9%	27.3%	26.4%	24.5%	25.9%	27.3%	26.4%	94.5	89.6	92.6	743	22.1%	24.0%	21.0%	22.0%	22.1%	24.0%	21.0%	22.0%	99.8	92.0	104.9	
	改善意欲なし	348	22.7%	81.2%	26.1%	26.7%	22.9%	26.4%	27.3%	26.7%	*73.1	86.9	84.8	743	36.7%	37.7%	35.0%	38.6%	37.7%	35.1%	33.6%	37.7%	97.6	104.9	109.5	
	改善意欲あり	348	46.6%	81.7%	45.8%	31.5%	46.6%	81.8%	45.9%	31.5%	*148.6	101.8	*148.1	743	34.9%	25.3%	35.7%	24.3%	34.8%	25.3%	35.7%	24.3%	*137.5	97.5	*143.1	
	改善意欲ありかつ始めている	348	5.5%	12.2%	7.3%	14.7%	5.4%	12.3%	7.3%	14.7%	*44.5	74.6	*37.3	743	5.1%	9.9%	6.0%	11.3%	5.1%	9.9%	6.0%	11.3%	*51.8	85.3	*45.1	
	取り組み済み6ヶ月未満	348	7.5%	8.1%	6.2%	9.0%	7.4%	8.2%	6.2%	9.0%	91.5	119.9	83.1	743	5.7%	6.7%	5.1%	7.5%	6.7%	6.7%	5.1%	7.5%	84.4	111.4	74.9	
	取り組み済み6ヶ月以上	348	17.8%	16.8%	14.6%	18.1%	17.7%	16.8%	14.6%	18.1%	106.4	122.0	98.1	743	17.6%	20.4%	18.2%	23.2%	17.7%	20.5%	18.2%	23.2%	86.3	97.1	*76.0	
	保健指導利用しない	348	61.5%	69.2%	64.4%	64.2%	61.3%	69.2%	64.4%	64.2%	88.9	95.5	95.8	743	56.9%	67.2%	61.6%	65.0%	56.8%	67.2%	61.6%	65.0%	*84.8	92.4	*87.5	
	咀嚼_何でも	348	80.7%	81.2%	78.5%	82.4%	80.9%	81.5%	78.5%	82.4%	99.2	103.0	98.1	743	66.6%	72.0%	69.8%	74.7%	66.6%	72.0%	69.7%	74.7%	92.5	95.5	*89.1	
	咀嚼_かみにくい	348	18.7%	17.7%	20.3%	16.6%	18.6%	17.4%	20.3%	16.6%	106.7	91.7	112.4	743	29.7%	26.4%	28.3%	24.0%	29.7%	26.4%	28.3%	24.0%	112.6	105.3	*124.0	
	咀嚼_ほとんどかめない	348	0.6%	1.1%	1.2%	1.1%	0.6%	1.1%	1.2%	1.1%	52.7	47.2	54.2	743	3.6%	1.5%	2.0%	1.3%	3.7%	1.5%	2.0%	1.3%	*237.9	*182.9	*289.4	
	3食以外間食_毎日	348	18.1%	17.5%	18.4%	16.7%	18.1%	17.6%	18.4%	16.7%	102.9	98.6	108.9	743	13.3%	13.6%	13.2%	13.4%	13.3%	13.6%	13.2%	13.4%	98.1	100.8	99.8	
	3食以外間食_時々	348	55.2%	55.2%	52.7%	54.8%	55.1%	52.7%	54.8%	54.8%	99.2	104.8	100.7	743	53.8%	57.8%	57.1%	53.8%	53.8%	57.8%	57.1%	53.8%	93.2	100.2	94.3	
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	348	26.7%	27.3%	29.0%	28.5%	26.8%	27.2%	28.9%	28.5%	98.3	92.2	93.6	743	32.8%	33.1%	29.5%	32.8%	33.1%	29.5%</						

性別	生活習慣等	総数(40~74歳)												
		総人数		該当者割合				年齢調整割合				標準化比 vs.		
		地域	地域	同規模	県	全国	地域	同規模	県	全国 (基準)	同規模 (=100)	県 (=100)	全国 (=100)	
男性	服薬_高血圧症	1101	37.1%	44.7%	42.6%	43.2%	37.6%	44.1%	43.2%	43.2%	*85.2	*87.0	*86.9	
	服薬_糖尿病	1101	11.4%	13.4%	12.9%	12.5%	11.5%	13.2%	13.0%	12.5%	87.4	88.8	92.5	
	服薬_脂質異常症	1101	12.4%	24.3%	16.9%	25.2%	12.5%	24.0%	17.1%	25.2%	*52.2	*73.4	*49.8	
	既往歴_脳卒中	1091	3.5%	4.5%	3.5%	4.6%	3.6%	4.4%	3.6%	4.6%	79.6	98.0	76.5	
	既往歴_心臓病	1091	7.0%	8.4%	6.7%	8.4%	7.0%	8.2%	6.8%	8.4%	85.8	103.7	84.7	
	既往歴_慢性腎臓病・腎不全	1091	1.1%	1.1%	1.0%	1.1%	1.1%	1.1%	1.0%	1.1%	98.8	106.8	98.8	
	既往歴_貧血	1091	0.4%	4.2%	0.5%	4.8%	0.4%	4.2%	0.5%	4.8%	*8.8	67.7	*7.7	
	喫煙	1101	22.3%	22.9%	22.4%	22.0%	21.9%	23.2%	22.1%	22.0%	95.0	99.5	100.3	
	20歳時体重から10kg以上増加	1091	42.0%	43.4%	46.6%	44.7%	41.8%	43.5%	46.4%	44.7%	96.1	*90.0	93.7	
	1回30分以上の運動習慣なし	1091	52.2%	60.0%	55.6%	56.6%	52.0%	60.1%	55.3%	56.6%	*86.3	93.8	*91.6	
	1日1時間以上運動なし	1091	32.1%	47.5%	44.3%	48.2%	32.1%	47.5%	44.3%	48.2%	*67.5	*72.4	*66.4	
	歩行速度遅い	1091	48.5%	53.1%	51.2%	49.9%	48.4%	53.0%	51.1%	49.9%	*91.3	94.8	97.2	
	1年間で体重増減3kg以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0	
	食べる速度が速い	1091	34.4%	30.0%	33.1%	30.2%	34.3%	30.3%	33.0%	30.2%	*112.8	103.8	*113.0	
	食べる速度が普通	1091	57.5%	61.7%	59.1%	61.9%	57.5%	61.6%	59.2%	61.9%	93.6	97.2	93.0	
	食べる速度が遅い	1091	8.2%	8.2%	7.8%	7.8%	8.2%	8.2%	7.8%	7.8%	100.5	105.1	104.5	
	週3回以上就寝前夕食	1091	23.0%	20.5%	23.2%	20.3%	22.9%	20.7%	23.0%	20.3%	110.4	99.3	112.1	
	週3回以上夕食後間食	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0	
	週3回以上朝食を抜く	1091	10.8%	10.4%	12.0%	12.3%	10.6%	10.7%	11.7%	12.3%	98.6	90.2	85.9	
	毎日飲酒	1091	52.5%	44.6%	50.0%	41.7%	52.7%	44.4%	50.1%	41.7%	*118.6	105.0	*126.3	
	時々飲酒	1091	18.3%	21.6%	18.0%	23.1%	18.3%	21.7%	17.9%	23.1%	*84.2	102.1	*79.2	
	飲まない	1091	29.1%	33.7%	32.1%	35.2%	29.1%	33.9%	32.0%	35.2%	*85.9	90.9	*82.7	
	1日飲酒量(1合未満)	1091	43.4%	43.9%	43.1%	47.3%	43.4%	44.0%	43.2%	47.3%	98.9	100.6	91.9	
	1日飲酒量(1~2合)	1091	22.7%	36.3%	23.6%	33.5%	22.9%	36.1%	23.7%	33.5%	*63.2	96.5	*68.2	
	1日飲酒量(2~3合)	1091	20.6%	15.6%	20.7%	15.0%	20.6%	15.7%	20.6%	15.0%	*130.4	99.7	*136.5	
	1日飲酒量(3合以上)	1091	13.3%	4.1%	12.7%	4.3%	13.2%	4.2%	12.5%	4.3%	*305.7	104.9	*302.1	
	睡眠不足	1091	22.8%	23.2%	25.0%	22.6%	22.8%	23.2%	25.0%	22.6%	97.9	91.1	100.3	
	改善意欲なし	1091	32.3%	35.8%	32.2%	31.5%	32.6%	35.7%	32.4%	31.5%	90.8	100.3	102.8	
	改善意欲あり	1091	38.6%	27.1%	39.0%	26.5%	38.3%	27.2%	38.7%	26.5%	*140.9	99.1	*145.0	
	改善意欲ありかつ始めている	1091	5.2%	10.5%	6.4%	12.3%	5.2%	10.6%	6.4%	12.3%	*49.1	81.4	*42.1	
	取り組み済み6ヶ月未満	1091	6.2%	7.1%	5.4%	8.0%	6.2%	7.1%	5.4%	8.0%	87.0	114.5	*77.9	
	取り組み済み6ヶ月以上	1091	17.7%	19.4%	17.0%	21.7%	17.7%	19.3%	17.1%	21.7%	91.9	103.9	*81.9	
	保健指導利用しない	1091	58.4%	67.7%	62.5%	64.8%	58.2%	67.8%	62.4%	64.8%	*86.1	93.4	*90.1	
	咀嚼_何でも	1091	71.1%	74.6%	72.6%	77.0%	70.9%	74.9%	72.4%	77.0%	94.8	98.1	*92.2	
	咀嚼_かみにくい	1091	26.2%	24.0%	25.7%	21.8%	26.4%	23.7%	25.9%	21.8%	111.2	101.8	*121.2	
	咀嚼_ほとんどかめない	1091	2.7%	1.4%	1.7%	1.2%	2.7%	1.4%	1.8%	1.2%	*191.5	*152.7	*222.7	
	3食以外間食_毎日	1091	14.8%	14.7%	14.9%	14.3%	14.8%	14.8%	14.8%	14.3%	99.9	99.9	103.1	
	3食以外間食_時々	1091	54.3%	57.0%	53.4%	56.4%	54.2%	57.0%	53.4%	56.4%	95.3	101.7	96.3	
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	1091	30.9%	28.3%	31.7%	29.2%	31.0%	28.2%	31.8%	29.2%	109.6	97.3	105.6	

保険者番号: 390104  
保険者名: 四万十市

質問票調査の状況【補足】ver.3.6  
(男女別・年齢調整)

作成年月: R04年度(累計)

性別	生活習慣等	40~64歳												65~74歳															
		総人数		該当者割合				年齢調整割合				標準化比 vs.				総人数		該当者割合				年齢調整割合				標準化比 vs.			
		単位: %	地域	地域	同規模	県	全国	地域	同規模	県	全国(基準)	同規模(=100)	県(=100)	全国(=100)	地域	地域	同規模	県	全国	地域	同規模	県	全国(基準)	同規模(=100)	県(=100)	全国(=100)			
女性	服薬_高血圧症	366	14.2%	18.7%	17.5%	16.3%	13.2%	18.0%	16.9%	16.3%	76.1	80.8	84.0	994	34.4%	40.3%	38.9%	38.2%	34.7%	40.5%	39.0%	38.2%	*85.4	*88.7	90.5				
	服薬_糖尿病	366	5.7%	4.2%	4.2%	3.5%	5.6%	4.1%	4.0%	3.5%	136.5	134.6	*160.5	994	5.6%	8.1%	7.9%	7.3%	5.7%	8.1%	7.9%	7.3%	*69.5	*71.3	77.2				
	服薬_脂質異常症	366	14.5%	18.1%	13.6%	16.7%	13.6%	17.2%	13.0%	16.7%	80.0	105.1	82.6	994	28.1%	38.6%	31.1%	38.2%	28.1%	38.7%	31.2%	38.2%	*72.7	90.2	*73.7				
	既往歴_脳卒中	366	0.5%	1.4%	0.8%	1.4%	0.6%	1.4%	0.8%	1.4%	39.3	64.9	37.3	987	2.0%	2.6%	2.2%	2.6%	2.0%	2.6%	2.2%	2.6%	79.2	91.6	79.3				
	既往歴_心臓病	366	1.6%	2.3%	1.6%	2.1%	1.6%	2.3%	1.6%	2.1%	70.7	96.8	76.0	987	3.4%	4.5%	3.6%	4.4%	3.5%	4.6%	3.7%	4.4%	76.2	95.0	78.9				
	既往歴_慢性腎臓病・腎不全	366	0.0%	0.6%	0.5%	0.5%	0.0%	0.6%	0.5%	0.5%	0.0	0.0	0.0	987	0.6%	0.8%	0.6%	0.7%	0.6%	0.8%	0.6%	0.7%	76.8	94.7	89.0				
	既往歴_貧血	366	2.5%	21.3%	1.9%	22.5%	2.7%	21.6%	2.0%	22.5%	*11.6	128.3	*11.1	987	0.7%	12.2%	0.7%	12.4%	0.7%	12.2%	0.7%	12.4%	*5.8	96.0	*5.7				
	喫煙	366	8.5%	9.1%	10.3%	8.7%	9.3%	10.4%	10.3%	93.9	83.1	84.8	994	2.9%	3.1%	3.7%	4.0%	2.9%	3.1%	3.7%	4.0%	93.6	77.6	73.1					
	20歳時体重から10kg以上増加	366	28.7%	30.4%	31.0%	29.2%	28.8%	30.6%	31.2%	29.2%	94.6	92.6	99.1	987	25.4%	26.7%	27.7%	26.0%	25.5%	26.6%	27.7%	26.0%	95.4	91.9	97.6				
	1回30分以上の運動習慣なし	366	63.7%	74.4%	68.6%	71.6%	64.6%	74.7%	69.0%	71.6%	*85.6	93.0	89.4	987	53.6%	61.5%	57.2%	57.2%	53.5%	61.4%	57.1%	57.2%	*87.2	93.7	93.5				
	1日1時間以上運動なし	366	36.9%	48.5%	44.3%	49.0%	37.1%	48.5%	44.4%	49.0%	*76.0	*83.1	*75.5	987	31.3%	46.5%	42.1%	46.0%	31.3%	46.4%	42.1%	46.0%	*67.4	*74.4	*67.9				
	歩行速度遅い	366	52.2%	59.7%	55.0%	54.8%	52.6%	59.9%	55.1%	54.8%	87.3	94.7	95.7	987	49.4%	53.9%	49.5%	49.5%	53.9%	49.5%	49.5%	49.3%	91.7	99.9	100.3				
	1年間で体重増減3kg以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0					
	食べる速度が速い	366	29.8%	26.4%	28.6%	25.7%	29.8%	26.5%	28.5%	25.7%	112.9	104.7	116.1	987	26.2%	23.3%	26.5%	22.6%	26.3%	23.3%	26.5%	22.6%	112.5	98.9	*115.9				
	食べる速度が普通	366	58.2%	64.6%	62.1%	64.8%	57.8%	64.4%	62.0%	64.8%	90.1	93.6	89.5	987	65.5%	68.9%	65.5%	70.1%	65.5%	68.9%	65.5%	70.1%	95.0	99.9	93.4				
	食べる速度が遅い	366	12.0%	9.0%	9.4%	9.5%	12.3%	9.1%	9.5%	9.5%	133.5	128.1	128.9	987	8.3%	7.8%	8.0%	7.3%	8.3%	7.8%	8.0%	7.3%	106.8	104.4	113.8				
	週3回以上就寝前夕食	366	12.3%	13.7%	15.0%	15.1%	12.5%	14.0%	15.2%	15.1%	90.1	82.3	83.8	987	9.0%	9.3%	9.2%	8.6%	9.0%	9.3%	9.3%	8.6%	97.3	97.6	104.5				
	週3回以上夕食後間食	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0					
	週3回以上朝食を抜く	366	12.6%	11.7%	13.0%	15.3%	13.2%	12.2%	13.3%	15.3%	108.0	98.2	85.2	987	3.9%	3.7%	4.0%	4.7%	3.8%	3.7%	3.9%	4.7%	104.4	97.3	81.7				
	毎日飲酒	366	19.1%	13.4%	19.1%	15.3%	18.4%	13.5%	19.1%	15.3%	*143.1	100.5	126.2	987	14.9%	8.3%	13.8%	10.3%	14.8%	8.2%	13.8%	10.3%	*179.7	107.6	*144.5				
	時々飲酒	366	23.2%	23.0%	20.8%	25.2%	23.4%	23.1%	20.9%	25.2%	100.8	112.1	92.4	987	16.6%	18.4%	16.6%	20.3%	16.6%	18.3%	16.6%	20.3%	90.5	99.7	*81.6				
	飲まない	366	57.7%	63.6%	60.1%	59.5%	58.2%	63.3%	60.0%	59.5%	90.6	95.7	96.6	987	68.5%	73.3%	69.5%	69.4%	68.7%	73.4%	69.6%	69.4%	93.4	98.5	98.8				
	1日飲酒量(1合未満)	366	77.3%	76.2%	75.9%	74.4%	78.0%	75.7%	75.5%	74.4%	101.2	101.7	103.1	987	86.6%	88.2%	87.0%	86.8%	86.7%	88.3%	87.0%	86.8%	98.2	99.6	99.9				
	1日飲酒量(1~2合)	366	13.9%	17.2%	14.2%	17.8%	13.0%	17.4%	14.3%	17.8%	81.6	98.2	79.0	987	9.8%	10.1%	9.7%	11.2%	9.8%	10.1%	9.7%	11.2%	97.4	100.9	87.8				
	1日飲酒量(2~3合)	366	4.9%	5.0%	6.1%	5.6%	5.2%	6.3%	5.6%	5.6%	98.9	81.2	90.4	987	3.2%	1.4%	2.6%	1.8%	3.2%	1.4%	2.6%	1.8%	*227.4	123.9	*181.4				
	1日飲酒量(3合以上)	366	3.8%	1.6%	3.7%	2.1%	3.9%	1.7%	3.9%	2.1%	*244.4	103.8	*195.9	987	0.3%	0.2%	0.7%	0.3%	0.3%	0.2%	0.7%	0.3%	132.2	45.0	107.2				
	睡眠不足	366	27.9%	29.8%	30.5%	30.0%	28.5%	29.9%	30.6%	30.0%	94.1	91.8	93.7	987	22.7%	25.4%	26.6%	25.2%	22.7%	25.4%	26.6%	25.2%	89.3	*85.2	89.8				
	改善意欲なし	366	15.8%	22.5%	16.7%	20.0%	15.9%	22.4%	16.6%	20.0%	*70.3	94.0	78.5	987	23.8%	27.3%	22.1%	26.1%	23.8%	27.4%	22.2%	26.1%	*87.2	107.7	91.6				
	改善意欲あり	366	48.6%	34.4%	48.1%	34.0%	49.4%	34.6%	48.4%	34.0%	*141.4	101.3	*144.0	987	37.5%	28.3%	42.5%	27.3%	37.5%	28.3%	42.5%	27.3%	*132.3	*88.1	*137.2				
	改善意欲ありかつ始めている	366	8.7%	15.5%	10.1%	17.7%	9.2%	15.6%	10.2%	17.7%	*56.3	86.6	*49.7	987	7.7%	12.9%	7.7%	14.2%	7.7%	12.9%	7.7%	14.2%	*59.8	99.7	*54.0				
	取り組み済み6ヶ月未満	366	7.7%	10.4%	8.4%	10.7%	7.6%	10.5%	8.5%	10.7%	73.2	90.8	71.6	987	8.7%	9.1%	7.2%	9.3%	8.7%	9.0%	7.1%	9.3%	96.0	121.5	93.0				
	取り組み済み6ヶ月以上	366	19.1%	17.1%	16.6%	17.5%	17.9%	16.9%	16.4%	17.5%	112.0	115.1	107.8	987	22.3%	22.4%	20.4%	23.1%	22.3%	22.4%	20.4%	23.1%	99.5	109.0	96.7				
	保健指導利用しない	366	55.2%	66.9%	60.4%	61.0%	56.2%	67.1%	60.5%	61.0%	*82.5	91.4	90.6	987	51.9%	63.7%	57.4%	61.3%	51.9%	63.7%	57.4%	61.3%	*81.4	*90.4	*84.6				
	咀嚼_何でも	366	84.7%	84.0%	82.2%	85.0%	84.7%	84.3%	82.4%	85.0%	100.8	103.1	99.9	987	71.2%	76.7%	74.6%	78.8%	71.3%	76.7%	74.6%	78.8%	92.8	95.5	*90.4				
	咀嚼_かみににくい	366	14.8%	15.5%	17.4%	14.6%	14.7%	15.2%	17.2%	14.6%	95.2	84.4	100.1	987	28.3%	22.7%	24.8%	20.7%	28.2%	22.7%	24.8%	20.7%	*124.6	*114.1	*136.7				
	咀嚼_ほとんどかめない	366	0.5%	0.5%	0.4%	0.5%	0.6%	0.5%	0.4%	0.5%	113.9	138.2	120.1	987	0.5%	0.6%	0.5%	0.6%	0.5%	0.6%	0.5%	0.6%	88.7	81.2	100.5				
	3食以外間食_毎日	366	30.9%	30.6%	31.2%	29.5%	31.8%	30.6%	31.3%	29.5%	100.8	98.9	105.0	987	27.9%	26.9%	29.4%	26.3%	27.9%	26.9%	29.4%	26.3%	103.6	94.6	105.8				
	3食以外間食_時々	366	55.2%	56.0%	54.3%	55.7%	54.4%	55.9%	54.3%	55.7%	98.6	101.6	98.8	987	54.1%	59.6%	55.2%	59.4%	54.1%	59.6%	55.2%	59.4%	*90.7	98.1	*91.1				
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	366	13.9%	13.4%	14.5%	14.8%	13.7%	13.5%	14.4%	14.8%	104.0	96.5	94.5	987	18.0%	13.5%	15.4%	14.3%	18.0%	13.5%	15.4%	14.3%	*133.8	*117.3	*126.1				

	生活習慣等 単位: %	総数(40~74歳)												
		総人数		該当者割合				年齢調整割合				標準化比 vs.		
		地域	地域	同規模	県	全国	地域	同規模	県	全国 (基準)	同規模 (=100)	県 (=100)	全国 (=100)	
女性	服薬_高血圧症	1360	29.0%	34.6%	33.0%	32.0%	28.6%	34.1%	32.7%	32.0%	*84.1	*87.6	*89.6	
	服薬_糖尿病	1360	5.7%	7.1%	6.9%	6.2%	5.6%	7.0%	6.8%	6.2%	80.2	81.8	90.0	
	服薬_脂質異常症	1360	24.4%	33.2%	26.3%	32.0%	24.0%	32.6%	26.0%	32.0%	*73.8	92.3	*75.0	
	既往歴_脳卒中	1353	1.6%	2.3%	1.8%	2.2%	1.6%	2.2%	1.8%	2.2%	72.5	88.3	71.9	
	既往歴_心臓病	1353	3.0%	3.9%	3.1%	3.7%	2.9%	3.9%	3.1%	3.7%	75.3	95.3	78.4	
	既往歴_慢性腎臓病・腎不全	1353	0.4%	0.7%	0.6%	0.6%	0.4%	0.7%	0.6%	0.6%	60.6	73.4	69.7	
	既往歴_貧血	1353	1.2%	14.7%	1.1%	15.3%	1.3%	14.9%	1.1%	15.3%	*8.1	111.8	*7.9	
	喫煙	1360	4.4%	4.7%	5.5%	5.8%	4.6%	4.9%	5.6%	5.8%	93.7	80.4	78.7	
	20歳時体重から10kg以上増加	1353	26.3%	27.7%	28.6%	26.9%	26.4%	27.8%	28.7%	26.9%	95.1	92.1	98.1	
	1回30分以上の運動習慣なし	1353	56.3%	64.9%	60.3%	61.3%	56.7%	65.2%	60.5%	61.3%	*86.7	93.5	*92.2	
	1日1時間以上運動なし	1353	32.8%	47.0%	42.7%	46.9%	33.0%	47.0%	42.7%	46.9%	*69.8	*76.8	*70.1	
	歩行速度遅い	1353	50.2%	55.5%	51.0%	50.9%	50.4%	55.6%	51.1%	50.9%	*90.4	98.4	98.9	
	1年間で体重増減3kg以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0	
	食べる速度が速い	1353	27.2%	24.1%	27.1%	23.5%	27.3%	24.2%	27.1%	23.5%	*112.7	100.6	*115.9	
	食べる速度が普通	1353	63.5%	67.8%	64.6%	68.6%	63.3%	67.6%	64.5%	68.6%	93.7	98.3	*92.4	
	食べる速度が遅い	1353	9.3%	8.1%	8.4%	7.9%	9.4%	8.2%	8.4%	7.9%	114.8	111.6	118.7	
	週3回以上就寝前夕食	1353	9.9%	10.4%	10.8%	10.5%	10.0%	10.7%	11.0%	10.5%	94.7	91.9	96.5	
	週3回以上夕食後間食	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0	
	週3回以上朝食を抜く	1353	6.2%	5.8%	6.4%	7.7%	6.5%	6.1%	6.6%	7.7%	106.3	97.8	83.6	
	毎日飲酒	1353	16.0%	9.6%	15.3%	11.7%	15.8%	9.8%	15.3%	11.7%	*166.0	105.2	*138.1	
	時々飲酒	1353	18.4%	19.6%	17.8%	21.7%	18.5%	19.7%	17.8%	21.7%	93.7	103.6	*85.0	
	飲まない	1353	65.6%	70.8%	66.9%	66.6%	65.7%	70.6%	66.9%	66.6%	*92.7	97.9	98.3	
	1日飲酒量(1合未満)	1353	84.1%	84.8%	84.0%	83.0%	84.0%	84.4%	83.5%	83.0%	98.9	100.1	100.7	
	1日飲酒量(1~2合)	1353	10.9%	12.1%	11.0%	13.2%	10.8%	12.3%	11.1%	13.2%	91.3	99.9	*84.6	
	1日飲酒量(2~3合)	1353	3.7%	2.5%	3.6%	3.0%	3.8%	2.6%	3.7%	3.0%	*154.9	104.2	133.2	
	1日飲酒量(3合以上)	1353	1.3%	0.6%	1.5%	0.8%	1.4%	0.7%	1.7%	0.8%	*212.5	84.4	*170.9	
	睡眠不足	1353	24.1%	26.6%	27.7%	26.6%	24.3%	26.7%	27.8%	26.6%	90.8	*87.2	91.0	
	改善意欲なし	1353	21.7%	26.0%	20.6%	24.4%	21.5%	25.9%	20.6%	24.4%	*83.2	104.7	*88.6	
	改善意欲あり	1353	40.5%	30.0%	44.1%	29.2%	40.9%	30.1%	44.2%	29.2%	*135.1	92.0	*139.3	
	改善意欲ありかつ始めている	1353	8.0%	13.6%	8.4%	15.2%	8.2%	13.6%	8.4%	15.2%	*58.7	95.4	*52.7	
	取り組み済み6ヶ月未満	1353	8.4%	9.4%	7.5%	9.7%	8.4%	9.5%	7.5%	9.7%	89.2	112.2	86.6	
	取り組み済み6ヶ月以上	1353	21.4%	21.0%	19.4%	21.5%	21.0%	20.8%	19.3%	21.5%	102.3	110.4	99.1	
	保健指導利用しない	1353	52.8%	64.6%	58.2%	61.2%	53.1%	64.7%	58.3%	61.2%	*81.7	*90.7	*86.2	
	咀嚼_何でも	1353	74.9%	78.7%	76.7%	80.5%	75.1%	78.9%	76.8%	80.5%	95.1	97.7	*93.1	
	咀嚼_かみににくい	1353	24.6%	20.8%	22.8%	19.0%	24.4%	20.6%	22.6%	19.0%	*118.7	107.9	*129.1	
	咀嚼_ほとんどかめない	1353	0.5%	0.5%	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.5%	94.7	92.0	105.4	
	3食以外間食_毎日	1353	28.7%	27.9%	29.9%	27.2%	29.0%	27.9%	29.9%	27.2%	102.7	95.8	105.5	
	3食以外間食_時々	1353	54.4%	58.7%	54.9%	58.3%	54.2%	58.6%	54.9%	58.3%	*92.8	99.0	93.1	
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	1353	16.9%	13.5%	15.1%	14.5%	16.7%	13.5%	15.1%	14.5%	*125.8	111.9	*117.4	

国保データベース(KDB)のCSVファイル(質問票調査の状況)より計算。

年齢調整(%)は全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による。従って、厳密な男女比較はできない。受診者が少ない地域では、年齢調整(%)がエラーまたは異常な値となることがあるため、標準化比で評価することが望ましい。

標準化比は同規模、県、または全国を基準とした間接法による。標準化比に\*が付記されたものは、基準に比べて有意な差( $p<0.05$ )があること意味する。複数年度をプールした場合には過度に有意になりやすくなる。

Ver. 3.6 (2019.12.5) 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学推進研究事業)「都道府県医療費適正化計画推進のための健診・医療等の情報活用を担う地域の保健医療人材の育成に関する研究」(研究代表:横山徹爾)

## ②健康課題の抽出・明確化

四十万市の死因については主要死因別標準化比※(SMR)の2012年から2021年の推移において脳血管疾患、虚血性心疾患で男女ともに減少傾向にあった。しかし腎不全※においては男女とも全国基準より高く、特に女性において増加傾向にあった。

入院・外来レセプト※で医療費の多くかかる疾患については、糖尿病※、高血圧症※などの生活習慣病※と、それらの生活習慣病が重症化した慢性腎臓病※があった。また、関節疾患や骨折等、整形外科疾患もみられた。

その生活習慣病予防のために、より多くの住民が特定健診を受診することでリスク因子の改善につなげることが重要となるが、全体の特定健診受診率は令和4年度42.2%と目標値を達成していない。受診率は男性より女性が高く、年代別では男女とも40歳～50歳代は低いが60歳代から伸びる傾向にある。健診結果については、男性は年齢とともにメタボ該当割合が多くなり、65歳～74歳の中性脂肪※、40歳～74歳のHbA1c※と尿酸※が優位に高くなっている。女性では40歳～74歳の中性脂肪とHbA1cが優位に高くなっている。

メタボリックシンドローム※該当者やHbA1c・中性脂肪が高くなるような要因となる不適切な生活習慣にどのようなものがあるか、全国と比較して高いものを分析すると、男女とともに「食べる速度が速い」「飲酒の頻度と量が多い」「咀嚼※に問題がある」が該当した。

保険者の健康課題	
1	<b>生活習慣病の重症化を予防する</b>
2	<b>生活習慣病の発症予防 メタボリックシンドローム該当者を減少させる</b>
3	<b>生活習慣病と、生活習慣病に関連する疾患の早期発見・早期治療</b>

### III 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）

### (1) データヘルス計画の目的、目標を達成するための戦略

健康寿命の延伸による医療費適正化を目的とし、健診・医療・介護情報の分析により明らかとなった健康課題解決のために目標を中長期・短期に分けて設定する。中・長期目標は生活習慣病※重症化疾患を減らす、短期目標は健診有所見割合の減少を目指す。(図表 37)

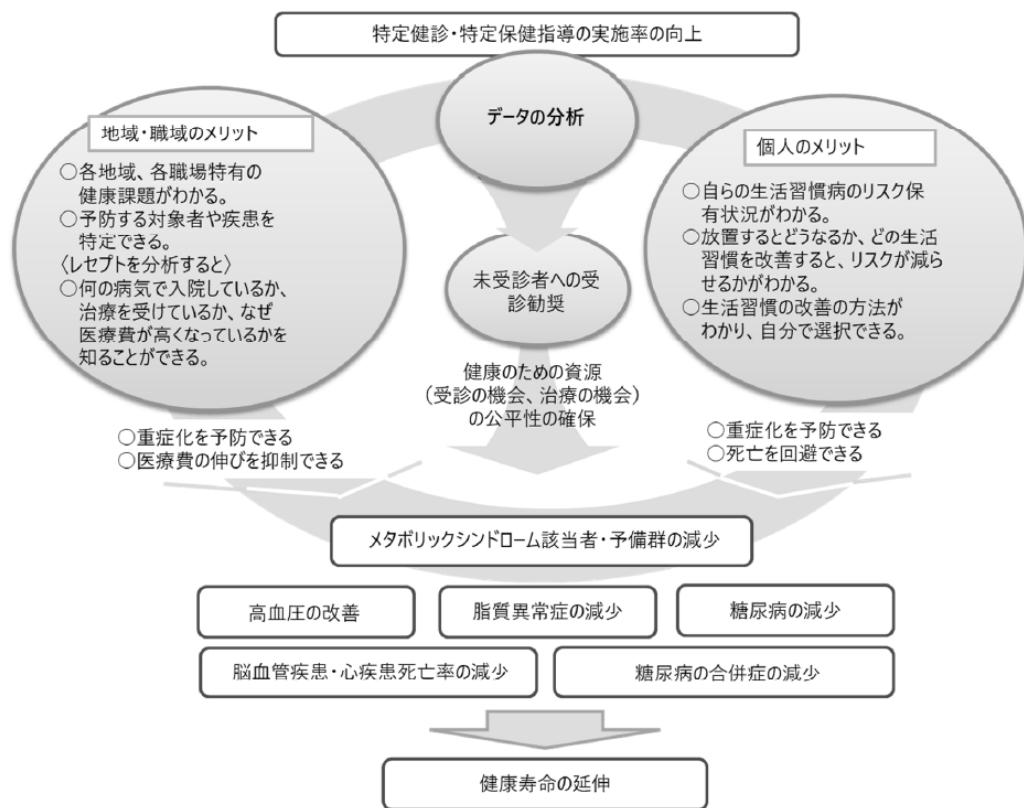
また、高知県で効果的・効率的な保健事業の実施に向けて設定する共通の取組みと指標を設定し、県全体や他市町村との比較を行う。

戦略として、保険者努力支援制度※の点数獲得状況の確認、市町村国保ヘルスアップの活用などに取り組む。

图表 37

## 特定健診・特定保健指導と国民健康づくり運動

－特定健診・特定保健指導のメリットを活かし、国民健康づくり運動を着実に推進－



出典：標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）

①データヘルス計画の目的の設定

目的	健康寿命の延伸による医療費適正化	
	評価指標	目標値
平均自立期間の延伸（人口4.7万人以上の保険者）	平均自立期間（男／女）	延伸
要介護2以上の割合の減少	要介護2以上の割合	維持または減少
医療費の伸びを抑える	入院1人あたり点数	低下
(参考)※	被保険者数	

②データヘルス計画の目標の設定

中・長期目標		評価指標	目標値
1	生活習慣病重症化疾患を減らす	脳血管疾患を減少させる	脳梗塞患者数（費用額30万円以上を集計） 脳出血患者数（費用額30万円以上を集計）
		虚血性心疾患を減少させる	虚血性心疾患患者数（費用額30万円以上を集計）
		新規人工透析患者数を減少させる	新規人工透析患者数（導入期加算のあるものを集計）
		糖尿病性腎症による新規人工透析患者を減少させる	★糖尿病を有病している新規人工透析患者数
	(参考)生活習慣病の基礎疾患の患者数※		高血圧症 40-74歳の被保険者に対する患者数と割合
			糖尿病 40-74歳の被保険者に対する患者数と割合
			脂質異常症 40-74歳の被保険者に対する患者数と割合

短期目標		評価指標	目標値
1・2	健診有所見割合の減少※	メタボリックシンドローム該当者を減少させる	メタボの該当割合 19%未満
		血圧の有所見割合を減少させる	収縮期血圧130mmHg以上の割合 48%未満
			拡張期血圧85mmHg以上の割合 20%未満
		★血糖コントロール不良の者を減少させる	★特定健診受診者でHbA1c8.0%以上の割合 0.5%未満
		血糖の有所見割合を減少させる	HbA1c5.6%以上(保健指導判定値)の割合 58.2%未満
		脂質の有所見割合を減少させる	LDL-C120mg/dl以上の割合 47%未満
		腎機能の有所見割合を減少させる	eGFR45ml/min/1.73m <sup>2</sup> 未満の割合 4%未満
		特定保健指導実施率の向上	★特定保健指導実施率 60%以上
3	特定健診受診率の向上※	★特定健診受診率	60%以上

### ③目標を達成するための戦略

戦略	
1	・県版データヘルス計画との連携 ・保険者努力支援制度取組評価分の点数獲得と市町村国保ヘルスアップの活用
2	・医師会との連携強化 ・業者委託や民間企業と連携した受診勧奨事業 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業との連携
3	

(2) 健康課題を解決するための個別の保健事業

中・長期目標や短期目標で目指す状態を達成するために、個別の保健事業を計画し、取組み目標を設定する。

	個別の保健事業名称	評価項目	評価指標	目標値
1  高知県版糖尿病性腎症重症化予防プログラム	プログラム I ①医療機関未受診者を適切な医療につなげる	★プログラム I 医療機関未受診者の医療機関受診割合		40%
		★プログラム I 治療中断者を適切な医療につなげる		60%
	プログラム II 治療中ハイリスク者を保健指導等（病診連携・外来栄養食事指導・保健指導）につなげる	★プログラム II 治療中ハイリスク者のプログラム利用割合		30%
	（再掲）プログラム II 糖尿病性腎症透析予防強化事業による医療機関と保険者が連携した生活指導を実施	★糖尿病性腎症透析予防強化事業の介入割合		100%
	プログラム II 治療中ハイリスク者の生活習慣の改善	プログラム II 治療中ハイリスク者うち保健指導終了者の生活習慣改善率		70%以上
	プログラム II 治療中ハイリスク者の検査値の改善	プログラム II 治療中ハイリスク者うち保健指導終了者の検査値改善率		70%以上
2	★特定保健指導実施率向上対策に関する事業（特定保健指導事業）	特定保健指導による生活習慣の改善	特定保健指導終了者の生活習慣改善率（課内実績報告より集計）	80%以上
3	★特定健診受診率向上対策に関する事業（特定健診受診勧奨事業）	個別健診受診率の向上	個別健診受診率（月例報告より集計）	25%以上
3  早期介入保健指導事業	若年層の特定健診受診率の向上	40～44歳の特定健診受診率（法定報告より集計）		34%以上
	「要精密・要医療」判定者の減少	若年者健診受診者のうち、「要精密・要医療」判定者の割合		23%未満
3	健診結果説明会	特定健診継続受診率の向上	説明会参加者の次年度の健診受診率（40～74歳の国保被保険者）	90%以上
3  健診異常値放置者受診勧奨事業	「要医療」判定者数の減少	特定健診受診者（集団・個別）の「要医療」判定者の割合		4.2%未満
	「要医療」判定者の医療機関受診率の向上	「要医療」判定者の医療機関受診率		67%以上
3	骨粗しょう症予防事業	骨密度測定「要精検」判定者の医療機関受診率の向上	骨密度測定「要精検」判定者の医療機関受診率	50%以上
1	3疾病発症ハイリスク者への介入	3疾病（脳梗塞・脳出血・虚血性心疾患）発症ハイリスク者への介入により適切な医療につなげる	★3疾病（脳梗塞・脳出血・虚血性心疾患）発症ハイリスク者への介入割合	100%

### （3）薬剤の適正使用の推進

被保険者の健康管理意識を高め、医療費の抑制・保健給付の適正化を図る。

事業名称	評価項目	評価指標	目標値
【共同事業】 薬剤の適正使用推進事業	後発医薬品使用割合を増加させる 【厚生労働省HP「医療費に関するデータの見える化について・保険者別の後発医薬品の使用割合3月診療分」より】	★後発医薬品使用割合	80%以上
	重複投与者数（対被保険者1万人）が前年度から減少していること 【保険者努力支援制度（取組評価分）市町村分より】	★重複投与者数（対被保険者1万人）	減少
	多剤投与者数（対被保険者1万人）が前年度から減少していること 【保険者努力支援制度（取組評価分）市町村分より】	★多剤投与者数（対被保険者1万人）	減少

## IV 個別の保健事業（実施内容と事業評価計画）

### （1）特定健診受診勧奨事業

#### 保健事業の実施内容 令和6年度

事業名	目的	目標	対象者	事業内容	方法	実施者	期間	場所	評価
特定健診受診勧奨事業	特定健診の受診者を増やすことにより、生活習慣病の早期発見および重症化を予防する	特定健診受診率の向上	当該年度特定健診未受診者	特定健診未受診者受診勧奨通知	(1)特定健診未受診者リストを作成する  (2)拾い健診(土曜日または日曜日に開催)に合わせて個別通知による受診勧奨を行う  (3)確定申告(2月)に合わせて個別通知による個別健診受診勧奨を行う ※確定申告のついでに受診券紛失者が再発行手続きに来所することが目的	保健事業担当	平成27年度～	対象者自宅他	【短期目標】 特定健診受診率 【単年度評価】 個別健診受診率
					令和元年度～				
			当該年度特定健診未受診者のうち、医療機関で検査を実施している者	特定健診受診率の向上	なし健診案内通知		令和元年度～		
					当該年度特定健診受診者 継続受診を促す 健康年齢通知 (業者委託)		令和2年度～		
					当該年度特定健診未受診者のうち、過去4年間に受診歴がある者 健康年齢を活用した未受診者受診勧奨通知 (業者委託)		令和2年度～		
			過去3年間に特定健診受診歴がない者	特定健診受診率の向上	過去3年間に特定健診受診歴がない者 受診方法案内通知		令和5年度～		
					前年度特定健診未受診者のうち、医療機関受診中の者 個別健診を促す 未受診者受診勧奨通知 (業者委託)		令和6年度～		

#### 四十万市 令和6年度 事業評価計画

特定健診受診勧奨事業									
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策	
アウトカム	特定健診受診率の向上	1) 特定健診受診率	★特定健診受診率: 60%以上	法定報告より集計	法定報告後	保健事業担当			
		2) 個別健診受診率	個別健診受診率: 25%以上	月例報告より集計	次年度の6月末				
アウトプット	1) 拾い健診案内通知実施率	拾い健診案内通知実施率	拾い健診通知率: 100% ※対象者全員に送付	通知件数を担当者が集計	年度末	保健事業担当			
	2) 拾い健診の実施日数	拾い健診を実施した日数	3日間	拾い健診実施日数を確認	年度末				
	3) 受診勧奨通知実施率	受診勧奨通知実施率	①健康年齢を活用した未受診者受診勧奨通知実施率: 100% ※当該年度健診未受診者のうち、過去4年間に受診がある者 ②健康年齢通知実施率: 100% ※当該年度健診受診者(継続受診率の向上) ③受診方法案内通知実施率: 100% ※過去3年間に健診受診歴がない者 ④なし健診案内通知実施率: 100% ※当該年度健診未受診者のうち、医療機関で検査を実施している者 ⑤未受診者受診勧奨通知実施率: 100% ※前年度健診未受診者のうち、医療機関受診中の者(個別健診受診率の向上)	通知件数を担当者が集計	次年度末				
	1) 委託業者の選定	委託業者の選定は適正であったか。	事業実施可能な委託業者を選定する。	担当職員が確認	年度末		保健事業担当		
	2) 対象者の選定	対象者の選定は適正であったか。	受診に繋がる効果的な対象者を選定する。						
	3) 受診勧奨の実施	通知時期・通知方法・通知内容	受診に繋がる効果的な通知を行う。						
プロセス	1) 予算の確保	事業実施に必要な予算は確保できたか。	必要な予算が確保できる。	予算の状況について、担当職員が確認	年度末	保健事業担当			
	2) 人員の確保	事業実施に必要な人員は確保できたか。	事業実施にあたり必要な人員が確保できる。						
チェック	1) 予算の確保	事業実施に必要な予算は確保できたか。	必要な予算が確保できる。	予算の状況について、担当職員が確認	年度末	保健事業担当			
	2) 人員の確保	事業実施に必要な人員は確保できたか。	事業実施にあたり必要な人員が確保できる。	事業実施にあたり必要な人員が確保できていたか職員へ確認					

★高知県の共通指標

## (2) 早期介入保健指導事業

### 保健事業の実施内容 令和6年度

事業名	目的	目標	対象者	事業内容	方法	実施者	期間	場所	評価
早期介入保健指導事業	若年者を対象に早期に健診や保健指導を行って、生活習慣病の早期発見、重症化を予防するとともに、健康意識の向上を図り、受診行動の習慣化に繋げる。	特定健診受診率の向上	特定健診当該年度において、30歳～39歳までの被保険者	集団健診において対象者への健診の実施と、健診結果による個別保健指導の実施	(1)対象者リストを作成 (2)対象者全員に健診案内を個別通知 (3)若年者健診検査(集団健診)を実施 (4)健診結果から、生活習慣病予備群をリストアップ (5)個別保健指導を実施	保健事業担当	平成28年度～	公共施設、地区集会所等	(1)若年者健診受診率 (2)40～44歳の特定健診受診率 (3)若年者健診受診者のうち、「要精密・要医療」判定者の割合

### 四万十市 令和6年度 事業評価計画

### 早期介入保健指導事業

評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1)若年層の特定健診受診率の向上	40～44歳の特定健診受診率	40～44歳の特定健診受診率:34%以上	担当職員が確認	次年度法定報告後	保健事業担当		
	2)「要精密・要医療」判定者の減少	若年者健診受診者のうち、「要精密・要医療」判定者の割合	「要精密・要医療」判定者の割合:23%未満	当該年度の若年者健診結果を確認	年度末			
アウトプット	1)若年者健診受診率	若年者健診受診率	若年者健診受診率:35%以上	若年者健診通知数と若年者健診受診者数で確認	年度末	保健事業担当		
	2)「要精密・要医療」判定者への介入	「要精密・要医療」判定者への介入率	「要精密・要医療」判定者への結果説明、医療機関受診勧奨実施率:100%	実施状況を確認				
プロセス	1)若年者健診の実施	実施方法は適正であったか。	若年者でも受診しやすく、メリットを感じてもらえる健診を実施する。	スタッフへ聞き取り	年度末	保健事業担当		
	2)「要精密・要医療」判定者への保健指導の実施	保健指導の方法は適正であったか。	医療機関受診、生活習慣の改善等、行動変容につながる保健指導を実施する。	スタッフへ聞き取り(保健指導の内容、対象者の反応等)				
	3)適切な事業案内の実施	事業の周知方法は適正であったか。	受診を促す効果的な周知を行う。	若年者健診受診率を確認				
ストラクチャー	1)予算の確保	事業実施に必要な予算は確保できたか。	必要な予算が確保できる。	予算の状況について、担当職員が確認	年度末	保健事業担当		
	2)人員の確保	事業実施に必要な人員は確保できたか。	事業実施にあたり必要な人員が確保できる。	事業実施にあたり、必要な人員が確保できていたか職員へ確認				
	3)関係機関・関係課と連携・調整	関係機関・関係課と連携・調整の上、実施体制を構築しているか。	関係機関と連携し事業が実施できている。	事業実施にあたり、関係機関との連絡調整ができていたか職員へ確認				

### (3) 健診結果説明会

#### 保健事業の実施内容 令和6年度

事業名	目的	目標	対象者	事業内容	方法	実施者	期間	場所	評価
健診結果説明会	対象者が、健診結果の理解、継続受診の重要性を認識することで生活習慣病の早期発見・重症化予防を図る。	特定健診受診率の向上	特定健診受診者	結果説明会の開催	(1)特定健診の受診者に対し、各地区集会所等で結果説明会を開催 (2)健診結果の見方、継続受診の必要性を説明	保健事業担当	平成27年度～	地区集会所等	説明会参加者の次年度の健診受診率(40～74歳の国保被保険者)

#### 四万十市 令和6年度 事業評価計画

健診結果説明会									
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策	
アウトカム	継続受診率の向上	説明会参加者の次年度の健診受診率(40～74歳の国保被保険者)	説明会参加者の次年度の健診受診率(40～74歳の国保被保険者):90%以上	次年度の健診受診状況を確認	次年度末	保健事業担当			
アウトプット	健診受診者への結果説明実施率	「要医療」判定者・特定保健指導対象者の説明会参加率(40～74歳の国保被保険者)	「要医療」判定者・特定保健指導対象者の説明会参加率(40～74歳の国保被保険者):50%	説明会の参加率を集計(40～74歳の国保被保険者)	年度末	保健事業担当			
プロセス	1)対象者の選定	対象者の選定基準は適正であったか。	重症化リスクの高い対象者へ介入する。	スタッフへ確認	年度末	保健事業担当			
	2)説明会の日程や会場の選定	説明会の日程や会場は適正であったか。	適切な時期や会場で説明会を実施できる。						
	3)事業案内の実施	周知方法や内容は適正であったか。	対象者全員に周知する。						
	4)結果説明会の実施	結果説明会の実施方法は適正であったか。	スタッフ間で共通認識を持ち、スムーズに説明会を実施できる。						
ストラクチャー	1)事業実施人員の確保	事業実施に必要な人員は確保できたか。	参加者を得たすことなく説明会を実施できる。	スタッフへの聞き取り	年度末	保健事業担当			
	2)予算の確保	事業実施に必要な予算は確保できたか。	必要な予算が確保できる。	担当職員が確認					

## (4) 特定保健指導事業

### 保健事業の実施内容 令和6年度

事業名	目的	目標	対象者	事業内容	方法	実施者	期間	場所	評価
特定保健指導事業	対象者が自主的・継続的な取り組みが出来るよう保健指導を行うことで、生活習慣病への移行・重症化を予防する。	特定保健指導(積極的支援・動機付け支援) 対象者の指導実施率を向上させ、保健指導対象者数を減少させる。	特定保健指導対象者	個別面談による保健指導の実施	(1)特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定 (2)生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で実施(一部業者委託) 方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととする。特定健診受診後、順次、特定保健指導対象者を特定し実施する。	保健事業担当	平成27年度～	対象者自宅他	【短期目標】 特定保健指導実施率 【単年度評価】 指導終了者の生活習慣改善率 (※脱落者を除く)

### 四万十市 令和6年度 事業評価計画

### 特定保健指導事業

評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	特定保健指導による生活習慣の改善	指導修了者の生活習慣改善率 ※食生活、身体活動のいずれかの項目で「改善」がみられた者の割合	指導修了者の生活習慣改善率:80%	指導修了時の生活習慣(食生活、身体活動)の改善状況を確認	法定報告後	保健事業担当		
アウトプット	特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導実施率	★特定保健指導実施率:60%以上	令和6年度特定保健指導修了者数より実施率を集計(法定報告)	法定報告後	保健事業担当		
プロセス	1)特定保健指導の実施 2)対象者へ早期の声かけ	第4期「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿った方法で実施できているか。 健診の問診時に、保健指導初回連絡の了解がとれているか。	スタッフ間で共通認識を持ち特定保健指導を実施できる。 保健指導対象になりそうな受診者全員に問診にて声かけができる。	スタッフへの聞き取り	随時	保健事業担当及び 地区担当保健師		
ストラクチャー	1)人員の確保 2)予算の確保 3)特定保健指導で使用する共通様式の活用 4)委託業者の選定	対応する専門職の不足はないか。 事業実施に必要な予算は確保できたか。 スタッフ間で共通した記録用紙やマニュアル、台帳等を使用することができたか。 事業実施を委託した業者の選定は適切であったか。	事業実施にあたり必要な人員が確保できる。 事業実施に必要な予算が確保できる。 スタッフ間で共通認識を持ち特定保健指導を実施できる。 第4期「標準的な健診・保健指導プログラム」の「アウトカム評価」に対応できる。	担当職員が確認 予算の状況について、担当職員が確認 共通様式の更新や使用方法について共有化を図れたかスタッフへ確認 担当職員が確認	随時	保健事業担当及び 地区担当保健師		

★高知県の共通指標

## (5) 健診異常値放置者受診勧奨事業

### 保健事業の実施内容 令和6年度

事業名	目的	目標	対象者	事業内容	方法	実施者	期間	場所	評価
健診異常値放置者受診勧奨事業	特定健診の結果、異常値があり医療機関への受診が必要である者に対し、個別に受診勧奨を行い、適切な受診行動への姿勢と重症化予防を図る。	特定健診の結果に異常値があるにも関わらず、放置し、未治療となっている者の医療機関受診率の向上を図る。	当該年度集団健診受診者のうち「要医療・要精密」判定者	対象者に対して、結果説明会、訪問、電話等で医療機関への受診勧奨を実施	(1)特定健診を受診後、その結果に異常値がある対象者を特定 (2)「要医療」判定者に対し、地区担当保健師が結果説明会前に電話にて面談依頼の連絡をする (3)集団健診で「要医療・要精密」判定者の個別健診で「要医療」判定者の受診勧奨文書を送付 (4)結果説明会・訪問・来所・電話にて医療機関への受診勧奨を実施 (5)その後、医療機関受診が確認できない対象者を特定し、電話または訪問により医療機関への受診勧奨を実施	保健事業担当	平成27年度～	対象者自宅他	(1)「要医療」判定者数 (2)「要医療」判定者の医療機関受診率

### 四十万市 令和6年度 事業評価計画

#### 健診異常値放置者受診勧奨事業

評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	1)「要医療」判定者数の減少	特定健診受診者(集団・個別)の「要医療」判定者の割合	特定健診受診者(集団・個別)の「要医療」判定者の割合:4.2%未満	当該年度の「要医療」判定者の割合を算出	年度末	保健事業担当		
	2)「要医療」判定者の医療機関受診率の向上	「要医療」判定者の医療機関受診率(医療機関受診者/事業対象者) ※次年度の6月レセプトを当該年度の最終集計とする	「要医療」判定者の医療機関受診率:67%以上	レセプトで「要医療」判定者の医療機関受診状況を確認(国保係に依頼)	次年度6月末			
アウトプット	対象者への医療機関受診勧奨実施率	「要精密・要医療」判定者への医療機関受診勧奨実施率	実施率100% (対象者全員に1回以上受診勧奨を行う)	担当職員が確認	年度末	保健事業担当		
プロセス	1)事業実施方法の共有	スタッフ間で共通認識を持ち事業を実施できたか。	統一された方法で事業を実施できる。	地区担当保健師へ確認	毎月	及び保健地区担当保健師		
	2)対象者の選定	対象者の選定は適正であったか。	医療機関への受診が必要な対象者を選定する。		年度末			
	3)対象者への介入	受診勧奨の時期や方法は適正であったか。	医療機関受診につながる効果的なアプローチを行う。					
ストラク	1)事業実施人員の確保	事業実施に必要な人員は確保できたか。	事業実施にあたり必要な人員が確保できる。	地区担当保健師へ確認	年度末	及び保健地区担当保健師		
	2)予算の確保	事業実施に必要な予算は確保できたか。	必要な予算が確保できる。	担当職員が確認				

## (6) 糖尿病性腎症重症化予防事業

### 保健事業の実施内容 令和6年度

事業名	目的	目標	対象者	事業内容	方法	実施者	期間	場所	評価
糖尿病性腎症重症化予防事業	生活習慣による糖尿病患者に対し、早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の重症化を予防する。 新規人工透析患者の減少	高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの基準で選定	医療機関と連携し、対象者に適切な保健指導を実施	高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づいて実施	保健事業担当	平成29年度～	医療機関他		【中・長期目標】 (1)新規人工透析患者数 (2)糖尿病を有病している新規人工透析患者数  【単年度評価】 (1)プログラムⅡ治療中ハイリスク者のうち保健指導終了者の生活習慣改善率 (2)プログラムⅡ治療中ハイリスク者のうち保健指導終了者の検査値改善率 (3)プログラムⅠ医療機関未受診者の医療機関受診割合 (4)プログラムⅠ治療中断者の医療機関受診割合

### 四万十市 令和6年度 事業評価計画

糖尿病性腎症重症化予防事業									
評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策	
アウトカム	1)保健指導実施による生活習慣の改善	プログラムⅡ治療中ハイリスク者のうち保健指導終了者の生活習慣改善率	保健指導終了者の生活習慣改善率:70%以上	保健指導終了者と医療機関への聞き取りで確認	事業完了後 翌年度8月	保健事業担当			
	2)保健指導実施による検査値の改善	プログラムⅡ治療中ハイリスク者のうち保健指導終了者の検査値改善率	保健指導終了者の検査値改善率:70%以上	保健指導終了者の検査値改善率(HbA1c、eGFR、尿蛋白、血清クレアチニン等)が維持、改善されているかを確認					
	3)新規人工透析患者数を減少させる	新規人工透析患者数(導入期加算のあるものを集計)	中間評価(R8年度):5人未満 最終評価(R11年度):4人未満	国保連合会からの情報提供(翌年度8月)より確認					
	4)糖尿病性腎症による新規人工透析患者を減少させる	★糖尿病を有病している新規人工透析患者数	中間評価(R8年度):3人未満 最終評価(R11年度):2人未満						
	5)プログラムⅠ (①医療機関未受診者を適切な医療につなげる)	★プログラムⅠ医療機関未受診者の医療機関受診割合(令和5年度健診受診者分)	プログラムⅠ医療機関未受診者の医療機関受診割合:40%						
	6)プログラムⅠ (②治療中断者を適切な医療につなげる)	★プログラムⅠ治療中断者の医療機関受診割合(令和6年度配信分)	プログラムⅠ治療中断者の医療機関受診割合:60%	国保連合会からの情報提供(翌々年度8月)より確認					
アウトプット	1)プログラムⅠ (①医療機関未受診者への医療機関受診勧奨実施率)	プログラムⅠ医療機関未受診者への医療機関受診勧奨実施率(令和5年度健診受診者分) ※プログラム除外者、保険者除外者を対象外として集計(取組状況帳票○△○)	プログラムⅠ医療機関未受診者への医療機関受診勧奨実施率:100%	健診年度の翌年度の12月末時点のXRL取組状況帳票より確認	当該年度12月末	保健事業担当			
	2)プログラムⅠ (②治療中断者への医療機関受診勧奨実施率)	プログラムⅠ治療中断者の医療機関受診勧奨実施率(令和6年度配信分) ※プログラム除外者、保険者除外者を対象外として集計(取組状況帳票○△○)	プログラムⅠ治療中断者の医療機関受診勧奨実施率:100%	名簿配信年度の翌年度の12月末時点のXRL取組状況帳票より確認					
	3)プログラムⅡ	★プログラムⅡ治療中ハイリスク者のプログラム利用割合	プログラムⅡ治療中ハイリスク者のプログラム利用割合:30%	国保連合会からの情報提供(翌年度8月)より確認					
	4)プログラムⅡ (糖尿病性腎症透析予防強化事業による医療機関と保険者が連携した生活指導を実施)	★糖尿病性腎症透析予防強化事業の介入割合	★糖尿病性腎症透析予防強化事業の介入割合:100%						
プロセス	1)対象者の選定	保健指導対象者の選定は適切であったか。	指導効果が期待できる対象者を選定する	担当職員が確認	事業完了後	保健事業担当			
	2)適切な事業案内の実施	対象者へ適切に事業案内を実施できたか。	参加につながる効果的な事業案内を行う。	担当職員が確認					
ストラクチャー	1)予算の確保	事業実施に必要な予算は確保できたか。	必要な予算が確保できること。	予算執行状況について担当職員が確認	事業完了後	保健事業担当			
	2)事業実施人員の確保	事業実施に必要な人員は確保できたか。	必要な人員が確保できること。	事業実施にあたり必要な人員が確保できていたか職員に確認					
	3)関係機関、関係課との連携体制の構築	事業実施にあたり、関係機関、関係課と連携、調整のうえ、実施体制を構築していましたか。	関係機関と連携、調整のうえ、事業を実施する。	担当職員が確認					

★高知県の共通指標

## (7) 骨粗しょう症予防事業

### 保健事業の実施内容 令和6年度

事業名	目的	目標	対象者	事業内容	方法	実施者	期間	場所	評価
骨粗しょう症予防事業	骨密度測定を実施することで、骨粗しょう症の予防及びその予備軍となる低骨密度者の早期発見・早期治療を図る。	低骨密度者の医療機関受診率の向上	40～74歳の女性	対象者への骨密度測定の実施と、測定結果による個別保健指導・医療機関への受診勧奨の実施	(1)婦人がん検診(乳がん・子宮頸がん検診)や健康づくりイベント等併せて骨密度測定を実施 (2)測定結果より個別の保健指導と医療機関への受診勧奨を実施 (3)受診勧奨した者について、医療機関受診状況をレセプト等で確認	保健事業担当	令和6年度～	公共施設他	骨密度測定「要精検」判定者の医療機関受診率

### 四万十市 令和6年度 事業評価計画

### 骨粗しょう症予防事業

評価の枠組み	評価項目	評価指標	目標	評価手段	評価時期	評価体制	評価結果	今後の対策
アウトカム	「要精検」判定者の医療機関受診率の向上	骨密度測定「要精検」判定者の医療機関受診率(次年度の6月レセプトを当該年度の最終集計とする)	「要精検」判定者の医療機関受診率:50%以上	「要精検」判定者の医療機関受診状況をレセプトで確認(国保係に依頼)	次年度6月	保健事業担当		
アウトプット	1)骨密度測定受診者数	骨密度測定受診者数(対象者:国保被保険者のうち、40～74歳の女性)	骨密度測定受診者数:240名以上	担当職員が確認	年度末	保健事業担当		
	2)骨密度測定受診者への個別保健指導実施率	個別保健指導の実施率	実施率:100%	スタッフへ実施状況を確認				
	3)「要精検」判定者への医療機関受診勧奨実施率	骨密度測定「要精検」判定者への医療機関受診勧奨実施率	実施率:100%	スタッフへ実施状況を確認				
プロセス	1)対象者の選定	対象者の選定は適正であったか。	骨粗しょう症予防に効果的な対象者を選定する。	担当職員が確認	年度末	保健事業担当		
	2)日程・会場の選定	日程や会場の選定は適正であったか。	適正な時期や会場で骨密度測定を実施する。	スタッフに確認				
	3)骨密度測定の実施	測定機器の取り扱いや操作は適正であったか。	測定機器を適正に使用する。	スタッフに確認				
	4)個別保健指導の実施	保健指導の実施方法は適正であったか。	スタッフ間で共通認識を持ち保健指導を実施できる。	スタッフに確認				
ストラクチャ	1)予算の確保	事業実施に必要な予算は確保できたか。	必要な予算が確保できる。	予算の状況について、担当職員が確認	年度末	保健事業担当		
	2)人員の確保	事業実施に必要な人員は確保できたか。	事業実施にあたり必要な人員を確保できる。	職員に確認				
	3)業者の選定	測定機器取扱業者の選定は適正であったか。	事業内容に対応した測定機器を使用できる。	担当職員が確認				

## V 高知県における共通指標と保険者努力支援制度※（取組評価分）市町村分の状況

### ●高知県の共通指標

項目	共通指標と目標値										現状値	
特定健診・特定保健指導	特定健診受診率 60%										42.19%	
	特定保健指導実施率 60%										25.69%	
糖尿病性腎症重症化予防	糖尿病性腎症による新規透析患者数の減少										3	
	特定健診受診者でHbA1c8.0%以上の者の割合の減少率										0.81%	
医薬品の適正使用の推進	後発医薬品使用割合の増加 80%以上										82.8%	
	重複投与者数（対被保険者1万人）が前年度から減少していること										48	
	多剤投与者数（対被保険者1万人）が前年度から減少していること										11	
区分	指標	令和6年度 保険者努力支援制度	令和7年度 保険者努力支援制度	令和8年度 保険者努力支援制度	令和9年度 保険者努力支援制度	令和10年度 保険者努力支援制度	令和11年度 保険者努力支援制度	令和12年度 保険者努力支援制度	獲得点	配点	獲得点	配点
共通①	(1) 特定健康診査受診率	●	5									
	(2) 特定保健指導実施率	●	0									
共通③	発症予防・重症化予防の取組	●	65									
共通⑤	重複・多剤投与者に対する取組	●	75									
共通⑥	(1) 後発医薬品の促進等の取組	●	120									
	(2) 後発医薬品の使用割合	●										
小計		●	265									
上記以外の指標		●	319									
合計		●	584									

## VI 第4期特定健康診査等実施計画

### （1）基本的事項

#### ① 計画の趣旨

近年の急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化などの大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。このような状況に対応するため、先の医療制度改革では、生活習慣病※予防を総合的に推進していくこととし、「高齢者の医療の確保に関する法律」(昭和 57 年法律第 80 号。以下、「法」という)において、医療保険者には、被保険者および被扶養者に対し、特定健康診査※および特定保健指導※を実施することが義務付けられた。

特定健康診査とは、糖尿病※等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドローム※の該当者および予備群を減少させるための特定保健指導等を必要とする者を的確に抽出するために行うものであり、特定保健指導は、内臓脂肪型肥満の要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行うことにより、受診者が自らの生活習慣における課題を意識して行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようになることを通じて、糖尿病等の生活習慣病を予防するために行うものである。

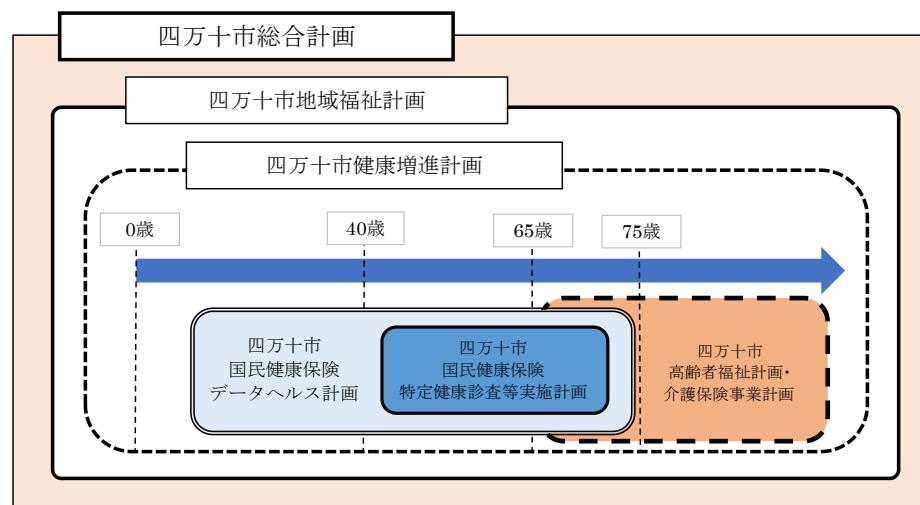
本市においても、国民健康保険で実施する特定健康診査および特定保健指導を効果的かつ効率的に実施するため、当該事業の実施に係る基本的な事項、並びにその成果目標に関する事項等について定めた「四万十市特定健康診査等実施計画」(第1期計画：平成 20 年度から平成 24 年度、第2期計画：平成 25 年度から平成 29 年度、第3期計画：平成 30 年度から令和 5 年度)を策定し、事業を実施してきたところである。

本計画は、第1期から第3期における特定健康診査および特定保健指導の実施結果等を踏まえ、計画の見直しを行い、新たに第4期計画を策定するものである。

## ② 計画の位置づけ

この計画は、法第 18 条をふまえ、四万十市国民健康保険第 3 期保健事業実施計画（データヘルス計画）と一体的に策定し、特定健康診査※等の基本方針を示すものである。また、本計画は「四万十市地域福祉計画」「四万十市健康増進計画」などの諸計画と整合性を図りながら推進していくこととする。（図表 38）

図表 38



## ③ 計画期間

計画期間は、令和 6 年度～令和 11 年度の 6 年間とする。

計画は健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえるとともに、高知県健康増進計画や高知県医療費適正化計画、高知県後期高齢者医療広域連合※保健事業実施計画、および当市における健康増進計画や国民健康保険事業計画、介護保険事業計画と調和のとれたものとする。

## （2）特定健康診査※の実施状況

### ① 特定健康診査に係る主な取り組み

第3期計画期間において、下記の取り組み等により特定健康診査の受診率の向上を図った。

#### ◆健診対象者への個別通知

地区での集団健診の前に受診券を個別に発送。

#### ◆各地区での集団健診の実施(令和5年度は24日間、24会場で実施)

公共施設、地区集会等にて市が実施。自己負担金は無料。

#### ◆医療機関等による個別健診の実施

自己負担金は無料。

#### ◆各種がん検診とのセット化

胃がん(バリウム検査)、乳がん(女性のみ)、前立腺がん(男性のみ)の同時実施。

#### ◆地区健康福祉委員会などの住民組織と連携した受診啓発

高齢になっても安心して暮らすことができる地域を推進していく事業で、市内の「区」等で構成する住民組織に「地区健康福祉委員会」を設立し、健康福祉に関する各種事業を市からの委託事業として実施。「健康づくり事業」では地区住民の特定健診・がん検診の受診勧奨や、健康づくり学習会等を実施。

#### ◆休日健診の実施(令和5年度は3日間、2会場で実施)

#### ◆広報誌等による啓発

- ・毎月の広報誌にて集団健診の実施日程をお知らせ。
- ・国保保険証発送時に健診チラシを同封。
- ・高知家健康パスポート事業※や市独自のポイント事業の実施による受診勧奨。

#### ◆セット健診※の実施

幡多健診センターで、特定健診と複数のがん検診を同時に半日で受診できるセット健診を年に6回実施。

#### ◆年度はじめに個別健診受診勧奨ハガキを発送

## ◆国保ヘルスアップ事業の実施

国保被保険者の健康の保持増進、疾病予防等と国保の医療費の適正化を目的に医療(レセプト<sup>※</sup>)情報と健診結果情報等のデータ分析に基づく PDCA サイクル<sup>※</sup>に沿った保健事業の計画(四万十市データヘルス計画)に基づき事業を実施。

### ア. 特定健診受診勧奨事業

各地区での集団健診実施後、健診未受診者を対象とした健診の実施と、再健診実施のお知らせを発送するほか、経年未受診の者に対して電話により未受診理由の聞き取りと受診勧奨を実施。令和2年度からは、受診者へ健康年齢通知を発送。

### イ. 健診異常値放置者受診勧奨事業

健診受診者のうち医療機関受診の必要性のあるものに個別の受診勧奨を行うほか、レセプト情報から生活習慣病<sup>※</sup>・健診異常値があるにもかかわらず治療を放置している者に対して医療機関への受診勧奨を行い、適切な受診行動ができるように促し重症化予防に繋げた。

### ウ. 健診結果説明会

集団健診受診者に対して健診結果の説明を個別に行い健康意識の向上を図った。

### エ. 早期介入保健指導事業

生活習慣病の1次予防として30歳代の国保被保険者に対して健診と保健指導を実施し生活習慣病予備群の早期発見と健診の受診継続の意識づけを行い、若い世代の健康意識の向上を図った。

## ② 特定健康診査※の課題と対策

### ◆特定健康診査受診率 (図表 26、図表 27)

令和 4 年度特定健康診査受診率 42.2%は、令和 5 年度到達目標値 60%に未到達であるため、受診率向上を目指し、未受診者への取り組みをさらに行う必要がある。特に、若年者層(40 歳から 59 歳)の受診率が低いため、30 歳代をターゲットに健診を実施するなど健康意識の向上に努める。また、通院中の方への通知により個別健診の受診率向上に努める。

### ◆有所見者の状況 (図表 32、図表 33、図表 35)

健診受診者の 2 割がメタボリックシンドローム※に該当し、年齢が高くなるにつれて該当率も高くなる傾向にある。また、男性では 65 歳～74 歳の中性脂肪※、40 歳～74 歳の HbA1c※と尿酸※が優位に高くなっている。女性では 40 歳～74 歳の中性脂肪と HbA1c が優位に高くなっている。

特定健康診査の結果を活用することで被保険者に生活習慣を見直すきっかけを提供し、生活習慣病※を予防する。

### ◆質問票の回答状況 (図表 36)

メタボリックシンドローム該当者や HbA1c・中性脂肪が高くなるような要因となる不適切な生活習慣にどのようなものがあるか、全国と比較して高いものを分析すると、男女ともに「食べる速度が速い」「飲酒の頻度と量が多い」「咀嚼※に問題がある」が該当した。

ポピュレーションアプローチで生活習慣改善を促す取り組みが必要である。

### （3）特定保健指導※の実施状況

#### ① 特定保健指導に係る主な取り組み

第3期計画期間において、下記の取り組み等により特定保健指導の受診率の向上を図った。

##### ◆個別保健指導の実施

対象者の支援レベル(積極・動機付け)に応じ、訪問・来所・電話等にて管理栄養士または保健師が個別に指導を実施。

##### ◆途中離脱者を少なくするための適切なアドバイス

対象者の状況や環境等の把握を行い、その状況に応じ実施可能な改善方法を提供。また、行動が継続できるよう必要に応じて電話での支援をこまめに行った。

##### ◆保健指導体制の見直し

健診結果説明会など関係する事業と同時実施を行い、対象者の利便性や実施者の効率を考え、実施の工夫を行った。

##### ◆国保ヘルスアップ事業の実施

###### ・健診結果説明会

対象者に対し、身近な会場で実施する結果説明会に参加してもらえるよう、健診会場で説明会について周知を行い実施率の向上を図った。

#### ② 特定保健指導の課題と対策

##### ◆特定保健指導実施率（図表 28、図表 29、図表 30）

令和4年度特定保健指導実施率 25.7%（法定報告※値）は、市区町村国保の令和5年度到達目標値 60%に未到達である。実施率向上を目指し、利用勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

##### ◆メタボリックシンドローム※及び特定保健指導該当状況（図表 31、図表 33）

メタボリックシンドローム基準該当割合は 20.0%、予備群該当割合は 10.1%（KDB※値）である。また、積極的支援対象者割合は 3.7%、動機付け支援対象者割合は 11.1%（法定報告値）である。メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当者数を減少させるため、年齢が比較的若い対象者に対して優先的に指導する等、効果的・効率的な特定保健指導を実施する必要がある。

## (4) 特定健康診査※及び特定保健指導※の実施計画

### ① 目標

国では、市区町村国保において、計画期間の最終年度である令和11年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上を達成することとしている。本市においては各年度の目標値を以下の通り設定する。

#### 目標値

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和11年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	45.0%	48.0%	51.0%	54.0%	57.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導実施率(%)	31.0%	37.0%	43.0%	49.0%	54.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導対象者の 減少率(%)※						25.0%	25.0%以上

### ② 対象者数推計

令和6年度から令和11年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数、特定保健指導対象者数及び実施者数の各年度の見込みを示す。

#### 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査対象者数(人)	5,939	5,766	5,593	5,418	5,245	5,071
特定健康診査受診率(%) (目標値)	45.0%	48.0%	51.0%	54.0%	57.0%	60.0%
特定健康診査受診者数(人)	2,673	2,768	2,852	2,926	2,990	3,043

#### 年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査 対象者数(人)	40歳～64歳	2,357	2,287	2,219	2,150	2,081
	65歳～74歳	3,582	3,479	3,374	3,268	3,164
特定健康診査 受診者数(人)	40歳～64歳	731	755	799	839	886
	65歳～74歳	1,942	2,013	2,053	2,087	2,137

## 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定保健指導対象者数(人)	535	554	570	585	598	609
特定保健指導受診率%(目標値)	31.0%	37.0%	43.0%	49.0%	54.0%	60.0%
特定保健指導実施者数(人)	166	205	245	287	323	365

## 支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
積極的支援	対象者数(人)	40歳～64歳	171	177	183	187	191
	実施者数(人)	40歳～64歳	46	60	75	90	99
動機付け支援	対象者数(人)	40歳～64歳	64	66	68	70	72
		65歳～74歳	300	311	319	328	335
	実施者数(人)	40歳～64歳	19	23	27	32	37
		65歳～74歳	101	122	143	165	187
							206

### ③ 特定健康診査、特定保健指導の実施方法

#### ◆特定健康診査の実施方法

##### ア. 対象者

実施年度中に40歳から74歳となる国保被保険者(実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む)。ただし、妊娠婦、刑務所入所者、海外在住、長期入院等厚生労働省令で定める除外規定に該当する者は対象者から除くものとする。

##### イ. 実施形態

市で実施する集団健診方式および医療機関による個別健診方式を併用する。

##### ウ. 実施場所

集団健診は公共施設、地区集会所等で実施する。個別健診は委託契約を結んだ医療機関等で実施する。

##### エ. 実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施する。

■ 基本的な健診項目(全員に実施)

- 問診(服薬の状況、喫煙歴等) ○身体計測(身長、体重、BMI<sup>※</sup>、腹囲<sup>※</sup>)
- 血圧測定 ○身体診察(視診、聴診、触診等) ○尿検査(尿糖、尿蛋白)
- 血液検査
  - ・脂質検査(中性脂肪<sup>※</sup>、HDL コレステロール<sup>※</sup>、LDL コレステロール<sup>※</sup>)
  - ・血糖検査(空腹時血糖または HbA1c<sup>※</sup>)
  - ・肝機能検査(AST<sup>※</sup>(GOT)、ALT<sup>※</sup>(GPT)、γ-GT<sup>※</sup>(γ-GTP))

■ 詳細な健診項目(医師が必要と判断した場合に実施)

- 心電図検査<sup>※</sup> ○眼底検査<sup>※</sup> ○貧血検査(赤血球、血色素量、ヘマトクリット)
- 血清クレアチニン<sup>※</sup>検査(eGFR<sup>※</sup>による腎機能の評価を含む)

オ. 実施時期

4月から翌年3月

カ. 案内方法

対象者に、特定健康診査受診券と受診案内等を個別に発送する。また、広報やホームページ等で周知を図る。

キ. 受付方法

特定健康診査の対象者は、集団健診については、市が指定する日時・場所で健診を受ける。個別健診については、受診を希望する医療機関等に予約のうえ健診を受ける。

受診の際には、市から送付する受診券を持参し、国保被保険者証とともに健診実施機関に提出する。**(図表 39)**

なお、受診に係る自己負担は、集団健診・個別健診ともに無料とする。但し、健診単価や国(県)補助基準単価の改定等があった場合は見直しを行うものとする。

图表 39

⑦ 特定健康診査受診券(一括発行分)

### ① 特定健康診査受診券(オンライン発行分)表

⑦ 特定健康診査受診券(オンライン発行分)裏

特定健康診査受診券						
			2000年(平成12年) 4月1日 交付			
郵便番号		0012345600X				
氏名		クンシヤ タロウ				
性別		男	生年月日	1980年(昭和55年) 00月 00日		
有効期限		2000年(平成12年) 00月00日				
検査内容		年齢 別	性別 別	受診回数	既往歴	
基本項目		年別	性別	回数	上級医	
検査種別	基礎検査	年別	性別	回数		
		年別	性別	回数		
		年別	性別	回数		
		年別	性別	回数		
		年別	性別	回数		
	生活習慣検査	年別	性別	回数		
		年別	性別	回数		
		年別	性別	回数		
		年別	性別	回数		
		年別	性別	回数		
検査専門医検査	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
生活習慣検査	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
検査専門医検査	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
検査専門医検査	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
	年別	性別	回数			
注) は、基本項目、生活習慣検査の結果及び、受診者の検査内容を確認し実施します。 注) 生活習慣検査を同時実施した場合は、同時実施回数を自己負担額をお払いください。						
検査専門医	所在 地	四万十市村大船越 4丁目10				
	電話番号	0883-54-1115				
	番 号	0	0	3	8	
	名 称	四万十市	0	1	0	4
						公民省
契約とりまとめ欄用						
支払代理契約書名						
支払代理契約書名						
※ 実施機関の所在する実施責任者の番号。名前に読み替えてください。						

## ◆特定保健指導※の実施方法

### ア. 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出する。

ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととする。また、65歳から74歳の者については、動機付け支援のみ実施する。

図表40 特定保健指導対象者の選定基準

腹囲/BMI	追加リスク ①血糖 ②脂質 ③血圧	喫煙歴(注)	対象	
			40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	あり	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	なし		
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	あり	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	なし		
	1つ該当			

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c<sup>\*</sup>(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質:中性脂肪<sup>\*</sup>150mg/dl以上、またはHDLコレステロール<sup>\*</sup>40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧<sup>\*</sup>130mmHg以上、または拡張期血圧<sup>\*</sup>85mmHg以上

糖尿病<sup>\*</sup>、高血圧症<sup>\*</sup>、脂質異常症<sup>\*</sup>の治療に係る薬剤を服用している者は、特定保健指導の対象外となる。

65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

### イ. 実施場所

健康管理センター、保健センター、地区集会所等または個別訪問により実施する。

### ウ. 実施項目

保健指導レベルに応じた内容の保健指導を実施する。

図表41 保健指導レベルに応じた支援内容

	支援形態	支援内容
積極的支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、または1グループ当たりおおむね80分以上のグループ支援。	特定健康診査の結果から、対象者自らが自分の身体に起こっている変化を理解し、生活習慣改善の必要性を実感できるような働きかけを行う。また、具体的に実践可能な行動目標を対象者が選択できるように支援する。
	b. 3カ月以上の継続支援 個別支援、グループ支援の他、電話、e-mail等の通信手段を組み合わせて行う。	支援者は目標達成のために必要な支援計画を立て、行動が継続できるように定期的・継続的に介入する。
	c. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行う。	
動機付け支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、または1グループ当たりおおむね80分以上のグループ支援。	対象者自らが、自分の生活習慣の改善すべき点を自覚することで行動目標を設定し、目標達成に向けた取り組みが継続できるように動機付け支援を行う。
	b. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行う。	

## エ. 実施時期

4月から翌年3月

## オ. 案内方法

特定保健指導<sup>※</sup>は、主に市の保健師、管理栄養士による直営で実施するため、市より指定した日時、場所で特定保健指導を利用する。特定保健指導を委託した場合には、市から送付する利用券を持参して、国保被保険者証とともに保健指導実施機関に提出し特定保健指導を利用する。

## カ. 対象者の重点化

特定健康診査の受診率が高くなると保健指導対象者も増加することとなるため、効果的・効率的な保健指導の実施が必要となる。そのため、対象者には次の方法で優先順位を付け、保健指導を実施するものとする。

- ① 年齢が比較的若い者
- ② 健診結果の保健指導レベルが情報提供レベルから動機づけ支援レベル、動機づけ支援レベルから積極的支援レベルに移行するなど、健診結果が前年度と比較して悪化し、より緻密な保健指導が必要になった者
- ③ 質問項目の回答により、生活習慣改善の必要性が高い者
- ④ 前年度、積極的支援及び動機づけ支援の対象者であったにもかかわらず保健指導を受けなかった者

## ◆特定健康診査、特定保健指導の委託

### ア. 委託、契約形態

特定健康診査は、市町村国保の代表保険者と、高知県医師会および高知県総合保健協会との委託契約により実施する。また、高知県医師会に未加入の医療機関(県外も含む)については、個別の委託契約により実施する。

特定保健指導は、主に市の保健師、管理栄養士による直営で実施するが、対象者数の動向や必要経費などを見極めながら委託についても検討する。

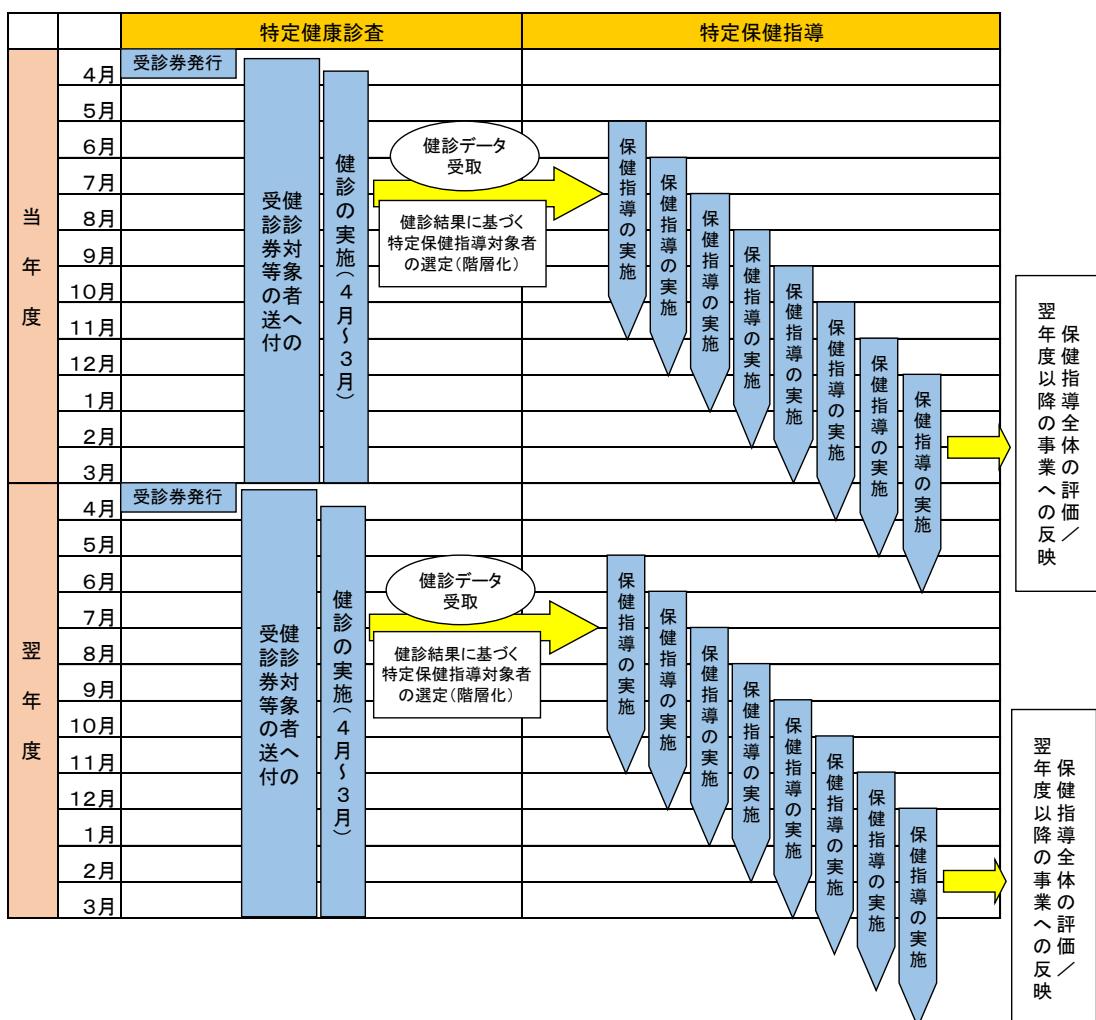
アウトソーシングを推進することは、利用者の利便性に配慮した健診・保健指導(例えば、夜間、土日、祝日に行うなど)を実施するなど対象者のニーズを踏まえた対応が可能となることや、多様な事業所による競争によりサービスの質の向上が図られると考えられるが、一方で質が考慮されない価格競争につながることがないように委託基準により健診・保健指導が適切に実施される事業者を選定することが必要である。また、委託契約期間中には、健診・保健指導が適切に実施されているかモニタリングを行うものとする。

#### イ. 委託基準

特定健康診査の委託に係る基準は、『標準的な健診・保健指導プログラム(確定版)』第1編第1章の考え方に基づき、①人員に関する基準、②施設、設備等に関する基準、③精度管理に関する基準、④健診結果等の情報の取扱いに関する基準、⑤運営等に関する基準を定めるものとする。

特定保健指導※の委託に係る基準は、『標準的な健診・保健指導プログラム(確定版)』第1編第1章の考え方に基づき、①人員に関する基準、②施設、設備等に関する基準、③特定保健指導の内容に関する基準、④特定保健指導の記録等の情報の取扱いに関する基準、⑤運営等に関する基準を定めるものとする。

図表42 特定健康診査、特定保健指導 実施スケジュール



## ◆結果通知、他の保険者からのデータ受領

特定健康診査の結果通知は、集団健診受診者のうち、特定保健指導対象者と要医療判定者には結果説明会で直接手渡し、その他の者は本人に郵送する。個別健診受診者の場合は、高知県医師会より本人に直接送付する。その際、特定健診の結果を基に階層化を実施し、判定された結果を記載するものとする。

健診のデータは、健診実施機関から代行機関(高知県総合保健協会)を通じて電子データにより受領し、市で保管する。特定保健指導※についても委託した場合は、同様に電子データで受領するものとする。

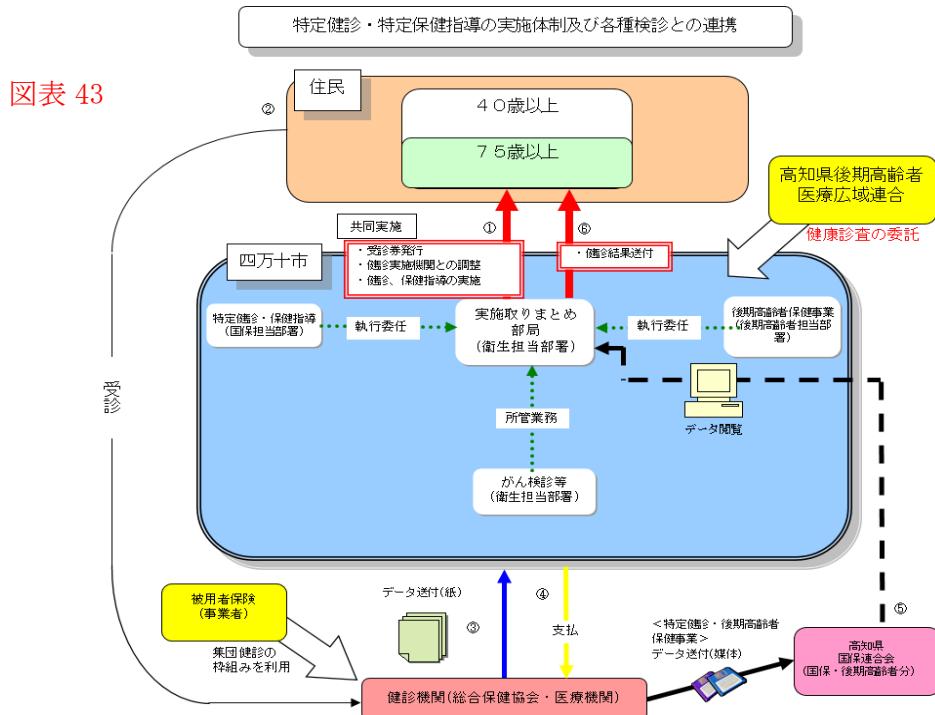
また、国保被保険者が国保加入前に受けた健診等に関する記録の提供を求めることができることとなっており、記録の提供を求める場合は、当該被保険者の同意を得て、他の保険者より受領する。本人からの受領の場合は、電子データは困難なため、紙で受領し、データ入力を行うものとする。

## ◆事業運営上の留意事項

### ア. 特定健康診査・特定保健指導の実施体制及び各種検診との連携について

住民の利便性、各種検診の実施を効率的に行うため、特定健康診査・特定保健指導については、国保担当部署より衛生担当部署が執行委任を受け、実施するものとする。(図表43)

また、労働安全衛生法に基づく事業主健診や人間ドックを受診し、その健診項目に特定健診と同等のものが含まれている場合は、その結果を提供してもらうことで特定健康診査を受診したとみなすことができるところから、特定健康診査の受診率向上のため、健診結果を提供してもらえるよう取り組むものとする。



#### イ. 四万十市健康増進計画と連携した取組

本市では、「市民のライフステージ(年代層)に沿った健康づくりの推進」と「市民の健康づくりを支援する取り組みの推進」を目指す「四万十市健康増進計画」を策定している。乳幼児期から高齢期まで生涯を通じた健康づくりや食育の取組を推進するもので、本計画が目指す生活習慣病※の予防や重症化防止の取組と深く関連している。

そこで、「四万十市健康増進計画」と連携しながら、生活習慣病の予防を推進していくことで、医療費の増加抑制を図っていくものとする。

#### ウ. 年度途中の加入者についての取扱い

年度途中での転入、社会保険離脱等による加入者については、可能な範囲で加入年度内での特定健診・特定保健指導を実施するものとする。

#### エ. ポピュレーションアプローチについて

特定保健指導※は、健診受診者で生活習慣病のハイリスクの者に限定されるため、未受診者や生活習慣病以外の循環器疾患等に対しての保健指導、広く一般市民に対しての働きかけ(ポピュレーションアプローチ)についても積極的に取り組むものとする。

#### オ. 人材の育成について

特定健康診査及び特定保健指導に従事する職員については、当該事業の実践力養成のための研修に積極的に参加させるものとする。

## VII その他

### (1) 計画の評価・見直し

#### ①評価の時期

計画に掲げた目的・目標の達成状況について、毎年度進捗確認を行い、令和8年度には中間評価、令和11年度には最終評価を行う。

評価する実績値は、評価時点で直近で把握できる年度の集計値を用いる。

#### ②評価方法・体制

「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）で用いられた「目標の評価」」の方法で行う。中・長期目標、短期目標、個別保健事業の目標について、各目標に掲げた指標の経年結果データを抽出し、策定時と直近時を比較したうえで、A（目標値に達した）、B（目標値に達していないが、改善傾向にある）、C（変わらない）、D（悪化している）、E（判定不能）といったように複数のレベルで評価する。

特に個別保健事業については成功要因・未達要因を整理し、見直し改善として次期計画につなぐ。（図表44）

この評価・見直し報告書を通じて府内や関係機関・団体との連携を強化するとともに、共通認識をもって引き続き課題解決に取り組むものとする。

図表44

個別保健事業等の評価

※判定基準  
H5年から直近R10年の実績値を比較して下記の5段階の分類で評価する  
A（目標値に達した）、B（目標値に達していないが、改善傾向にある）  
C（変わらない）、D（悪化している）、E（判定不能）

目的							
事業内容							
評価	評価指標	目標値	指標の変化				
アウトカム			R5	R6	R7	R8	R9
アウトプット							R10
成功要因 未達要因	※6年間の個別保健事業評価計画のプロセス、ストラクチャーから要因分析をしてください						
継続等について	<input type="checkbox"/> 継続						
	<input type="checkbox"/> 少少の見直しが必要						
	<input type="checkbox"/> 大幅な見直しが必要						
	<input type="checkbox"/> 継続要検討						
見直し改善案、次期 計画の方向性							

## （2）計画の公表・周知

策定した計画は、四万十市の広報誌やホームページに掲載するとともに、実施状況の取りまとめを行い、評価・見直しに活用するため報告書を作成する。

また、策定した計画は、四万十市医師会等に計画を配布し、医療機関等への周知を行う。

## （3）個人情報の取扱い

四万十市における個人情報の取り扱いは、個人情報の保護に関する法律のガイドライン（行政機関等編）に基づくものとする。

## （4）地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

### ①地域で被保険者を支える連携の促進

- ・地域包括ケアシステム※に資する地域のネットワークへの国保部局として参画
- ・個々の国保被保険者に係る保健活動・保健事業の実施状況の地域の医療・介護・福祉サービス関係者との情報共有の仕組みづくり

### ②課題を抱える被保険者層の分析

- ・KDB※等を活用した健康事業・介護予防※・生活支援の対象となる被保険者を抽出し、関係者と共有（図表45）

### ③地域で被保険者を支える事業の実施

- ・国保被保険者を含む高齢者などの居場所・拠点、コミュニティ、生きがい、自立、健康づくりにつながる住民主体の地域活動の支援の実施
- ・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施※に関する取組み
- ・後期高齢者医療制度と連携した保健事業の実施
- ・介護保険部門と連携し、介護予防※の観点を組み込んだ生活習慣病※予防教室や、個別健康教室の実施

### ④公立病院や四万十市医師会、医療機関との定例会の実施

### ⑤評価について

- ・連携参加状況、分析内容の検討（分析項目疾患など）

図表 45

各年度 3 月時点

四万十市

介護認定者の経年有病状況【年齢区分別】

		年齢	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
被保険者数 (国保と後期の各年齢区分被保険者 数)	40~64歳	3,688	3,430	3,283	3,152	2,961	2,888	2,842				
	65~74歳	4,685	4,654	4,678	4,690	4,652	4,695	4,505				
	75歳以上	6,472	6,454	6,454	6,510	6,471	6,606	6,835				
	合計	14,845	14,538	14,415	14,352	14,084	14,189	14,182				
認定者数	40~64歳	30	24	20	18	19	19	19				
	65~74歳	167	157	165	146	165	151	131				
	75歳以上	1,805	1,846	1,829	1,799	1,796	1,796	1,751				
	合計	2,002	2,027	2,014	1,963	1,980	1,966	1,901				
認定率(認定者数/被保険者数)	40~64歳	0.3%	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%				
	65~74歳	3.6%	3.4%	3.5%	3.1%	3.5%	3.2%	2.9%				
	75歳以上	27.9%	28.6%	28.3%	27.6%	27.8%	27.2%	25.6%				
	合計	13.5%	13.9%	14.0%	13.7%	14.1%	13.9%	13.4%				
		疾患	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
循環器疾患 (レセプトの診断名より重複して計上)	脳血管疾患	40~64歳	17	56.7%	14	58.3%	9	45.0%	6	33.3%	6	47.4%
		65~74歳	86	51.5%	72	45.9%	74	44.8%	65	44.5%	72	43.6%
		75歳以上	876	48.5%	897	48.6%	899	49.2%	911	50.6%	860	47.9%
		合計	979	48.9%	983	48.5%	982	48.8%	982	50.0%	938	47.4%
	脳出血	40~64歳	8	26.7%	7	29.2%	5	25.0%	4	22.2%	5	26.3%
		65~74歳	23	13.8%	25	15.9%	28	17.0%	24	16.4%	28	17.0%
		75歳以上	84	4.7%	87	4.7%	93	5.1%	96	5.3%	86	4.8%
		合計	115	5.7%	119	5.9%	126	6.3%	124	6.3%	119	6.0%
	脳梗塞	40~64歳	12	40.0%	9	37.5%	6	30.0%	4	22.2%	4	21.1%
		65~74歳	71	42.5%	54	34.4%	55	33.3%	47	32.2%	50	30.3%
		75歳以上	847	46.9%	866	47.1%	878	48.8%	835	46.5%	819	45.6%
		合計	930	46.5%	929	45.8%	929	47.3%	889	44.9%	873	44.4%
	虚血性心疾患	40~64歳	3	10.0%	1	4.2%	3	15.0%	2	11.1%	1	5.3%
		65~74歳	43	25.7%	34	21.7%	38	23.0%	32	21.9%	39	23.6%
		75歳以上	610	33.8%	656	35.6%	629	34.4%	622	34.6%	614	34.2%
		合計	656	32.8%	691	34.1%	670	33.3%	656	33.4%	654	33.0%
	腎不全	40~64歳	6	20.0%	3	12.5%	3	15.0%	2	11.1%	3	15.8%
		65~74歳	16	9.6%	12	7.6%	17	10.3%	18	12.3%	20	13.2%
		75歳以上	225	12.5%	238	12.9%	284	15.5%	302	16.8%	305	17.0%
		合計	247	12.3%	253	12.6%	304	15.1%	322	16.4%	334	17.0%
	人工透析	40~64歳	2	6.7%	2	8.3%	2	10.0%	1	5.6%	1	5.3%
		65~74歳	7	4.2%	4	2.5%	5	3.0%	5	3.4%	7	4.2%
		75歳以上	15	0.8%	14	0.8%	13	0.7%	16	0.9%	27	1.5%
		合計	24	1.2%	20	1.0%	20	1.1%	35	1.8%	37	1.9%
	糖尿病	40~64歳	11	36.7%	10	41.7%	5	25.0%	8	44.4%	8	42.1%
		65~74歳	69	41.3%	71	45.2%	77	46.7%	65	44.5%	74	44.8%
		75歳以上	643	35.6%	710	38.5%	734	40.1%	730	40.6%	723	40.3%
		合計	723	36.1%	791	39.0%	816	40.5%	803	40.9%	805	40.7%
	腎症	40~64歳	3	10.0%	2	8.3%	2	10.0%	0	0.0%	2	10.5%
		65~74歳	7	4.2%	5	3.2%	8	4.8%	10	6.8%	7	4.2%
		75歳以上	48	2.7%	55	3.0%	54	3.0%	63	3.5%	76	4.2%
		合計	58	2.9%	62	3.1%	64	3.2%	69	3.5%	85	4.3%
	網膜症	40~64歳	3	10.0%	2	8.3%	2	10.0%	0	0.0%	2	10.5%
		65~74歳	6	3.6%	5	3.2%	8	4.8%	10	6.8%	7	4.2%
		75歳以上	56	3.1%	59	3.2%	60	3.3%	55	3.1%	64	3.6%
		合計	65	3.2%	66	3.3%	70	3.5%	65	3.3%	73	3.7%
	神経障害	40~64歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.1%	2	10.5%
		65~74歳	3	1.8%	2	1.3%	1	0.6%	2	1.4%	2	1.2%
		75歳以上	31	1.7%	29	1.6%	31	1.7%	26	1.4%	21	1.3%
		合計	34	1.7%	31	1.5%	32	1.6%	30	1.5%	25	1.3%
	高血圧	40~64歳	17	56.7%	16	66.7%	11	55.0%	12	66.7%	12	63.2%
		65~74歳	113	67.7%	113	72.0%	121	73.3%	107	73.3%	121	73.3%
		75歳以上	1,460	80.9%	1,525	82.6%	1,539	84.1%	1,508	83.8%	1,511	84.1%
		合計	1,590	78.4%	1,654	81.6%	1,671	83.0%	1,627	82.9%	1,644	83.0%
	脂質異常症	40~64歳	18	60.0%	16	66.7%	13	65.0%	13	72.2%	12	63.2%
		65~74歳	95	56.9%	92	58.6%	107	64.8%	96	65.8%	113	68.5%
		75歳以上	991	54.9%	1,069	57.9%	1,083	59.2%	1,106	61.5%	1,138	63.4%
		合計	1,104	55.1%	1,177	56.1%	1,203	59.7%	1,215	61.9%	1,263	63.8%
	高尿酸血症	40~64歳	6	20.0%	6	25.0%	6	30.0%	4	22.2%	2	10.5%
		65~74歳	32	19.2%	33	21.0%	32	19.4%	33	22.6%	49	29.7%
		75歳以上	294	16.3%	318	17.2%	326	17.8%	330	18.3%	325	18.1%
		合計	332	16.6%	357	17.6%	364	18.1%	367	18.7%	376	19.0%
	血管疾患合計	40~64歳	25	83.3%	20	83.3%	15	75.0%	14	77.8%	14	73.7%
		65~74歳	147	88.0%	139	88.5%	152	92.1%	134	91.8%	152	92.1%
		75歳以上	1,687	93.5%	1,736	94.0%	1,732	94.7%	1,720	95.6%	1,716	95.5%
		合計	1,859	92.9%	1,895	93.5%	1,899	94.3%	1,868	95.2%	1,882	95.1%
認知症	40~64歳	11	36.7%	11	45.8%	9	45.0%	7	38.9%	6	31.6%	
	65~74歳	43	25.7%	36	22.9%	44	26.7%	39	26.7%	45	27.3%	
	75歳以上	857	47.5%	916	49.6%	927	50.7%	932	51.8%	922	51.3%	
	合計	911	45.6%	963	47.5%	980	48.7%	978	49.8%	973	49.1%	
筋・骨格疾患	40~64歳	27	90.0%	22	91.7%	16	80.0%	15	83.3%	16	84.2%	
	65~74歳	127	76.0%	127	80.9%	138	83.6%	129	88.4%	144	87.3%	
	75歳以上	1,640	90.9%	1,709	92.6%	1,717	93.9%	1,708	94.9%	1,712	95.3%	
	合計	1,794	89.6%	1,858	91.7%	1,871	92.0%	1,852	94.3%	1,872	94.5%	
歯肉炎歯周病	40~64歳	17	56.7%	18	75.0%	11	55.0%	11	61.1%	10	52.6%	
	65~74歳	73	43.7%	71	45.2%	88	53.3%	83	56.8%	100	60.6%	
	75歳以上	507	28.1%	600	32.5%	693	37.9%	763	42.4%	795	44.3%	
	合計	597	29.8%	689	34.0%	792	39.3%	857	43.7%	905	45.7%	

※医療保険が四万十市の国保又は後期である介護認定者のみ集計

(5) 用語集

用語	説明
<b>あ 行</b>	
アウトカム	結果・成果という意味。「アウトカム(結果)評価」は、事業の目的・目標の達成度、また、成果の数値目標に対する評価のこと。具体的な評価指標としては、肥満度や血液検査などの健診結果の変化、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群、死亡率、要介護率、医療費の変化などがある。
アウトプット	出力・生産という意味。「アウトプット(事業実施量)評価」は、目的・目標の達成のために行われる事業の結果に対する評価のこと。具体的な評価指標としては、健診受診率、保健指導実施率、保健指導の継続率などがある。
e-GFR (イージーエフアル)	推算糸球体濾過量。血液検査により、現時点でのくらいの腎機能が残っているかを示す値のこと。血清クレアチニン値と年齢・性別から計算する。
HDL (エイチディーエル) コレステロール	余分なコレステロールを回収して動脈硬化を抑える働きをする。善玉コレステロール。
AST (エーエスティー)	肝細胞と心筋、骨格筋に多く含まれる酵素。数値が高いと心臓や筋肉、肝臓の病気である可能性がある。
ALT (エーエルティー)	肝臓のみに多く含まれる酵素。数値が高いと肝臓の病気である可能性がある。
LDL (エルディーエル) コレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ働きをする。増えすぎると動脈硬化を起こす。悪玉コレステロール。
<b>か 行</b>	
介護給付	要介護状態と認定された被保険者に提供される介護サービス、介護に関わる費用の支給のこと。5段階の給付区分があり、訪問介護・訪問入浴・訪問リハビリテーション・訪問看護などの居宅サービスや、介護保険施設を利用した施設サービス、市町村が行う地域密着型サービスなどがある。
介護保険サービス	介護保険制度では、居宅サービス、地域密着型サービス、居宅介護支援、施設サービス、介護予防サービス、地域密着型介護予防サービス及び介護予防支援をいう。
介護保険施設	介護保険法に基づいて都道府県知事の指定を受けた、介護保険サービスが利用可能な施設。介護保険施設には、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設(老人保健施設)、介護療養型医療施設、介護医療院がある。
介護予防	高齢者が要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減もしくは悪化の防止を目的として行うもの。
拡張期血圧	血液が心臓に戻ってきて、心臓がふくらみ次に送り出す血液をためている状態のときの血圧。一般に「下の血圧」「最低血圧」などと呼ばれる。

用語	説明
眼底検査	瞳孔の奥にある眼底を眼底カメラで撮影し、眼底の血管、網膜、視神経等を調べる検査。特定健診では基準に基づき、医師が必要と認める者に実施される。
γ-GT(ガンマジーティー)	胆道から分泌され、肝臓の解毒作用に関わる酵素。主にアルコール性肝障害の評価に使われる。
QOL(キューオーエル)	Quality Of Life の略。日本語では「生活の質」などと訳され、介護・福祉の分野においては、特に高齢者等の満足感や幸福感などを意味する。
狭心症	心臓の筋肉(心筋)に供給される酸素が不足するために、胸部に一時的な痛みや圧迫感が起きる病気。
クレアチニン	筋肉が運動をする際に必要なエネルギーを生み出したあとの老廃物で、ほとんどが腎臓から排泄される。血液中のクレアチニンが高い場合には腎機能の低下が疑われる。
KDB(ケーディービー)システム	「公益社団法人 国民健康保険中央会」が作成したデータベースシステムのこと。国保連合会が各種業務を通じて管理する健診・医療・介護の給付情報等から統計情報を作成するとともに、保険者からの委託を受けて「個人の健康に関する情報」を作成し、提供している。
KPI(ケーピーアイ)	Key Performance Indicator の頭文字をとった略称。目標達成プロセスにおいて、その達成度を追跡するために設定する指標のこと。
血糖値	血液中に含まれるブドウ糖(グルコース)の濃度のこと。高い状態が続くと血管にダメージを与え、最終的には脳や心臓等の血管に悪影響を及ぼす。
健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。
健康福祉委員会	健康・福祉地域推進事業の推進のため、健康づくり、介護予防、支え合いの地域づくりに関する活動を行う住民組織となっており、地区や集落単位で構成されている。
後期高齢者	75歳以上の高齢者。
後期高齢者医療広域連合	75歳以上の高齢者が加入する後期高齢者医療制度を運営するために設立された都道府県単位の特別地方公共団体。被保険者証の交付などの資格管理、保険料の決定、医療の給付などを行っている。
高血圧症	血圧が慢性的に高い状態が続くこと。
高知家健康パスポート事業	平成28年9月1日より実施されている高知県の事業。 パスポート(アプリ)を県内のスポーツ施設や飲食店などで提示すると特典を受けられる。さらに、健康づくりに取り組んでヘルシーポイントを集めると、健康的な商品が当たるプレゼントキャンペーンに参加できる。
高尿酸血症	血液中の尿酸が高い状態のこと。痛風や腎結石、尿路結石の原因となる。
後発医薬品	先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、

用語	説明
	同じ効能・効果をもつ医薬品のこと。ジェネリック医薬品とも呼ばれる。先発医薬品より安価で、効き目や安全性は先発医薬品と同等。
高齢化率	高齢者の人口比率。65歳以上の人口を総人口で除した比率のこと。
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施	フレイルを予防し健康寿命を延伸するため、高齢者の保健事業と介護予防事業を切れ目なく一体的に実施していく取り組み。本市では令和6年度より実施。
国保連	国民健康保険団体連合会の略称。国民健康保険法により設置された公法人。診療報酬等の審査支払、介護給付費診査支払、保険者の事務処理に係る共同事業等を行っている。
国民健康保険制度	他の医療保険制度(被用者保険、後期高齢者医療制度)に加入していない全ての住民を対象とした医療保険制度。
骨粗しょう症	骨密度の低下によって骨がもろくなり、骨折しやすくなる病態のこと。
さ 行	
最大医療資源傷病名	医療のレセプトデータから最も医療資源(診療行為、医薬品、特定器材)を要したものを「最大医療資源」といい、その原因となる主傷病名のこと。
支援・評価委員会	平成26年度より国保連に設置されている「保健事業支援・評価委員会」のこと。データヘルス計画の策定・実施・評価等の支援を行う「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業」を実施している。
脂質異常症	中性脂肪やコレステロールなどの脂質代謝に異常をきたし、血液中の値が正常域をはずれた状態のこと。動脈硬化の主要な危険因子。
市町村国保ヘルスアップ事業	市町村保険者が実施する国保被保険者の健康の保持増進に係る事業で、都道府県から国民健康保険保険給付費等交付金の交付を受けて実施する事業。
脂肪肝	余分な糖質や脂質が中性脂肪に変わり、肝臓に蓄積された状態のこと。
四万十市健康づくりポイント事業	本市では健康に関する取り組みを30日間実施し提出した者に特典を授与することで、健康づくりを推進している。高知家健康パスポートと協働実施。
社会福祉協議会	略称は「社協」。社会福祉法第109条に基づき「地域福祉の推進」を目的として全国の都道府県、市町村に設置された、社会福祉法人格の民間団体。
収縮期血圧	心臓が収縮して血液を送り出すときの血圧。一般に「上の血圧」「最高血圧」などと呼ばれる。
食生活改善推進員	食を通じて地域の方の健康づくりを応援するボランティア。
心筋梗塞	心臓に酸素と栄養分を運ぶ冠動脈が詰まって血液が流れなくなり、心筋細胞が壊死してしまう病気。
人工透析	うまく動かなくなった腎臓の代わりに、体内に蓄積した余分な水分や老廃物を取り除き、血液を浄化する治療法。血液透析と腹膜透析の2種類ある。血液透析にか

用語	説明
	かる時間は1回約4時間で、週3回通院するのが一般的。
心電図検査	心臓が収縮と拡張を繰り返す際の微弱な電流を体に装着した電極でとらえ、波形としてあらわしたもの。特定健診では基準に基づき、医師が必要と認める者に実施される。
ストラクチャー	構造・仕組みという意味。「ストラクチャー(構造)評価」は、保健事業を実施するための仕組みや体制に対する評価のこと。具体的な評価指標としては、保健指導に従事する職員の体制(職種・職員数・職員の資質等)、保健指導の実施に係る予算、施設・設備の状況、他機関との連携体制、社会資源の活用状況などがある。
生活習慣病	食事や運動、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。
セット健診	四万十市で実施している、特定健診とがん検診を同日に受診できる健診。40~74歳の国保被保険者が対象。
咀嚼	食べ物を噛み碎いて唾液と混ぜ合わせ、やわらかく飲み込みやすい食塊(しょっかい)にすること。
た 行	
第1号被保険者	介護保険制度における被保険者のうち、市町村の区域内に住所を有する65歳以上の住民。
第2号被保険者	介護保険制度における被保険者のうち、市町村の区域内に住所を有する40歳以上65歳未満の医療保険加入者。
地域包括ケアシステム	介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、医療・介護・介護予防・生活支援・住まい等の5つの分野で一体的に受けられる支援体制のこと。
中性脂肪	血液中の脂肪成分。増えすぎると肥満や生活習慣病の原因となる。
統合失調症	脳の様々な働きをまとめることが難しくなるために、幻覚や妄想などの症状が起こる病気。
糖尿病	インスリンというホルモンの不足や作用低下が原因で、血糖値の上昇を抑える働き(耐糖能)が低下してしまうため、高血糖が慢性的に続く病気。
糖尿病性腎症	糖尿病の合併症の一つで、上昇した血糖値が腎臓の機能を低下させる病気。進行すると最終的には透析治療が必要となる。
糖尿病性腎症重症化予防プログラム	平成28年度に国が策定したプログラム。本市は主に以下を実施している。 ①糖尿病性腎症の重症化リスクが高い医療機関未受診者、治療中断者等に対して受診勧奨等を行い、適切な治療につなげる。 ②治療中の患者のうち、糖尿病性腎症の重症化リスクが高い者に対して、医療機関と医療保険者が連携し、保健指導等を行う。

用語	説明
動脈硬化	血管が硬くなり柔軟性が失われている状態のこと。高血圧、糖尿病、喫煙、加齢、脂質異常症、肥満などにより進行する。
特定健康診査（特定健診）	40歳以上75歳未満の人に対してメタボリックシンドロームの早期発見を目的として医療保険者が行う健康診査のこと。
特定保健指導	特定健康診査の結果、メタボリックシンドロームのリスクがある40歳以上75歳未満の者に対し、保健師・管理栄養士等が行う保健指導のこと。
な 行	
尿酸	新陳代謝の結果生じる老廃物で、最後は尿とともに体外に排出される。高尿酸の状態を放っておくと、痛風、腎障害、尿路結石、動脈硬化の原因となる。
認知症	一度獲得した知能が、後天的に脳や身体疾患を原因として慢性的に低下を来たした状態で、社会生活、家庭生活に影響を及ぼす状態と定義されている。以前は痴呆症と呼ばれていた。
脳梗塞	何らかの原因で脳の動脈が閉塞し、血流が途絶えることで脳が壊死してしまう病気。
脳出血	脳内にある細い動脈が、何らかの原因で破れることで脳内出血する病気。
は 行	
BMI（ビーエムアイ）	ボディマス指数とも呼ばれ、体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数。 【計算式】 $BMI = \text{体重 kg} \div (\text{身長 m})^2$ 適正体重 = $(\text{身長 m})^2 \times 22$
PDCA（ピーディーシーエー）サイクル	「Plan（計画）」「Do（実施）」「Check（点検）」「Act（見直し）」のサイクルを繰り返し、管理やマネジメントを行う手法のこと。
標準化医療費	年齢調整した医療費のこと。国や県との「標準化医療費の差」を計算すれば、年齢や人口の影響を補正したうえで本市はいくら余計に医療費がかかっているかを調べることができる。
標準化死亡比(SMR)	国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は国の平均より死亡率が多いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。
腹囲	メタボリックシンドロームを判定するための基本の検査項目。くびれているウエストではなく、臍の位置で測る。
プロセス	過程・方法という意味。「プロセス（過程）評価」は、事業の目的や目標の達成に向けた過程（手順）や活動状況に対する評価のこと。具体的な評価指標としては、保健指導の実施過程、すなわち情報収集、アセスメント、問題の分析、目標の設定、指導手段（コミュニケーション、教材を含む）、保健指導実施者の態度、記録状況、対象者の満足度などがある。
HbA1c（ヘモグロビンエー）	赤血球の中にあるヘモグロビン A (HbA) にグルコース（血糖）が非酵素的に結合したもの。食事から採血までの時間の影響を受けやすい血糖値と比較して、そうした

用語	説明
フンシー)	影響を受けにくく、過去1~2ヶ月の平均的血糖値を反映する。
法定報告	高齢者の医療の確保に関する法律第142号に基づき、保険者が報告した数値を県で集計したもの。
保険者	医療保険の運営主体のこと。国保の保険者は、高知県、市町村及び国保組合で、高知県及び市町村は法律で保険者になることが義務づけられている。
保険者努力支援制度	医療費適正化や国保財政の改善に向け努力を行う自治体に対し、特定健診等受診率や保険料収納率などの「指標」の達成度に応じて国が財政支援を行う制度で、平成30年度から創設された。支援金交付により国保財政の収支が改善し、保険料の抑制を図ることができる。
ま 行	
慢性腎臓病(CKD)	腎障害や腎機能の低下が3ヶ月以上続いている状態のこと。
慢性腎不全	数ヶ月から数十年かけて腎機能が徐々に低下し、腎臓のろ過能力が正常時の30%以下となり、体内の正常な環境を維持できない状態のこと。
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	タバコの煙を中心とした有害物質を長期間吸入することで起きる肺の慢性炎症性疾患。喫煙の習慣がある中高年を中心に発症する生活習慣病の一つと考えられている。
メタボリックシンдро́м	内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態のこと。臍の高さで腹囲が男性 85cm 以上、女性 90cm 以上あり、血圧・血糖・脂質の基準のうちいずれか 2 つ以上があてはまると、メタボリックシンдро́мの診断となる。
や 行	
要介護認定	要支援1・2、要介護1~5の7段階にどの程度の介護を必要としているかをランク分けしたものを要介護度といい、訪問調査の結果をコンピュータで判断する一次判定と、主治医の意見書を加えて医療や福祉の専門家が判断する二次判定の結果によって決定される。要介護認定が下りた場合は、公的な介護保険サービスを1~3割の自己負担で利用できる。
ら 行	
レセプト	医療機関等が保険者に診療費等を請求する明細書(診療報酬明細書・調剤報酬明細書のこと)。



## 四万十市国民健康保険

第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)

第4期特定健康診査等実施計画

策 定 年 月: 令和6年3月

策 定: 四万十市(健康推進課)

住 所: 〒787-8501

高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地

T E L: 0880-34-1115